

【調査票3】若者/計37問

○ あなたのことについておたずねします。

Q1. あなたの性別 (1つに○)

1. 男子 2. 女子 3. どちらともいえない 4. 答えたくない

●男性 ●女性 ●どちらともいえない ●答えたくない

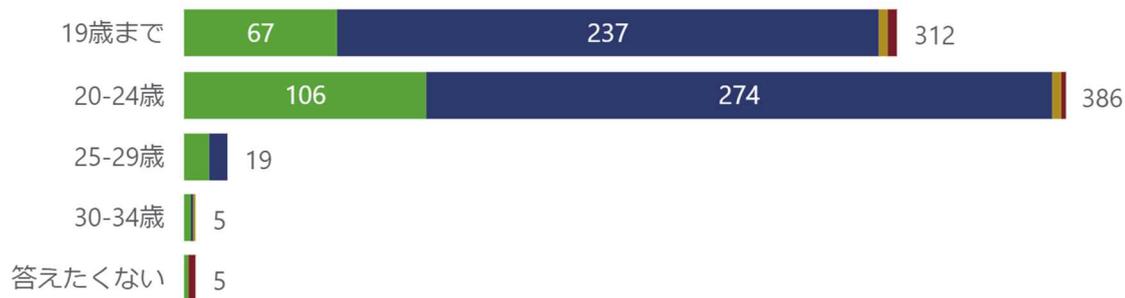


	回答数	割合
男性	189	26.0%
女性	520	71.5%
どちらともいえない	9	1.2%
答えたくない	9	1.2%
総計	727	100.0%

Q2. あなたの年齢 (どれか1つ)

- ・ 19歳まで ・ 20歳～24歳 ・ 25歳～29歳
 ・ 30歳～35歳 ・ 答えたくない

●男性 ●女性 ●どちらともいえない ●答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
19歳まで	67	237	4	4	312	42.9%
20-24歳	106	274	4	2	386	53.1%
25-29歳	11	8			19	2.6%
30-34歳	3	1	1		5	0.7%
答えたくない	2			3	5	0.7%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

Q3. あなたの世帯の状況についておたずねします。(どれか1つ)

・一人暮らし	・同居人あり
--------	--------

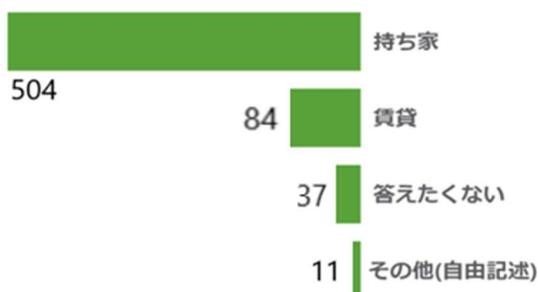
	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
一人暮らし	26	62	3	0	91	12.5%
同居人あり	163	458	6	9	636	87.5%
合計	189	520	9	9	727	100.0%

Q4. あなたは誰と住んでいますか(あてはまるものすべて。Q3で「同居人あり」を選択した人のみ) また、住まいについておたずねします。(どれか1つ)

同居家族 ・父 ・母 ・兄弟姉妹 ・祖父 ・祖母 ・おじ・おばなどの親戚 ・配偶者 ・子ども ・答えたくない ・その他の人(自由記述)	住まい ・持ち家 ・賃貸 ・答えたくない ・その他(自由記述)
---	---



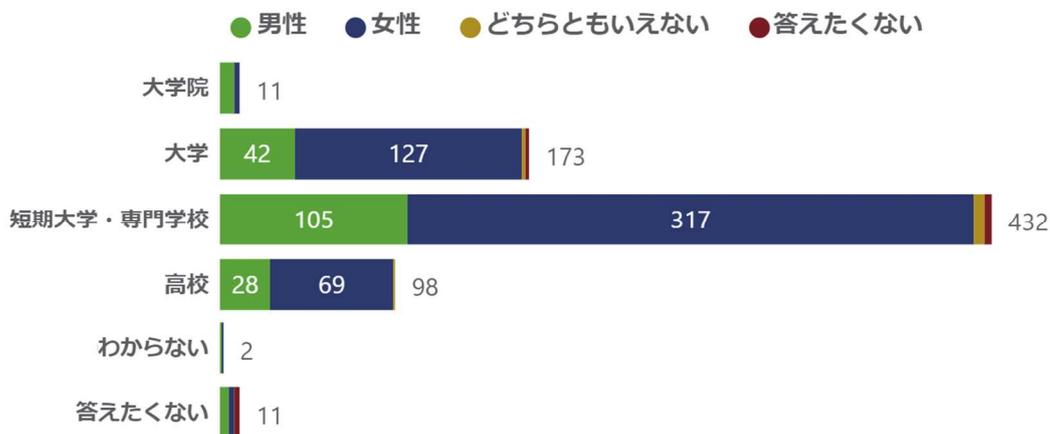
	合計	割合
父	500	27.6%
母	578	31.9%
兄弟姉妹	432	23.9%
祖父	102	5.6%
祖母	161	8.9%
おじ・おばなど親戚	13	0.7%
配偶者	1	0.1%
子ども	2	0.1%
答えたくない	12	0.7%
その他の人(自由記述)	10	0.6%
総計	1811	100.0%



同居人あり	合計	割合
持ち家	504	79.2%
賃貸	84	13.2%
答えたくない	37	5.8%
その他(自由記述)	11	1.7%
総計	636	100.0%

Q 5. あなたの最終学歴（予定含む）についておたずねします。（どれか1つに○）

- | | | | |
|------|--------|------------|------------|
| ・大学院 | ・大学 | ・短期大学、専門学校 | ・高校 |
| ・中学校 | ・わからない | ・答えたくない | ・その他（自由記述） |

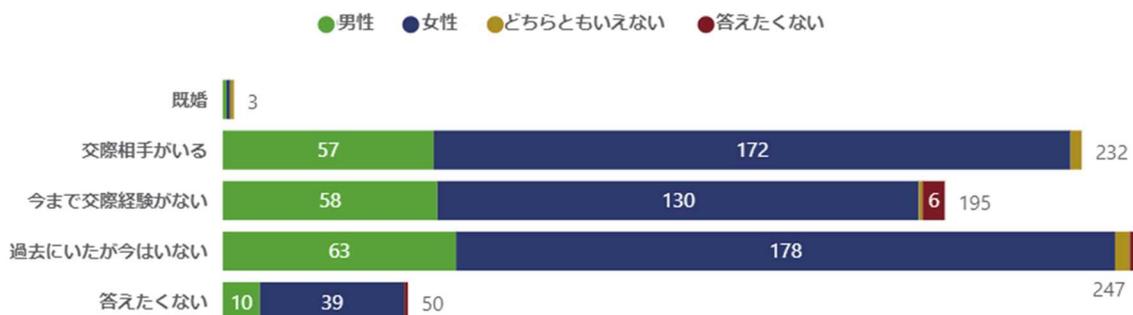


	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
大学院	8	3			11	1.5%
大学	42	127	2	2	173	23.8%
短期大学・専門学校	105	317	6	4	432	59.4%
高校	28	69	1		98	13.5%
わからない	1	1			2	0.3%
答えたくない	5	3		3	11	1.5%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

※「中学校」「その他（自由記述）」は、いずれも無し（0人）だった。

Q6. あなたの既婚・未婚・(未婚の場合) 交際相手の別についておたずねします。
(どれか1つ)

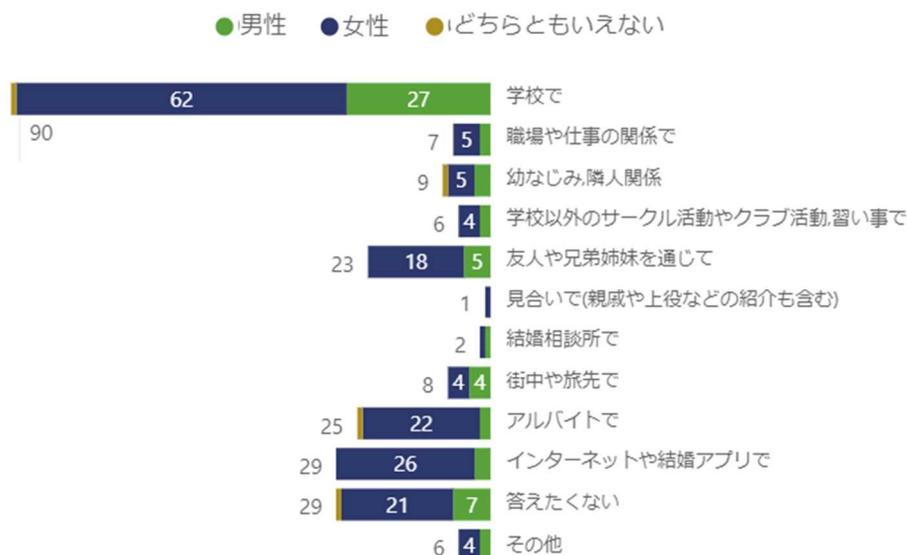
・未婚	<ul style="list-style-type: none"> ・交際相手がいる (→Q7へ) ・交際相手がない (いままで交際経験がない) ・交際相手がない (過去にいたが今はいない)
・既婚 (→Q7へ)	



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
既婚	1	1	1	0	3	0.4%
交際相手がいる	57	172	3	0	232	31.9%
今まで交際経験がない	58	130	1	6	195	26.8%
過去にいたが今はいない	63	178	4	2	247	34.0%
答えたくない	10	39	0	1	50	6.9%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

Q 7. 既婚の方、交際相手がいる方にうかがいます。出会いのきっかけは何ですか。
(どれか1つ)

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ・ 学校で | ・ 職場や仕事の関係で |
| ・ 幼なじみ、隣人関係 | ・ 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で |
| ・ 友人や兄弟姉妹を通じて | ・ 見合いで (親戚や上役などの紹介も含む) |
| ・ 結婚相談所で | ・ 街中や旅先で |
| ・ アルバイトで | ・ インターネットや結婚アプリで |
| ・ 答えたくない | ・ その他 (自由記述) |

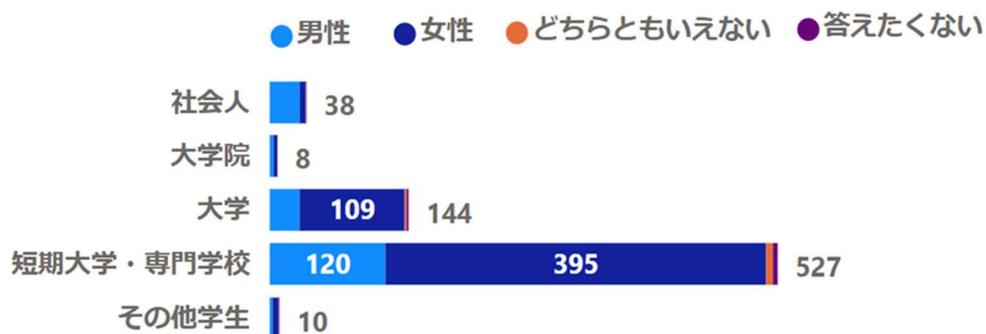


	男性	女性	どちらともいえない	総計	割合
学校で	27	62	1	90	38.3%
職場や仕事の関係で	2	5		7	3.0%
幼なじみ、隣人関係	3	5	1	9	3.8%
学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	2	4		6	2.6%
友人や兄弟姉妹を通じて	5	18		23	9.8%
見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)		1		1	0.4%
結婚相談所で	1	1		2	0.9%
街中や旅先で	4	4		8	3.4%
アルバイトで	2	22	1	25	10.6%
インターネットや結婚アプリで	3	26		29	12.3%
答えたくない	7	21	1	29	12.3%
その他	2	4		6	2.6%
総計	58	173	4	235	100.0%

Q8. あなたの働き方についておたずねします。

下記のどちらにあてはまりますか。(どれか一つ)

		仕事(アルバイト)をしている	仕事をしていない
学生	大学院生	(Q9へ)	
	大学生	(Q9へ)	
	短期大学・専門学校	(Q9へ)	
	その他学生	(Q9へ)	
社会人		(Q10へ)	



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
社会人	31	6	0	1	38	5.2%
学生	(158)	(514)	(9)	(8)	(689)	(94.8%)
大学院	4	4	0	0	8	1.1%
大学	31	109	2	2	144	19.8%
短期大学・専門学校	120	395	7	5	527	72.5%
その他学生	3	6	0	1	10	1.4%
合計	189	520	9	9	727	100.0%

	仕事(アルバイト)をしている		していない		合計	
社会人	33	(86.8%)	5	(13.2%)	38	(100.0%)
学生	501	(72.7%)	188	(27.3%)	689	(100.0%)

Q9. 学生で「仕事をしている」を選択した方におたずねします。働いている頻度は、下記のどちらにあてはまりますか。(どれか一つ)

- ・週1日程度 (放課後、休日含む)
- ・週2～3日程度 (放課後、休日含む)
- ・週4日以上 (放課後、休日含む)
- ・長期休暇のみ
- ・答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
週1日程度(放課後,休日含む)	4	27			31	6.2%
週2～3日程度(放課後,休日含む)	73	241	6		320	63.9%
週4日以上(放課後,休日含む)	24	109	2		135	26.9%
長期休暇のみ		5		1	6	1.2%
答えたくない	3	5		1	9	1.8%
総計	104	387	8	2	501	100.0%

Q10. 社会人で「仕事をしている」を選択した方におたずねします。雇用形態は、下記のどちらにあてはまりますか。(どれか一つ)

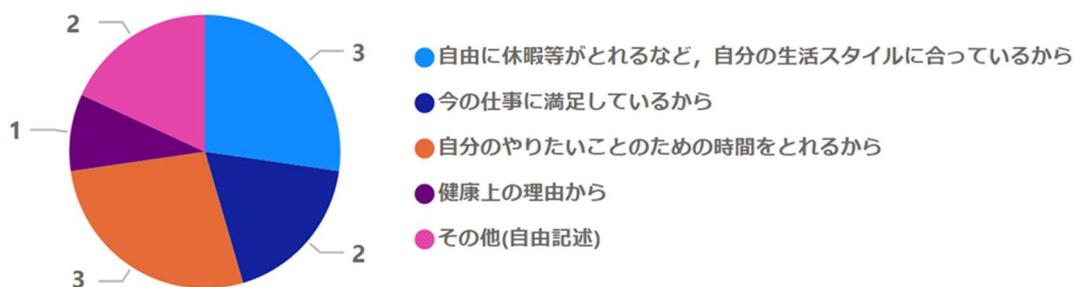
- ・正規雇用
- ・非正規雇用 (契約社員、アルバイトなど) →Q10へ
- ・自営業、フリーランス →Q10へ
- ・その他 ()



	男性	女性	答えたくない	合計	%
正規雇用	25	3	1	29	87.9%
非正規雇用(契約社員,アルバイトなど)		2		2	6.1%
自営業,フリーランス	2			2	6.1%
合計	27	5	1	33	100.0%

Q11. Q10で「非正規雇用」及び「自営業、フリーランス」と答えた方におたずねします。その理由はどのようにしてですか。(あてはまるものすべて)

- ・自由に休暇等がとれるなど、自分の生活スタイルに合っているから
- ・今の仕事に満足しているから
- ・自分のやりたいことのための時間をとれるから
- ・適当な職場が見つからないから
- ・就職活動がうまくいかなかったから
- ・会社が倒産、もしくは解雇されたから
- ・やりたいことがわからないから
- ・働くことに自信がないから
- ・健康上の理由から
- ・家事や育児、介護など、家庭の理由から
- ・答えたくない
- ・その他（自由記述 ）

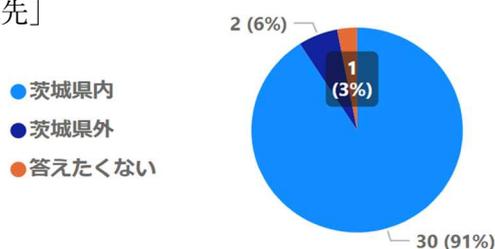


	男性	女性	総計
自由に休暇等がとれるなど、自分の生活スタイルに合っているから	2	1	3
今の仕事に満足しているから	2		2
自分のやりたいことのための時間をとれるから	2	1	3
適当な職場が見つからないから			
就職活動がうまくいかなかったから			
会社が倒産、もしくは解雇されたから			
やりたいことがわからないから			
働くことに自信がないから			
健康上の理由から		1	1
家事や育児、介護など、家庭の理由から			
答えたくない			
その他(自由記述)	1	1	2
総計	7	4	11

Q12. Q10で「社会人・仕事に従事している」と答えた人にうかがいます。あなたの就職先と理由についてお聞かせください。(どれか1つ)

茨城県内	・ 地元にはたかったから
	・ 自分が希望する職種があったから
	・ 魅力的な企業があったから
	・ 答えたくない
	・ その他 (自由記述)
茨城県外	・ 都会に行きたかったから
	・ 県内に自分が活躍できる雇用が無かったから
	・ 答えたくない
	・ その他 ()

[就職先]



	回答数	割合
茨城県内	30	90.9%
茨城県外	2	6.1%
答えたくない	1	3.0%
	33	100.0%

[理由]



就職先理由	19歳まで	20-29歳	30-39歳	答えたくない	合計	割合
茨城県内					30	100.0%
・ 地元にはたかったから	0	0	0	0	0	0.0%
・ 自分が希望する職種があったから	0	0	0	0	0	0.0%
・ 魅力的な企業があったから	0	0	0	0	0	0.0%
・ 答えたくない	4	22	2	2	30	100.0%

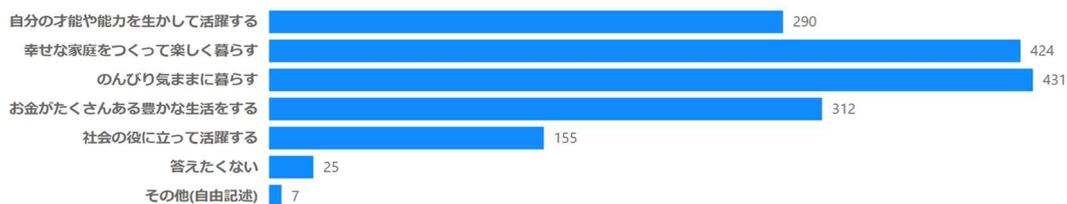
就職先理由	19歳まで	20-29歳	30-39歳	答えたくない	合計	割合
茨城県外					2	100.0%
・ 都会に行きたかったから	0	0	0	0	0	0.0%
・ 県内に自分が活躍できる雇用がなかったから	0	1	0	0	1	50.0%
・ 答えたくない	0	0	0	0	0	0.0%
・ その他(自由記述)	0	1	0	0	1	50.0%

※「茨城県内」で「県内」を選んだ理由を選択した回答者はなかった。

○ あなたの将来や生き方についておたずねします。

Q13. あなたが自分の将来の生活・生き方について、特に大事にしたいと考えていることは何ですか。(あてはまるものすべて)

- ・自分の才能や能力を生かして活躍する
- ・のんびり気ままに暮らす
- ・社会の役に立って活躍する
- ・その他(自由記述)
- ・幸せな家庭をつくって楽しく暮らす
- ・お金がたくさんある豊かな生活をする
- ・答えたくない

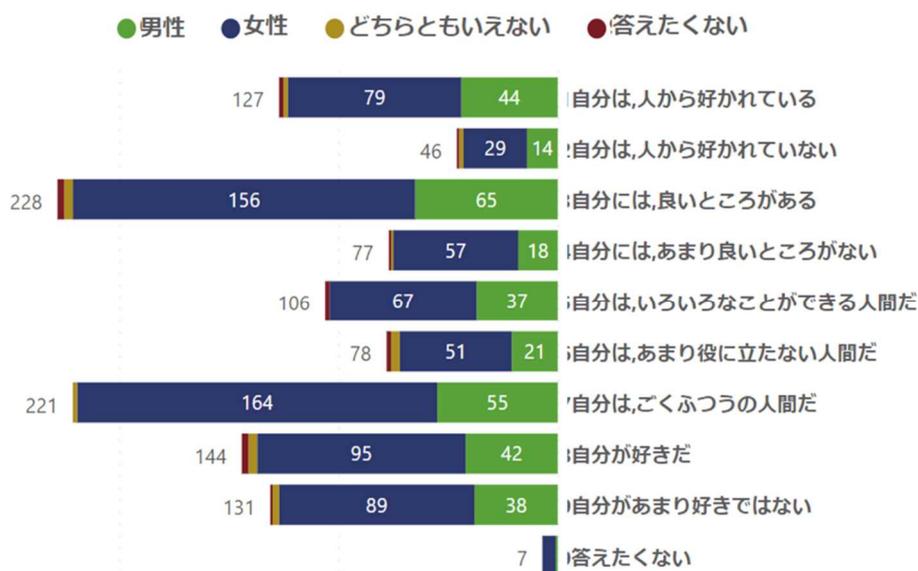


	男性	女性	どちらとも いえない	答えたくない	合計
自分の才能や能力を生かして活躍する	85	197	5	3	290
幸せな家庭をつくって楽しく暮らす	92	324	7	1	424
のんびり気ままに暮らす	107	317	3	4	431
お金がたくさんある豊かな生活をする	69	236	5	2	312
社会の役に立って活躍する	46	107	1	1	155
答えたくない	10	11	0	4	25
その他(自由記述)	6	1	0	0	7
合計	415	1,193	21	15	1,644

Q14. あなたは、自分自身をどのように感じていますか。(あてはまるものすべて)
 (「自己評価」「わからない」から選択。「自己評価」を選んだ場合、以下から当てはまるものを選択)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ・自分は、人から好かれている | ・自分は、人から好かれていない |
| ・自分には、良いところがある | ・自分には、あまり良いところがない |
| ・自分は、いろいろなことができる人間だ | ・自分は、あまり役に立たない人間だ |
| ・自分は、ごくふつうの人間だ | ・自分が好きだ |
| ・自分があまり好きではない | ・答えたくない |

	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
自己評価	122	291	7	4	424	58.3%
わからない	67	229	2	5	303	41.7%
合計	189	520	9	9	727	100.00%



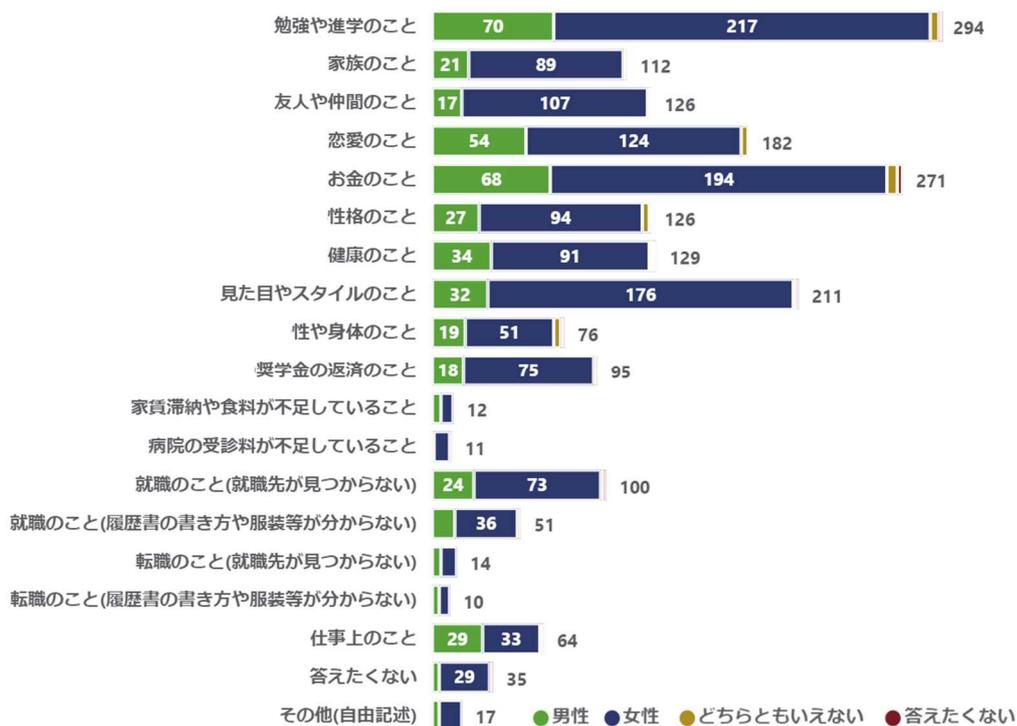
	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
自分は、人から好かれている	44	79	2	2	127	10.9%
自分は、人から好かれていない	14	29	2	1	46	3.9%
自分には、良いところがある	65	156	4	3	228	19.6%
自分には、あまり良いところがない	18	57	1	1	77	6.6%
自分は、いろいろなことができる人間だ	37	67	2	2	106	9.1%
自分は、あまり役に立たない人間だ	21	51	4	2	78	6.7%
自分は、ごくふつうの人間だ	55	164	2	2	221	19.0%
自分が好きだ	42	95	4	3	144	12.4%
自分があまり好きではない	38	89	3	1	131	11.2%
答えたくない	1	6	2	0	7	0.6%
総計	335	793	22	15	1165	100.0%

Q15. あなたは今、悩みや心配ごとがありますか。(あてはまるものすべて)

(「悩みや心配ごとはない」「悩みや心配ごとがある」から選択。「悩みや心配ごとがある」を選んだ場合、以下から当てはまるものを選択)

- ・勉強や進学のこと
- ・友人や仲間のこと
- ・お金のこと
- ・健康のこと
- ・性や身体のこと
- ・家賃滞納や食料が不足していること
- ・就職のこと (就職先が見つからない)
- ・就職のこと (履歴書の書き方や服装等が分からない)
- ・転職のこと (転職先が見つからない)
- ・転職のこと (履歴書の書き方や服装等が分からない)
- ・仕事上的こと
- ・答えたくない
- ・家族のこと
- ・恋愛のこと
- ・性格のこと
- ・見た目やスタイルのこと
- ・奨学金の返済のこと
- ・病院の受診料が不足していること
- ・その他 (自由記述)

	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
悩みや心配ごとはない	68	130	1	4	203	27.9%
悩みや心配ごとがある	121	390	8	5	524	72.1%
合計	189	520	9	9	727	100.0%



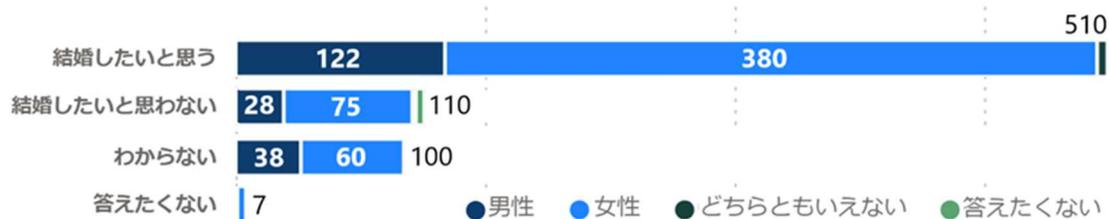
資料編 若者向けアンケート結果 [調査票3]

	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
勉強や進学のこと	70	217	5	2	294
家族のこと	21	89	2	0	112
友人や仲間のこと	17	107	2	0	126
恋愛のこと	54	124	4	0	182
お金のこと	68	194	6	3	271
性格のこと	27	94	4	1	126
健康のこと	34	91	2	2	129
見た目やスタイルのこと	32	176	2	1	211
性や身体のこと	19	51	4	2	76
奨学金の返済のこと	18	75	2	0	95
家賃滞納や食料が不足していること	5	7	0	0	12
病院の受診料が不足していること	1	9	1	0	11
就職のこと(就職先が見つからない)	24	73	2	1	100
就職のこと(履歴書の書き方や服装等が分からない)	13	36	1	1	51
転職のこと(就職先が見つからない)	5	9	0	0	14
転職のこと(履歴書の書き方や服装等が分からない)	4	6	0	0	10
仕事上のこと	29	33	0	2	64
答えたくない	4	29	0	2	35
その他(自由記述)	4	13	0	0	17
総計	449	1433	37	17	1936

○ あなたの結婚観についておたずねします

Q 16. 未婚の方におたずねします。 将来結婚したいと思いますか。(どれか1つ)

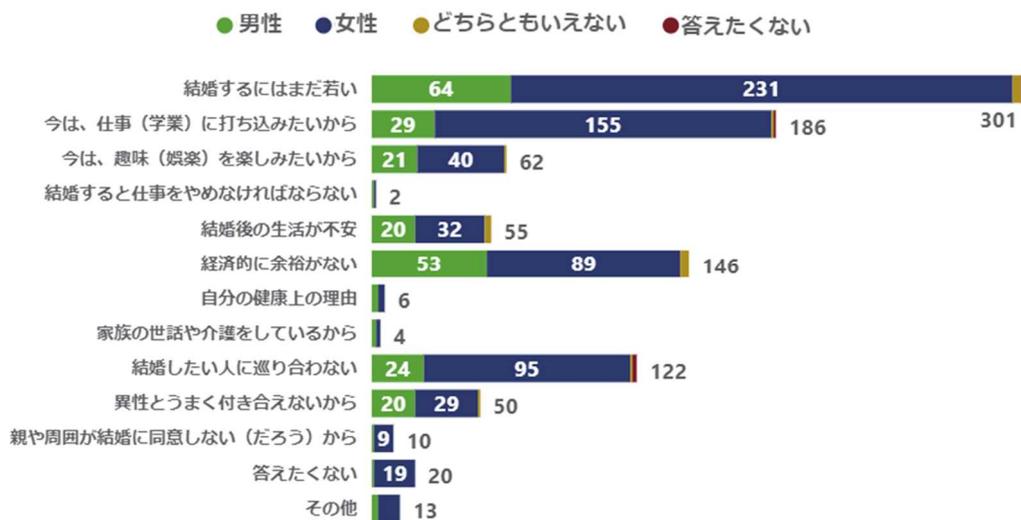
- ・結婚したいと思う ・結婚したいと思わない ・わからない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
結婚したいと思う	122	380	6	2	510	70.2%
結婚したいと思わない	28	75	2	5	110	15.1%
わからない	38	60	0	2	100	13.8%
答えたくない	1	5	1	0	7	1.0%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

Q17. Q16で「結婚したい」と回答した方に伺います。現在、独身でいる理由をおしえてください。(3つまで)

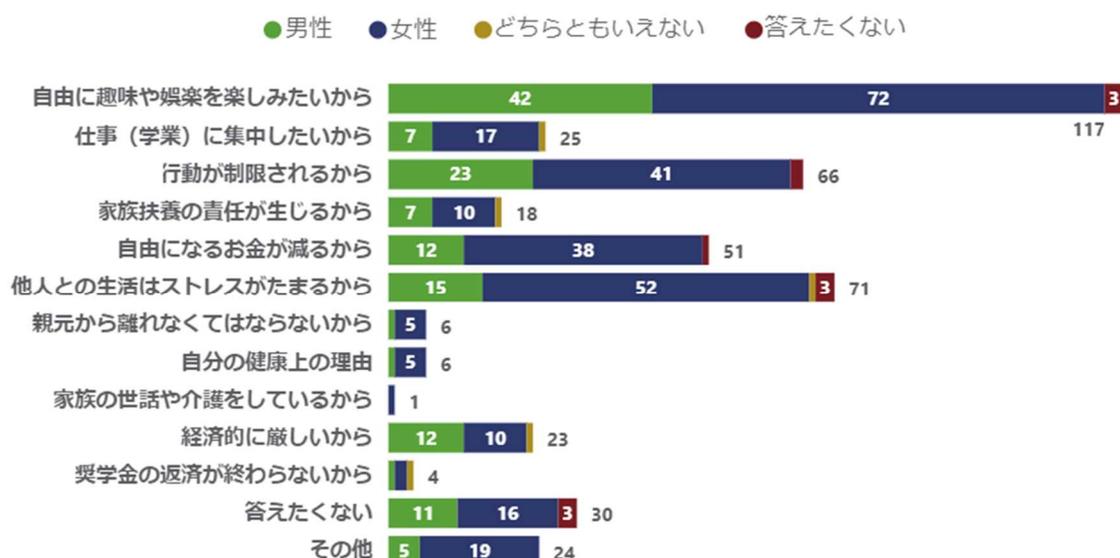
- ・結婚するにはまだ若い
- ・今は、仕事(学業)に打ち込みたいから
- ・今は、趣味(娯楽)を楽しみたいから
- ・結婚後の生活が不安
- ・自分の健康上の理由
- ・結婚したい人に巡り合わない
- ・親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
- ・答えたくない
- ・今は、仕事(学業)に打ち込みたいから
- ・結婚すると仕事をやめなければならない
- ・経済的に余裕がない
- ・家族の世話や介護をしているから
- ・異性とうまく付き合えないから
- ・その他(自由記述)



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
結婚するにはまだ若い	64	231	4	2	301
今は、仕事(学業)に打ち込みたいから	29	155	1	1	186
今は、趣味(娯楽)を楽しみたいから	21	40	1	0	62
結婚すると仕事をやめなければならない	1	1	0	0	2
結婚後の生活が不安	20	32	3	0	55
経済的に余裕がない	53	89	4	0	146
自分の健康上の理由	3	3	0	0	6
家族の世話や介護をしているから	2	2	0	0	4
結婚したい人に巡り合わない	24	95	1	2	122
異性とうまく付き合えないから	20	29	1	0	50
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	1	9	0	0	10
答えたくない	1	19	0	0	20
その他	3	10	0	0	13
総計	242	715	15	5	977

Q18. Q16で結婚したいと思わない、わからないと回答した方におたずねします。
理由は何ですか。(3つまで)

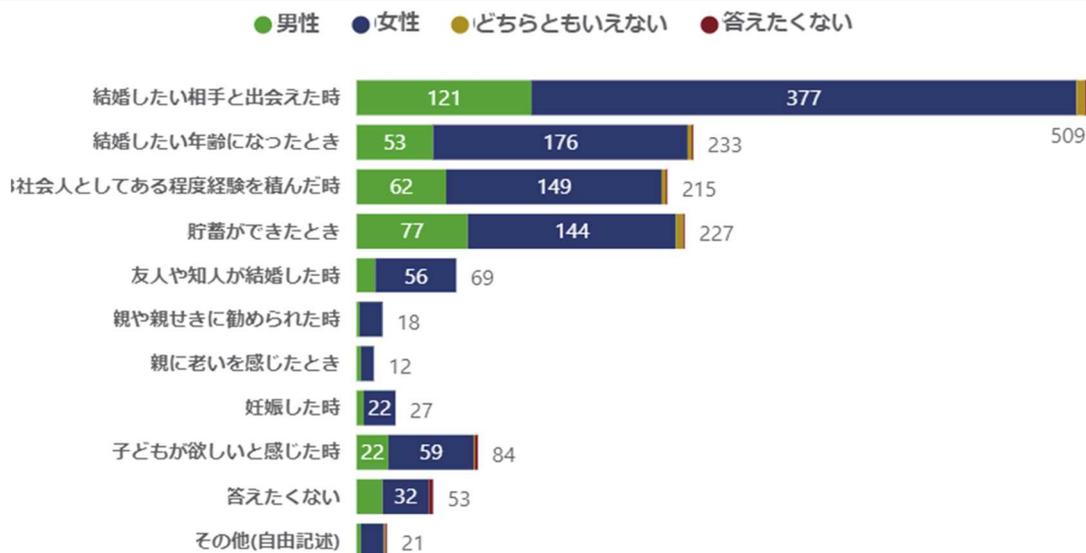
- ・自由に趣味や娯楽を楽しみたいから
- ・行動が制限されるから
- ・自由になるお金が減るから
- ・親元から離れなくてはならないから
- ・家族の世話や介護をしているから
- ・奨学金の返済が終わらないから
- ・その他(自由記述)
- ・仕事(学業)に集中したいから
- ・家族扶養の責任が生じるから
- ・他人との生活はストレスがたまるから
- ・自分の健康上の理由
- ・経済的に厳しいから
- ・答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
自由に趣味や娯楽を楽しみたいから	42	72	0	3	117
仕事(学業)に集中したいから	7	17	1	0	25
行動が制限されるから	23	41	0	2	66
家族扶養の責任が生じるから	7	10	1	0	18
自由になるお金が減るから	12	38	0	1	51
他人との生活はストレスがたまるから	15	52	1	3	71
親元から離れなくてはならないから	1	5	0	0	6
自分の健康上の理由	1	5	0	0	6
家族の世話や介護をしているから	0	1	0	0	1
経済的に厳しいから	12	10	1	0	23
奨学金の返済が終わらないから	1	2	1	0	4
答えたくない	11	16	0	3	30
その他	5	19	0	0	24
総計	137	288	5	12	442

Q19. あなたはどんなときに結婚を考えますか（考えましたか）（3つまで）

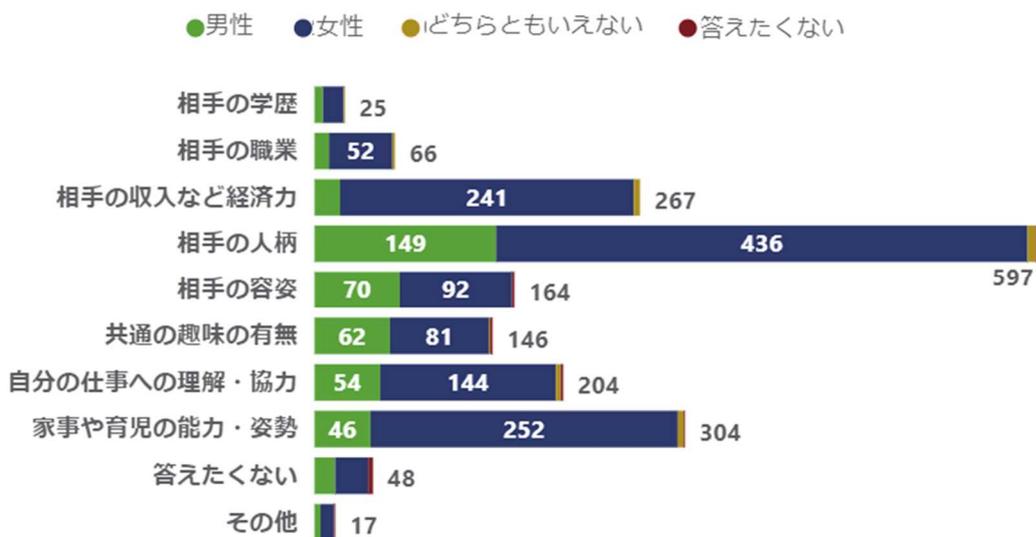
- ・ 結婚したい相手と出会えた時
- ・ 社会人としてある程度経験を積んだ時
- ・ 友人や知人が結婚した時
- ・ 親に老いを感じたとき
- ・ 子どもが欲しいと感じたとき
- ・ その他（自由記述 ）
- ・ 結婚したい年齢になったとき
- ・ 貯蓄ができたとき
- ・ 親や親せきに勧められた時
- ・ 妊娠した時
- ・ 答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
結婚したい相手と出会えた時	121	377	6	5	509
結婚したい年齢になったとき	53	176	3	1	233
社会人としてある程度経験を積んだ時	62	149	3	1	215
貯蓄ができたとき	77	144	5	1	227
友人や知人が結婚した時	13	56			69
親や親せきに勧められた時	2	16			18
親に老いを感じたとき	3	9			12
妊娠した時	5	22			27
子どもが欲しいと感じた時	22	59	1	2	84
答えたくない	18	32		3	53
その他(自由記述)	3	16	1	1	21
総計	379	1056	19	14	1468

Q20. あなたが結婚相手に求める条件として重視する(した)ものは何ですか。
(3つまで)

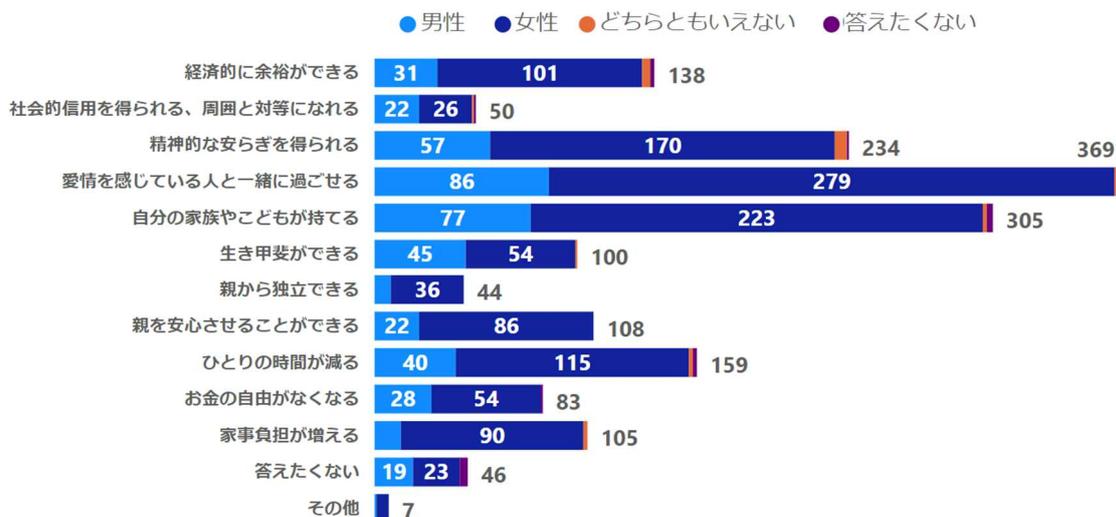
- | | |
|---------------|--------------|
| ・相手の学歴 | ・相手の職業 |
| ・相手の収入など経済力 | ・相手の人柄 |
| ・相手の容姿 | ・共通の趣味の有無 |
| ・自分の仕事への理解・協力 | ・家事や育児の能力・姿勢 |
| ・答えたくない | ・その他(自由記述) |



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
相手の学歴	7	17	1		25
相手の職業	12	52	2		66
相手の収入など経済力	21	241	5		267
相手の人柄	149	436	7	5	597
相手の容姿	70	92		2	164
共通の趣味の有無	62	81	1	2	146
自分の仕事への理解・協力	54	144	4	2	204
家事や育児の能力・姿勢	46	252	5	1	304
答えたくない	17	27		4	48
その他	5	11		1	17
総計	443	1353	25	17	1838

Q21. あなたの結婚のイメージに近い（近かった）のはどれですか（3つまで）

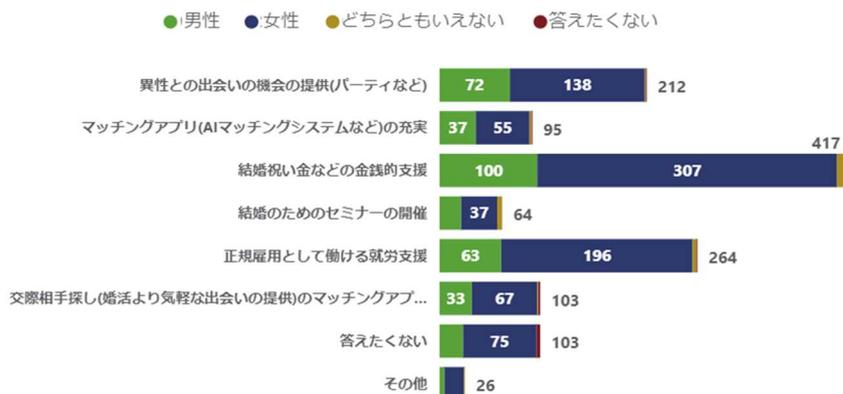
- ・ 経済的に余裕ができる
- ・ 精神的な安らぎを得られる
- ・ 自分の家族や子どもが持てる
- ・ 親から独立できる
- ・ ひとりの時間が減る
- ・ 家事負担が増える
- ・ その他（自由記述）
- ・ 社会的信用を得られる、周囲と対等になれる
- ・ 愛情を感じている人と一緒に過ごせる
- ・ 生き甲斐ができる
- ・ 親を安心させることができる
- ・ お金の自由がなくなる
- ・ 答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
経済的に余裕ができる	31	101	4	2	138
社会的信用を得られる、周囲と対等になれる	22	26	1	1	50
精神的な安らぎを得られる	57	170	6	1	234
愛情を感じている人と一緒に過ごせる	86	279	3	1	369
自分の家族や子どもが持てる	77	223	2	3	305
生き甲斐ができる	45	54	1		100
親から独立できる	8	36			44
親を安心させることができる	22	86			108
ひとりの時間が減る	40	115	2	2	159
お金の自由がなくなる	28	54		1	83
家事負担が増える	13	90	2		105
答えたくない	19	23		4	46
その他	1	6			7
総計	449	1263	21	15	1748

Q 2 2. 結婚を望む人が結婚できるよう行政が行う支援で何が必要ですか (3つまで)

- ・ 異性との出会いの機会の提供 (パーティなど)
- ・ マッチングアプリ (AI マッチングシステムなど) の充実
- ・ 結婚祝い金などの金銭的支援
- ・ 結婚のためのセミナーの開催
- ・ 正規雇用として働ける就労支援
- ・ 交際相手探し (婚活より気軽な出会いの提供) のマッチングアプリサービス
- ・ 答えたくない
- ・ その他 (自由記述)



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
異性との出会いの機会の提供(パーティなど)	72	138	1	1	212
マッチングアプリ(AIマッチングシステムなど)の充実	37	55	2	1	95
結婚祝い金などの金銭的支援	100	307	7	3	417
結婚のためのセミナーの開催	22	37	5	0	64
正規雇用として働ける就労支援	63	196	4	1	264
交際相手探し(婚活より気軽な出会いの提供)のマッチングアプリサービス	33	67	1	2	103
答えたくない	24	75	0	4	103
その他	5	20	1	0	26
総計	356	895	21	12	1284

Q 2 3. 県の結婚支援サービスについて利用経験を教えてください。(どれか1つ) また、「利用したことがある」に○をつけた方は利用の満足度をおたずねします。(どれか1つ)

	利用経験			利用の満足度				
	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	満足	やや満足	やや不満	不満	答えたくない
いばらき結婚応援パスポート iPASS								
いばらき出会いサポートセンター								
いばらきマリッジサポーター								

いばらき結婚応援パスポート



利用経験	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合	満足度	男性	女性
利用したことがある	0	1	0	0	1	0.1%	満足	0	0
知っているが利用したことはない	8	9	0	0	17	2.3%	やや満足	0	0
知らない	173	502	9	7	691	95.0%	やや不満	0	0
答えたくない	8	8	0	2	18	2.5%	不満	0	1
合計	189	520	9	9	727	100.0%	答えたくない	0	0

いばらき出会いサポートセンター



利用経験	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合	満足度	男性	女性
利用したことがある	1	1	0	0	2	0.3%	満足	0	0
知っているが利用したことはない	11	10	0	0	21	2.9%	やや満足	0	1
知らない	167	501	9	7	684	94.1%	やや不満	0	0
答えたくない	10	8	0	2	20	2.8%	不満	0	0
合計	189	520	9	9	727	100.0%	答えたくない	1	0

いばらきマリッジサポーター



利用経験	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合	満足度	男性	女性
利用したことがある	1	0	0	0	1	0.1%	満足	1	0
知っているが利用したことはない	8	5	0	0	13	1.8%	やや満足	0	0
知らない	171	509	9	7	696	95.7%	やや不満	0	0
答えたくない	9	6	0	2	17	2.3%	不満	0	0
合計	189	520	9	9	727	100.0%	答えたくない	0	0

Q24. 利用経験で「知っているが利用したことがない」に○をつけた方におたずね
 します。利用できない、利用したことのない理由は何ですか（3つまで）
 （「利用する必要がない」「利用しない理由」「答えたくない」から選択。「利用しない理由」
 を選んだ場合は以下から理由を選択（3つまで））

- 利用する必要がない
- 利用しない理由
 - ・利用したいサービスが地域にない
 - ・利便性（立地、利用時間、利用期間等）が悪く利用しづらい
 - ・利用料金が低い
 - ・サービス内容に不安がある
 - ・利用方法が分からない
 - ・自分に利用する時間がない
 - ・申し込んだが利用できなかった
 - ・その他（自由記述）
- 答えたくない

利用しない理由



	男性	女性	合計
利用する必要がない	9	9	18
利用しない理由			
利用したいサービスが地域にない	0	0	0
利便性(立地,利用時間,利用期間等)が悪く利用しづらい	2	0	2
利用料金が低い	0	0	0
サービス内容に不安がある	2	0	2
利用方法が分からない	2	0	2
自分に利用する時間がない	1	1	2
申し込んだが利用できなかった	1	0	1
その他	0	0	0
答えたくない	0	1	1
合計	17	11	28

※「その他（自由記述）」は無し（0人）

Q25. 利用満足度でやや不満、不満に○を付けた方にうかがいます。満足できない、満足されない理由は何ですか（3つまで）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・利用したい時間に利用できない | ・必要になった時に利用できない |
| ・サービス内容が不十分 | ・利用料金が高い |
| ・答えたくない | ・その他（自由記述） |

●02女性

1 02必要になった時に利用できない

	男性	女性	合計
利用したい時間に利用できない	0	0	0
必要になった時に利用できない	0	1	1
サービス内容が不十分	0	0	0
利用料金が高い	0	0	0
答えたくない	0	0	0
その他（自由記述）	0	0	0
合計	0	1	1

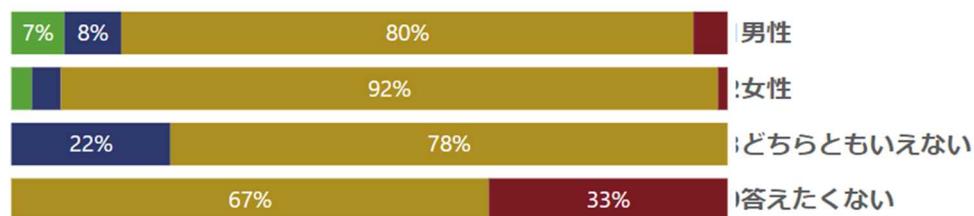
※「その他（自由記述）」は無し（0人）

○ あなたの妊娠に関する知識についておたずねします。

Q 2 6. あなたはプレコンセプションケア（男女を対象にした将来の妊娠のための健康管理を促す取組）について知っていますか。（どれか1つ）

- ・知っている ・聞いたことはある ・知らない ・答えたくない

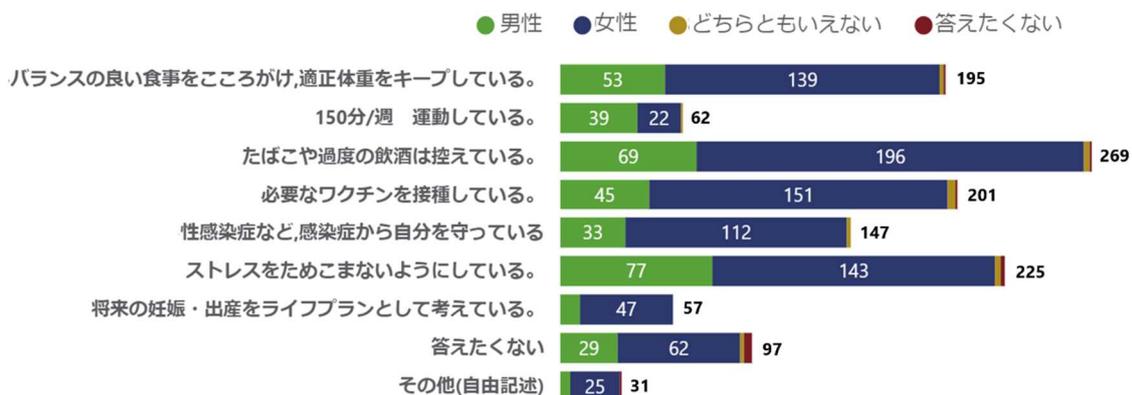
● 知っている ● 聞いたことはある ● 知らない ● 答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
知っている	14	15			29	4.0%
聞いたことはある	15	21	2		38	5.2%
知らない	151	477	7	6	641	88.2%
答えたくない	9	7		3	19	2.6%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

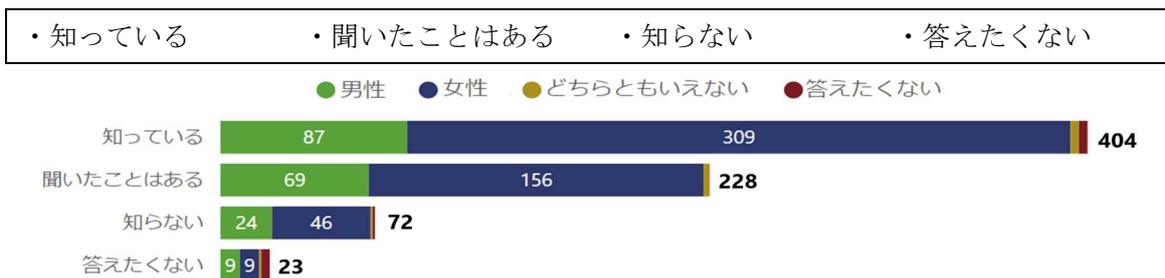
Q 2 7. 取り組んでいる健康管理はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・ バランスの良い食事をこころがけ、適正体重をキープしている。
- ・ 150分/週 運動している。
- ・ たばこや過度の飲酒は控えている。
- ・ 必要なワクチンを接種している。
- ・ 性感染症など、感染症から自分を守っている
- ・ ストレスをためこまないようにしている。
- ・ 将来の妊娠・出産をライフプランとして考えている。
- ・ 答えたくない
- ・ その他（自由記述 ）



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
バランスの良い食事をこころがけ、適正体重をキープしている。	53	139	2	1	195	15.2%
150分/週 運動している。	39	22	1	0	62	4.8%
たばこや過度の飲酒は控えている。	69	196	3	1	269	21.0%
必要なワクチンを接種している。	45	151	4	1	201	15.7%
性感染症など、感染症から自分を守っている	33	112	2	0	147	11.4%
ストレスをためこまないようにしている。	77	143	3	2	225	17.5%
将来の妊娠・出産をライフプランとして考えている。	10	47	0	0	57	4.4%
答えたくない	29	62	2	4	97	7.6%
その他(自由記述)	5	25	0	1	31	2.4%
総計	360	897	17	10	1284	100%

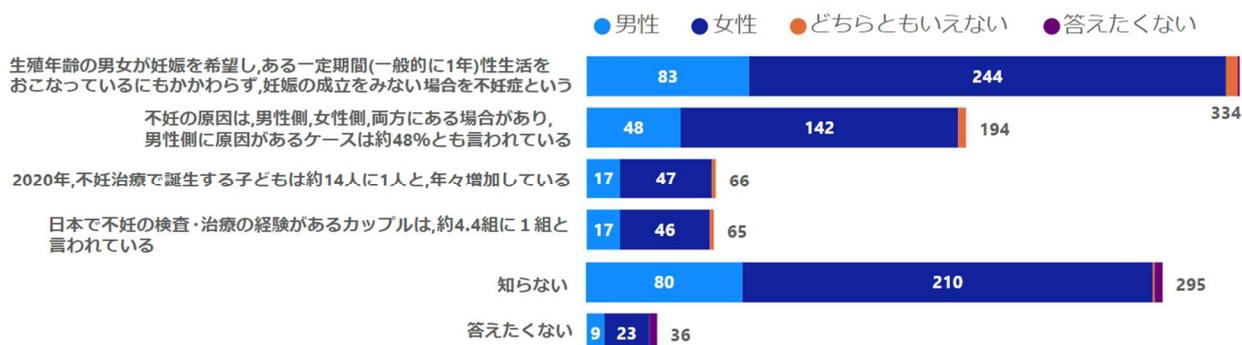
Q28. あなたは不妊症について知っていますか。(どれか1つ)



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
知っている	87	309	4	4	404	55.6%
聞いたことはある	69	156	3		228	31.4%
知らない	24	46	1	1	72	9.9%
答えたくない	9	9	1	4	23	3.2%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

Q29. 以下について知っていることを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 生殖年齢の男女が妊娠を希望し、ある一定期間（一般的に1年）性生活をおこなっているにもかかわらず、妊娠の成立をみない場合を不妊症という。
- ・ 不妊の原因は、男性側、女性側、両方にある場合があり、男性側に原因があるケースは約48%とも言われている。
- ・ 2020年、不妊治療で誕生する子どもは約14人に1人と、年々増加している。
- ・ 日本で不妊の検査・治療の経験があるカップルは、約4.4組に1組と言われている。
- ・ 知らない
- ・ 答えたくない

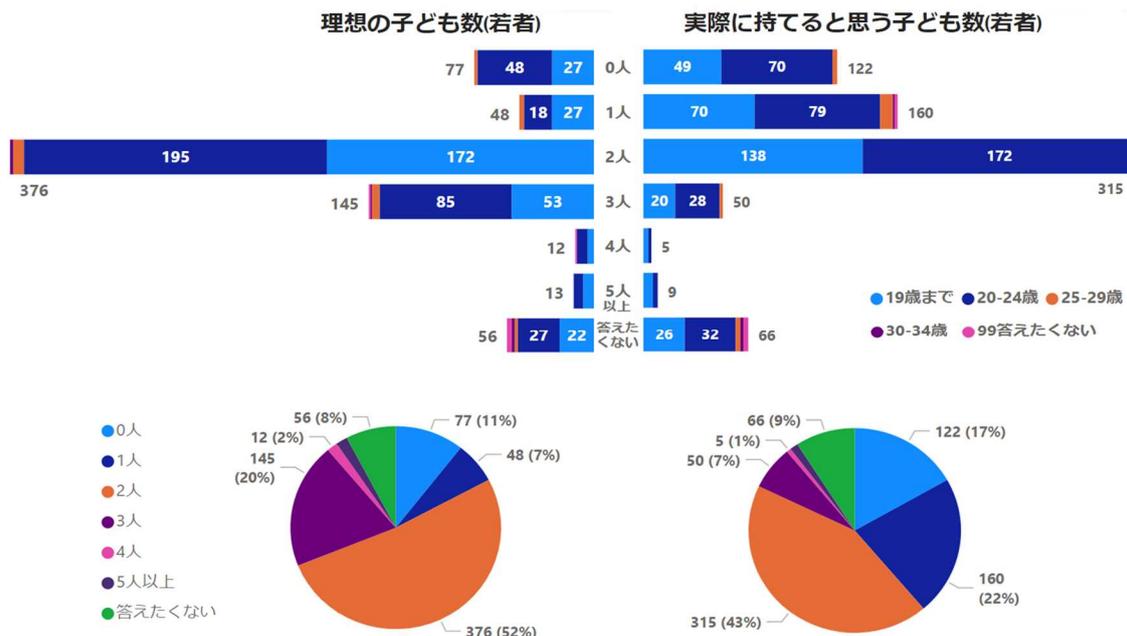


	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
生殖年齢の男女が妊娠を希望し、ある一定期間(一般的に1年)性生活をおこなっているにもかかわらず、妊娠の成立をみない場合を不妊症という	83	244	6	1	334	33.7%
不妊の原因は、男性側、女性側、両方にある場合があり、男性側に原因があるケースは約48%とも言われている	48	142	4		194	19.6%
2020年、不妊治療で誕生する子どもは約14人に1人と、年々増加している	17	47	2		66	6.7%
日本で不妊の検査・治療の経験があるカップルは、約4.4組に1組と言われている。	17	46	2		65	6.6%
知らない	80	210	1	4	295	29.8%
答えたくない	9	23		4	36	3.6%
総計	254	712	15	9	990	100.0%

○あなたの子育て感についておたずねします

Q30. あなたの理想の子どもの数と実際にもてると思う子どもの数についておたずねします。(それぞれ、どれか1つ)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	答えたくない
理想の子どもの数							
実際にもてると思う子どもの数							



[実際に持てると思う子どもの数]

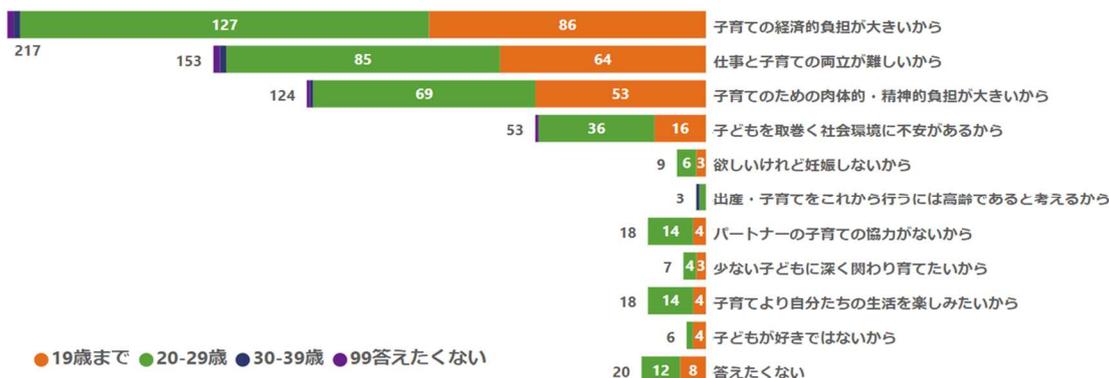
	19歳まで	20-24歳	25-29歳	30-34歳	答えたくない	総計	割合
0人(実)	49	70	3			122	16.8%
1人(実)	70	79	8	1	2	160	22.0%
2人(実)	138	172	3	2		315	43.3%
3人(実)	20	28	2			50	6.9%
4人(実)	3	2				5	0.7%
5人以上(実)	6	3				9	1.2%
答えたくない	26	32	3	2	3	66	9.1%
総計	312	386	19	5	5	727	100.0%

[理想の子どもの数]

	19歳まで	20-24歳	25-29歳	30-34歳	答えたくない	総計	割合
0人(理想)	27	48	2			77	10.6%
1人(理想)	27	18	3			48	6.6%
2人(理想)	172	195	7	2		376	51.7%
3人(理想)	53	85	5	1	1	145	19.9%
4人(理想)	4	7			1	12	1.7%
5人以上(理想)	7	6				13	1.8%
答えたくない	22	27	2	2	3	56	7.7%
総計	312	386	19	5	5	727	100.0%

Q31. 県では、理想の子どもの数と実際の子どもの数の差を減少することを目指しています。実際にもてると思う子どもの数が理想の子どもの数より少ない方は、その理由は何ですか。(3つまで)

- ・子育ての経済的負担が大きいから
- ・仕事と子育ての両立が難しいから
- ・子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから
- ・子どもを取巻く社会環境に不安があるから
- ・欲しいけれど妊娠しないから
- ・出産・子育てをこれから行うには高齢であると考えから
- ・パートナーの子育ての協力が無いから
- ・少ない子どもに深く関わり育てたいから
- ・子育てより自分たちの生活を楽しまたいから
- ・子どもが好きではないから
- ・答えたくない
- ・その他 (自由記述)

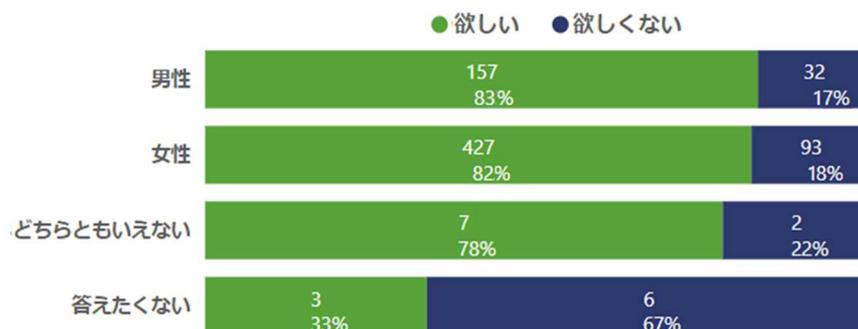


	19歳まで	20-29歳	30-39歳	答えたくない	総計
子育ての経済的負担が大きいから	86	127	2	2	217
仕事と子育ての両立が難しいから	64	85	2	2	153
子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから	53	69	1	1	124
子どもを取巻く社会環境に不安があるから	16	36		1	53
欲しいけれど妊娠しないから	3	6			9
出産・子育てをこれから行うには高齢であると考えから		2	1		3
パートナーの子育ての協力が無いから	4	14			18
少ない子どもに深く関わり育てたいから	3	4			7
子育てより自分たちの生活を楽しまたいから	4	14			18
子どもが好きではないから	4	2			6
答えたくない	8	12			20
総計	245	371	6	6	628

※「その他 (自由記述)」は無し (0人)

Q32. 将来、子どもが欲しいと思いますか（どれか1つ）

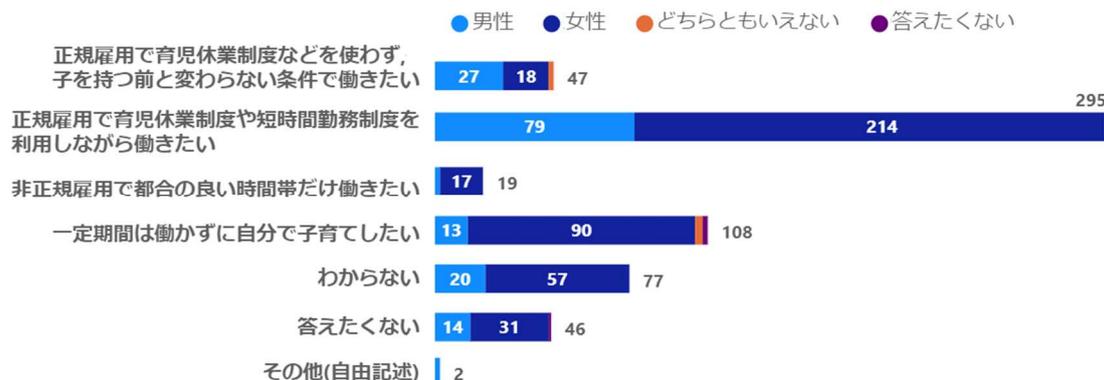
・欲しい ・欲しくない ・わからない、未定



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
欲しい	157	427	7	3	594	81.7%
欲しくない	32	93	2	6	133	18.3%
わからない	0	0	0	0	0	18.3%
総計	189	520	9	9	727	100.0%

Q33. 子どもが欲しい方にお聞きします。あなたが理想とする子育てのライフスタイルをおたずねします。（結婚している人は結婚前に考えていたライフスタイル）（どれか1つ）

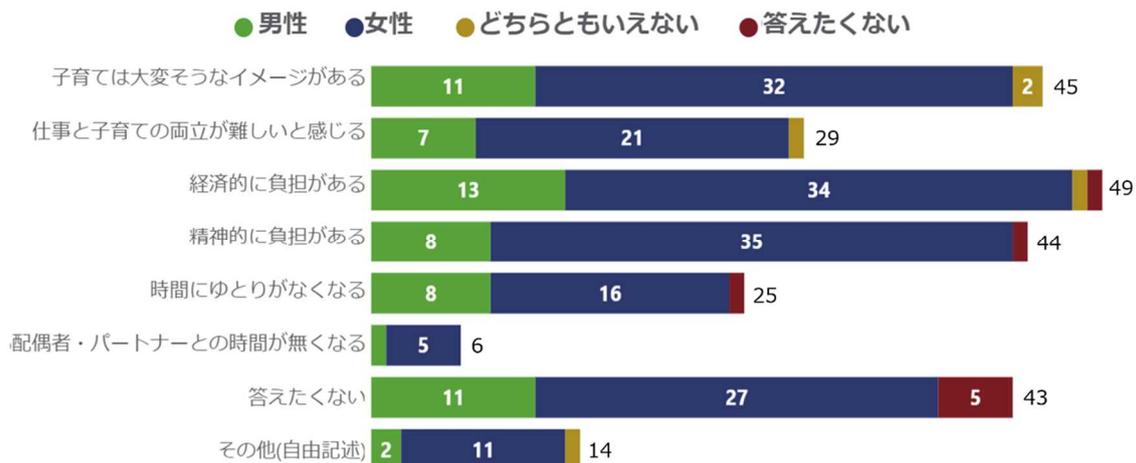
・ 正規雇用で育児休業制度などを使わず、子を持つ前と変わらない条件で働きたい
 ・ 正規雇用で育児休業制度や短時間勤務制度を利用しながら働きたい
 ・ 非正規雇用で都合の良い時間帯だけ働きたい
 ・ 一定期間は働かずに自分で子育てしたい
 ・ わからない ・ 答えたくない ・ その他（ ）



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
正規雇用で育児休業制度などを使わず、子を持つ前と変わらない条件で働きたい	27	18	2		47	7.9%
正規雇用で育児休業制度や短時間勤務制度を利用しながら働きたい	79	214	2		295	49.7%
非正規雇用で都合の良い時間帯だけ働きたい	2	17			19	3.2%
一定期間は働かずに自分で子育てしたい	13	90	3	2	108	18.2%
わからない	20	57			77	13.0%
答えたくない	14	31		1	46	7.7%
その他(自由記述)					2	0.3%
総計	157	427	7	3	594	100.0%

Q34. 子どもが欲しくない、方におたずねします。理由は何ですか。(3つまで)

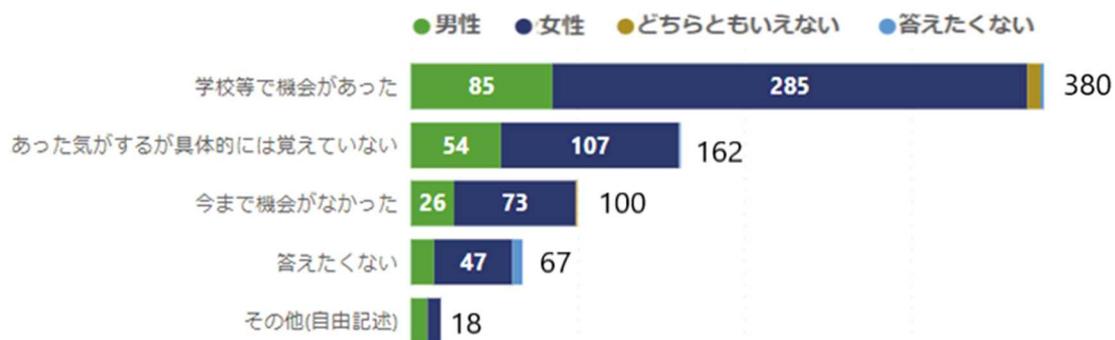
- ・ 子育ては大変そうなイメージがある
- ・ 仕事と子育ての両立が難しいと感じる
- ・ 精神的に負担がある
- ・ 配偶者・パートナーとの時間が無くなる
- ・ 経済的に負担がある
- ・ 時間にゆとりがなくなる
- ・ その他 (自由記述)



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計
子育ては大変そうなイメージがある	11	32	2	0	45
仕事と子育ての両立が難しいと感じる	7	21	1	0	29
経済的に負担がある	13	34	1	1	49
精神的に負担がある	8	35	0	1	44
時間にゆとりがなくなる	8	16	0	1	25
配偶者・パートナーとの時間が無くなる	1	5	0	0	6
答えたくない	11	27	0	5	43
その他(自由記述)	2	11	1	0	14
総計	61	181	5	8	255

Q35. あなたはいままで子育ての楽しさや大変さについて学んだり、考えたりする機会がありましたか（どれか1つ）

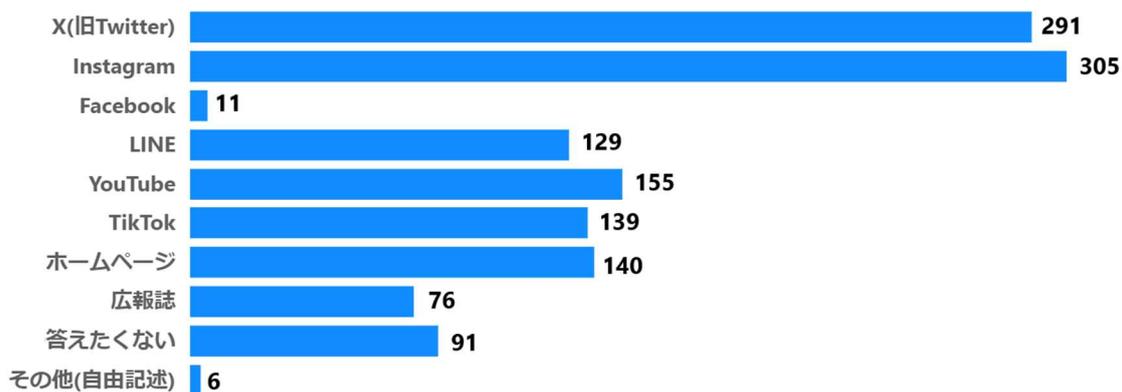
- ・ 学校等で機会があった
- ・ あった気がするが具体的には覚えていない
- ・ 今まで機会がなかった
- ・ 答えたくない
- ・ その他（ ）



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
学校等で機会があった	85	285	8	2	380	52%
あった気がするが具体的には覚えていない	54	107		1	162	22%
今まで機会がなかった	26	73	1		100	14%
答えたくない	14	47		6	67	9%
その他(自由記述)	10	8			18	2%
総計	189	520	9	9	727	100%

Q36. 県施策等の広報に利用して欲しい媒体は何ですか。(3つまで)

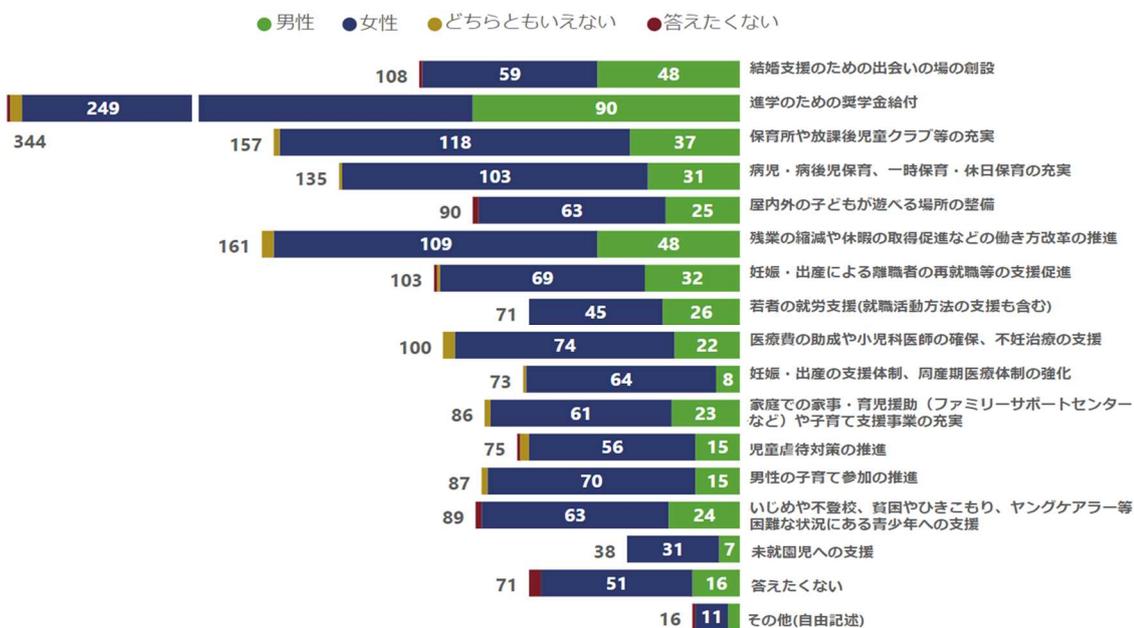
- | | | | |
|----------------|-------------|------------|--------|
| ・ X (旧Twitter) | ・ Instagram | ・ Facebook | ・ LiNE |
| ・ YouTube | ・ TikTok | ・ ホームページ | ・ 広報誌 |
| ・ 答えたくない | ・ その他 () | | |



	男性	(男性構成比)	女性	(女性構成比)	どちらでもない	(構成比)	答えたくない	(構成比)	総計	全体構成比
X(旧Twitter)	86	(23.9%)	199	(20.8%)	3	(23.1%)	3	(25.0%)	291	21.7%
Instagram	68	(18.9%)	232	(24.2%)	4	(30.8%)	1	(8.3%)	305	22.7%
Facebook	4	(1.1%)	6	(0.6%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	11	0.8%
LINE	35	(9.7%)	93	(9.7%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	129	9.6%
YouTube	63	(17.5%)	91	(9.5%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	155	11.5%
TikTok	31	(8.6%)	104	(10.9%)	3	(23.1%)	1	(8.3%)	139	10.3%
ホームページ	35	(9.7%)	102	(10.6%)	1	(7.7%)	2	(16.7%)	140	10.4%
広報誌	13	(3.6%)	63	(6.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	76	5.7%
答えたくない	24	(6.7%)	63	(6.6%)	0	(0.0%)	4	(33.3%)	91	6.8%
その他(自由記述)	1	(0.3%)	5	(0.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	0.4%
総計	360	(100.0%)	958	(100.0%)	13	(100.0%)	12	(100.0%)	1343	100.0%

Q37. 今後県が力を入れた方がいいと考える少子化対策・子育て支援はどれですか。
(3つまで)

- ・結婚支援のための出会いの場の創設
- ・進学のための奨学金給付
- ・保育所や放課後児童クラブ等の充実
- ・病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実
- ・屋内外の子どもが遊べる場所の整備
- ・残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進
- ・妊娠・出産による離職者の再就職等の促進
- ・若者の就労支援（就職活動方法の支援も含む）
- ・医療費の助成や小児医師の確保、不妊治療の支援
- ・妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化
- ・家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実
- ・児童虐待対策の推進
- ・男性の子育て参加の推進
- ・いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー（※）等困難な状況にある青少年への支援（※大人がする家事や家族の世話をいつもしている子ども）
- ・未就園児の支援
- ・答えたくない
- ・その他（自由記述）



資料編 若者向けアンケート結果 [調査票3]

	男性	女性	どちらとも いえない	答えた くない	総計
結婚支援のための出会いの場の創設	48	59		1	108
進学のための奨学金給付	90	249	4	1	344
保育所や放課後児童クラブ等の充実	37	118	2		157
病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実	31	103	1		135
屋内外の子どもが遊べる場所の整備	25	63		2	90
残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進	48	109	4		161
妊娠・出産による離職者の再就職等の支援促進	32	69	1	1	103
若者の就労支援(就職活動方法の支援も含む)	26	45			71
医療費の助成や小児科医師の確保、不妊治療の支援	22	74	4		100
妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化	8	64	1		73
家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実	23	61	2		86
児童虐待対策の推進	15	56	3	1	75
男性の子育て参加の推進	15	70	2		87
いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への支援	24	63		2	89
未就園児への支援	7	31			38
答えたくない	16	51		4	71
その他(自由記述)	4	11		1	16
総計	471	1296	24	13	1804

【調査票3】若者／自由記述

Q4. あなたは誰と住んでいますか（あてはまるものすべて。Q3で「同居人あり」を選択した人のみ）また、住まいについておたずねします。（どれか1つ）

同居家族 <ul style="list-style-type: none"> ・父 ・母 ・兄弟姉妹 ・祖父 ・祖母 	<ul style="list-style-type: none"> ・おじ・おばなどの親戚 ・配偶者 ・子ども ・答えたくない ・その他の人（自由記述） 	住まい <ul style="list-style-type: none"> ・持ち家 ・賃貸 ・答えたくない ・その他（自由記述）
---	--	---

男性
学生寮
女性
学生寮
社宅
父の持ち家

Q7. 既婚の方、交際相手がいる方にうかがいます。出会いのきっかけは何ですか。（どれか1つ）

<ul style="list-style-type: none"> ・学校で ・幼なじみ、隣人関係 ・友人や兄弟姉妹を通じて ・結婚相談所で ・アルバイトで ・答えたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場や仕事の関係で ・学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で ・見合いで（親戚や上役などの紹介も含む） ・街中や旅先で ・インターネットや結婚アプリで ・その他（自由記述）
---	---

男性 20-24 歳
自動車教習所にて
男性 25-29 歳
アプリ
女性 20-24 歳
マッチングアプリ

Q11. Q10（社会人で「仕事をしている」方）で「非正規雇用」及び「自営業、フリーランス」と答えた方におたずねします。その理由はどのようにしてですか。（あてはまるものすべて）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自由に休暇等がとれるなど、自分の生活スタイルに合っているから 2. 今の仕事に満足しているから 3. 自分のやりたいことのための時間をとれるから

4. 適当な職場が見つからないから	5. 就職活動がうまくいかなかったから
6. 会社が倒産、もしくは解雇されたから	7. やりたいことがわからないから
8. 働くことに自信がないから	9. 健康上の理由から
10. 家事や育児、介護など、家庭の理由から	
11. 答えたくない	12. その他（自由記述）
男性	
正規雇用も経験して、自営業のほうが面白いと感じたから	
女性	
社会人学生のため	

Q13. あなたが自分の将来の生活・生き方について、特に大事にしたいと考えていることは何ですか。（あてはまるものすべて）

1. 自分の才能や能力を生かして活躍する	2. 幸せな家庭をつくって楽しく暮らす
3. のんびり気ままに暮らす	4. お金がたくさんある豊かな生活をする
5. 社会の役に立って活躍する	6. 答えたくない
7. その他（）	
男性/19歳まで	
分からない	
男性/20-29歳	
できる限りリモートワークで家で仕事をしたい。	
心配事を極力少なく、ストレスなく暮らしたい	
老後やライフイベントの際の苦難を出来るだけ軽減させるような生活	
特に考えてない	
女性/19歳まで	
お金を稼いで、家族の助けになりたい	
女性/20-29歳	
楽しく生活する	

Q18. Q16で結婚したいと思わない、わからないと回答した方におたずねします。
理由は何ですか。（3つまで）

1. 自由に趣味や娯楽を楽しみたいから	2. 仕事（学業）に集中したいから
3. 行動が制限されるから	4. 家族扶養の責任が生じるから
5. 自由になるお金が減るから	6. 他人との生活はストレスがたまるから
7. 親元から離れなくてはならないから	8. 自分の健康上の理由
9. 家族の世話や介護をしているから	10. 経済的に厳しいから

11. 奨学金の返済が終わらないから	12. 答えたくない
13. その他（自由記述）	

男性／19歳まで
異性と関わるのは苦手であり、うまく交際できる自信がないから
分からない
男性／20-24歳
結婚したいと思う相手がいない
現在相手がいないくて実感がわからないから。
男性／25-29歳
誰かと暮らしたい気持ちはあるが、それと結婚するかどうかはまた別の問題だから。話し合った結果結婚することはありませんと思う。
女性／19歳まで
パートナーを幸せにする自身がないから
最近、お別れをしたばかりなので、そのような願望が薄れてしまった。
特に理由はない／分からない／どっちでもいい
女性／20-24歳
そこまで考えてない
結婚したいと思う人が現れればしたいが、探してまで結婚したいと思わないから。
結婚しなくても一緒にいることができればいい
結婚という制度の意義・必要性があまり分からないから／結婚をする理由が無いから
結婚に興味がないから
結婚に対して漠然としたイメージしかなく、なんとも言えないとしか言えないから。
結婚をしてまで現状を変えたくないから。
親と両家祖父母、叔父など身近に離婚している夫婦が多く結婚生活に希望が無いため
他人と一定以上の信頼関係を築ける自信がないから
理由は特にないけど、面倒くさそうだから

Q19. あなたはどんなときに結婚を考えますか（考えましたか）（3つまで）

1. 結婚したい相手と出会った時	2. 結婚したい年齢になったとき
3. 社会人としてある程度経験を積んだ時	4. 貯蓄ができたとき
5. 友人や知人が結婚した時	6. 親や親せきに勧められた時
7. 親に老いを感じたとき	8. 妊娠した時
9. 子どもが欲しいと感じたとき	10. 答えたくない
11. その他（自由記述）	

男性／19歳まで
趣味を邪魔されない環境が出来たら
分からない

男性／20-24 歳
結婚はしたくない
互いに就職先を見つけて安定した生活を送れる目処がたった時。
女性／19 歳まで
お付き合いしている人と一緒に過ごしている時
この人とずっと一緒にいたいと思った時
そもそも関心がない。人が嫌い。私だけで十分だ。信用できる友人はいた方がいいが、家族をつくる必要なんてない。
周囲が結婚している状況を見て自然とそう考えていた。
長く付き合ってるから
女性／20-24 歳
お見舞いなど家族、親族しか入れないところに入る時
したいと考えてない／考えたことない
異性との生活が安定した時
女性／25-29 歳
ない
どちらともいえない／30-34 歳
いかなる場合でも結婚は考えていない
答えたくない／19 歳まで
結婚したいと全く思わないから、ない。

Q20. あなたが結婚相手に求める条件として重視する（した）ものは何ですか。
（3つまで）

・相手の学歴	・相手の職業
・相手の収入など経済力	・相手の人柄
・相手の容姿	・共通の趣味の有無
・自分の仕事への理解・協力	・家事や育児の能力・姿勢
・答えたくない	・その他（自由記述 ）

女性／19 歳まで
自分のことを理解してくれるか
尊敬できるかどうか
特になし
女性／20-24 歳
愛してくれる人
価値観の一致
自分の趣味への理解
特になし

女性/25-29 歳
価値観の一致

Q 2 1. あなたの結婚のイメージに近い (近かった) のはどれですか (3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的に余裕ができる ・ 精神的な安らぎを得られる ・ 自分の家族や子どもが持てる ・ 親から独立できる ・ ひとりの時間が減る ・ 家事負担が増える ・ その他 (自由記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的信用を得られる、周囲と対等になれる ・ 愛情を感じている人と一緒に過ごせる ・ 生き甲斐ができる ・ 親を安心させることができる ・ お金の自由がなくなる ・ 答えたくない
---	--

男性/20-24 歳
子をつくることで生き物全ての子孫繁栄を守れ、両文化や生活を共有・見直しの機会になれる。
女性/19 歳まで
病気で動けなくなっても相手を支えられるか、あるいは支えてくれるのか
女性/20-24 歳
孤独死しなくて済む

Q 2 2. 結婚を望む人が結婚できるよう行政が行う支援で何が必要ですか (3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 異性との出会いの機会の提供 (パーティなど) ・ マッチングアプリ (AI マッチングシステムなど) の充実 ・ 結婚祝い金などの金銭的支援 ・ 結婚のためのセミナーの開催 ・ 正規雇用として働ける就労支援 ・ 交際相手探し (婚活より気軽な出会いの提供) のマッチングアプリサービス ・ 答えたくない ・ その他 (自由記述)
--

男性/19 歳まで
わからない
男性/20-24 歳
子育てに関わる費用の助成
男性/25-29 歳
直接結婚がちらつくより、趣味の集まりなどラフに人と会える場所があるなら行ってみたいです。
女性/19 歳まで
とくに行政が支援しなければいけないことはない。
結婚した人へ向けた待遇サービス

結婚後のサポート (通院補助や保育園、学童など)
大人の人が通える習い事 (趣味を通して出会う場の提供)
女性 / 20-24 歳
異性に限らず結婚できる制度の確立
学校での指導 (常識や他人の気持ちを知る授業)
減税して個人が持てる資金を増やす
子育て支援 (産休)
趣味や仕事などをのコミュニティづくり
住宅など、過ごしやすい環境の整備やその情報の提供
積極的に行動できる人が結婚したい場合には、自分で動けると思うので、おとなしい人や異性と会うことに抵抗がある人をターゲットにしたものが必要だと思う
特になし。少子化を改善するために、結婚を推進することが、間違いであって、何も改善しないと思う。
女性 / 25-29 歳
支援金があれば、大きなきっかけになると思う
女性 / 30-34 歳
福祉制度の充実
どちらともいえない / 20-24 歳
同性婚を認めること

Q 2 7. 取り組んでいる健康管理はありますか。(あてはまるものすべてに○)

<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの良い食事をこころがけ、適正体重をキープしている。 ・ 1 5 0 分/週 運動している。 ・ たばこや過度の飲酒は控えている。 ・ 必要なワクチンを接種している。 ・ 性感染症など、感染症から自分を守っている ・ ストレスをためこまないようにしている。 ・ 将来の妊娠・出産をライフプランとして考えている。 ・ 答えたくない ・ その他 (自由記述)

男性
特に何もしていない
女性
なるべく歩くようにしている (降りるべきバス停の数個前で降りて歩く、近い距離はなるべく歩く)
よく寝る
運動は 1 時間以上はしています。
人と関わることで社会性の獲得を継続すること。
毎日ヤクルト飲んでる
葉酸を摂取

Q33. 子どもが欲しい方にお聞きします。あなたが理想とする子育てのライフスタイルをおたずねします。(結婚している人は結婚前に考えていたライフスタイル)

1. 正規雇用で育児休業制度などを使わず、子を持つ前と変わらない条件で働きたい
2. 正規雇用で育児休業制度や短時間勤務制度を利用しながら働きたい
3. 非正規雇用で都合の良い時間帯だけ働きたい
4. 一定期間は働かずに自分で子育てしたい
5. わからない
6. 答えたくない
7. その他 ()

男性/25-29 歳
自営業なので自分でコントロールしつつ、できることは変わらず続けたい
男性/答えたくない
給料は据え置きで育休や時短勤務が使って働くことができる

Q34. 子どもが欲しくない、方におたずねします。理由は何ですか。(3つまで)

1. 子育ては大変そうなイメージがある	3. 経済的に負担がある
2. 仕事と子育ての両立が難しいと感じる	5. 時間にゆとりがなくなる
4. 精神的に負担がある	7. その他 (自由記述)
6. 配偶者・パートナーとの時間が無くなる	

女性
子どもが好きではないから
子どもを育てることは責任が重いとを感じるから。
子供に愛情が持てなさそう
子供を真っ当に育てられる自信がない
自分のコンプレックスを子どもに押し付けてしまいそう
障害を持って産まれてくる可能性が高いから
妊娠に拒否感がある。
どちらともいえない
子どもに生きてほしい社会ではない

Q35. あなたはいままで子育ての楽しさや大変さについて学んだり、考えたりする機会がありましたか(どれか1つ)

1. 学校等で機会があった	2. あった気がするが具体的には覚えていない
3. 今まで機会がなかった	4. 答えたくない
5. その他 ()	

男性
一回り以上年の離れた妹数名/兄弟のお世話/家族との生活の中

女性
とりあえず全部やれば良いと思う
家庭や子ども持てるだけの給与(手取り)の充実
子供関連はすべて力を入れてほしい。出会いの場はあまり必要ではない。
私立保育園などにも、支援を充実させる
出産した事で起きる病気などのサポートが必要だと思う
当事者の意見を積極的に取り入れ、その立場にない人の意見を優先しない
特になし。行政には期待していない
どちらともいえない
給付金

【調査票4】保護者／計38問

○ あなたとあなたのご家庭のことについておたずねします。

Q1. あなたの性別 (1つに○)

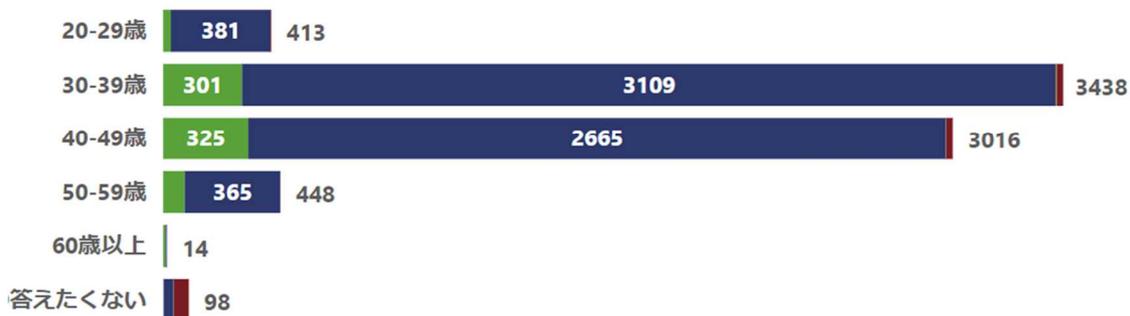
1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない 4. 答えたくない

※Q2とともに集計

Q2. あなたの年齢 (どれか1つ)

- ・ 29歳まで ・ 30歳～39歳 ・ 40歳～49歳
 ・ 50歳～59歳 ・ 60歳～ ・ 答えたくない

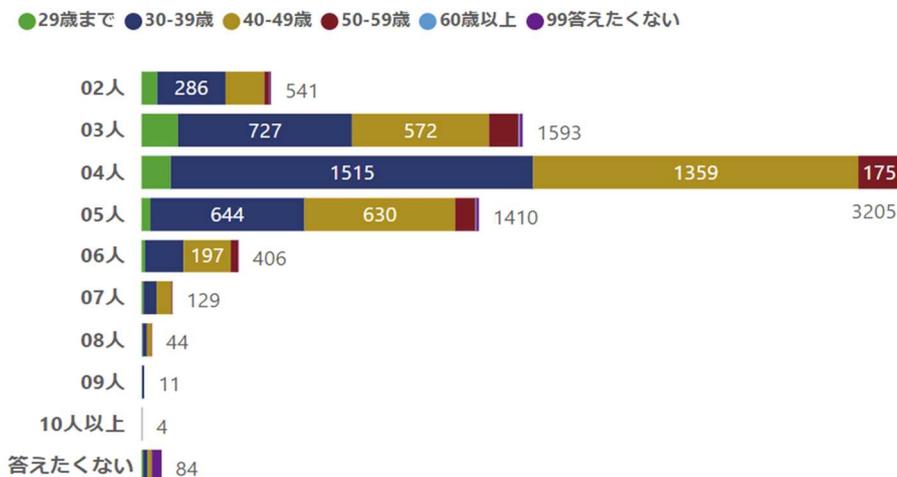
●男性 ●女性 ●どちらともいえない ●答えたくない



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	総計	割合
20-29歳	29	381		3	413	5.6%
30-39歳	301	3109	4	24	3438	46.3%
40-49歳	325	2665	1	25	3016	40.6%
50-59歳	82	365		1	448	6.0%
60歳以上	9	5			14	0.2%
答えたくない	2	38	1	57	98	1.3%
総計	748	6563	6	110	7427	100.0%
割合	10.1%	88.4%	0.1%	1.5%	100.0%	-

Q3. ふだん一緒にお住まいで、生計をともにしている方（世帯員）はあなたを含めて何人ですか。（どれか1つ）

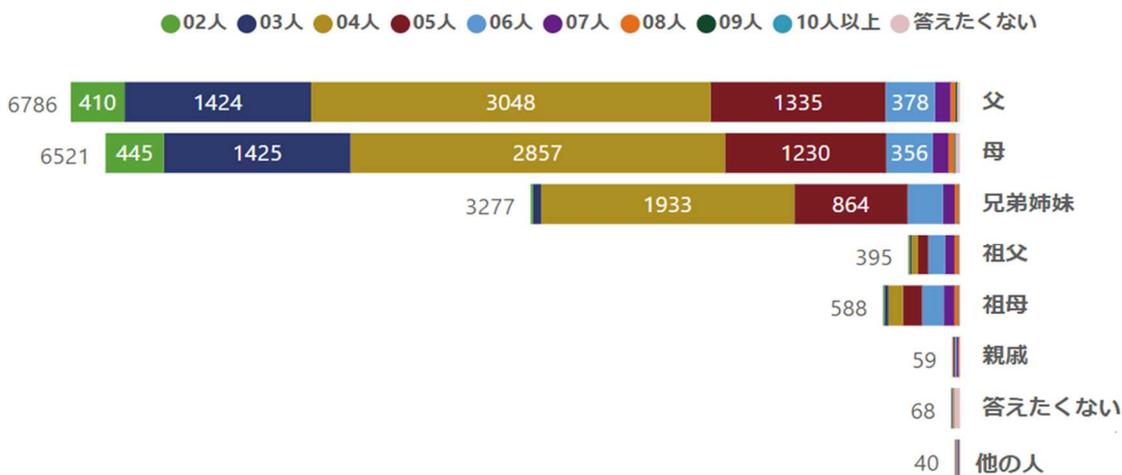
- ・ 2人 ・ 3人 ・ 4人 ・ 5人 ・ 6人
- ・ 7人 ・ 8人 ・ 9人 ・ 10人以上 ・ 答えたくない



	29歳まで	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	答えたくない	総計	割合
2人	65	286	162	22	1	5	541	7.3%
3人	153	727	572	124	5	12	1593	21.4%
4人	122	1515	1359	175	5	29	3205	43.2%
5人	37	644	630	85	3	11	1410	19.0%
6人	15	161	197	31		2	406	5.5%
7人	8	55	61	5			129	1.7%
8人	4	19	18	3			44	0.6%
9人	2	9					11	0.1%
10人以上		3	1				4	0.1%
答えたくない	7	19	16	3		39	84	1.1%
総計	413	3438	3016	448	14	98	7427	100.0%

Q4. お子さまから見て、生計をともにしている方はどなたですか。※単身赴任などで一時的に別居している方も含みます。(あてはまるものすべて)

- | | | |
|---------|----------------|------------|
| ・父 | ・母 | ・兄弟姉妹 |
| ・祖父 | ・祖母 | ・おじ・おばなど親戚 |
| ・答えたくない | ・その他の他人 (自由記述) | |



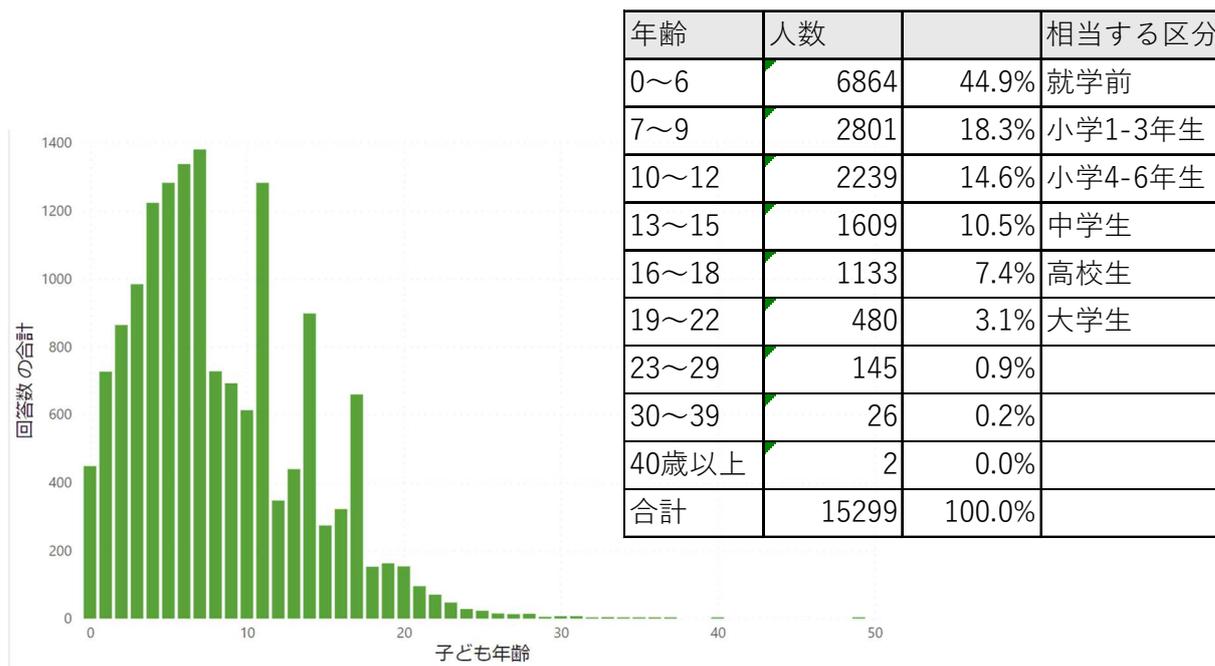
	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	答えたくない	総計
父	410	1424	3048	1335	378	119	39	10	4	19	6786
母	445	1425	2857	1230	356	121	40	10	4	33	6521
兄弟姉妹	17	63	1933	864	270	89	29	7	2	3	3277
祖父	11	14	50	77	128	73	30	7	1	4	395
祖母	12	29	111	147	164	82	31	7	1	4	588
親戚		3	6	11	14	13	9	1	2		59
答えたくない	2	7	8	4	2	1	1			43	68
他の人	1	4	7	6	6	8	2	4	1	1	40
総計	898	2969	8020	3674	1318	506	181	46	15	107	17734

Q 5. あなたのお子さまの年齢をおたずねします。子どもの人数分、年齢を記入ください。

(3歳の双子の場合は、・3歳、・3歳のように記入してください)

・ 1. <u> </u> 歳	・ 2. <u> </u> 歳	・ 3. <u> </u> 歳
・ 4. <u> </u> 歳	・ 5. <u> </u> 歳	・ 6. <u> </u> 歳
・ 7. <u> </u> 歳		

子どもの年齢



子どもの数

	29歳まで	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	答えたくない	総計	割合
1人	208	844	613	98	6	37	1806	24.3%
2人	155	1771	1543	227	6	39	3741	50.4%
3人	39	686	723	103	2	21	1574	21.2%
4人	10	115	113	18		1	257	3.5%
5人以上	1	22	24	2			49	0.7%
総計	413	3438	3016	448	14	98	7427	100.0%

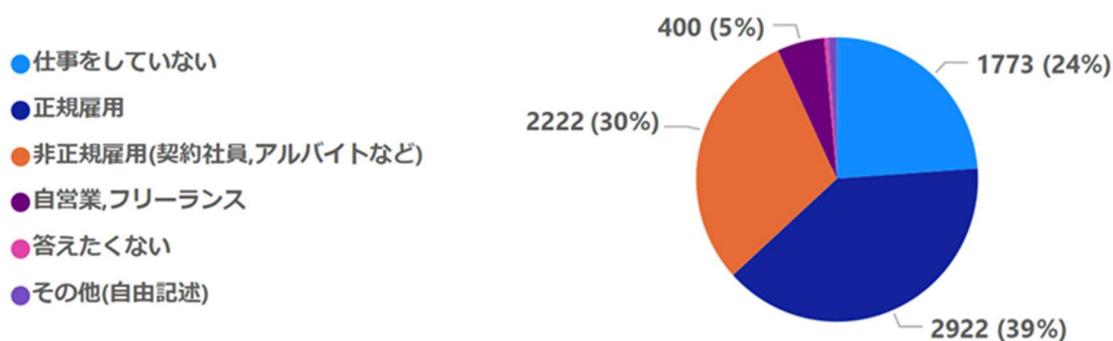


○ あなたの就労状況についておたずねします。

※現在、育児・介護休業を取得している場合は、就労時の状況をお答えください。

Q6. あなたは現在、下記のどちらにあてはまりますか。(どれか1つ)

・仕事をしていない	
・仕事をしている	・正規雇用
	・非正規雇用(契約社員、アルバイトなど)
	・自営業、フリーランス
	・答えたくない
	・その他()



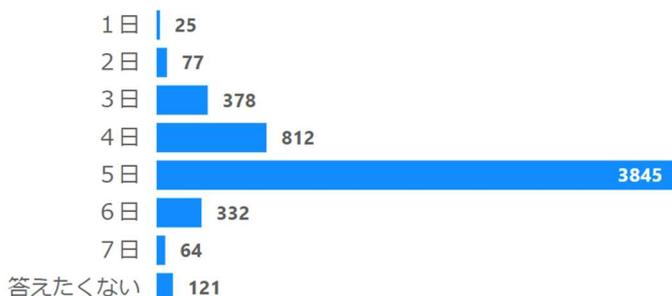
	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
仕事をしていない	51	1,689	3	30	1,773	23.9%
(仕事をしている)	(697)	(4874)	(3)	(80)	(5654)	(76.1%)
正規雇用	632	2,253	1	36	2,922	39.3%
非正規雇用(契約社員,アルバイトなど)	12	2,175	1	34	2,222	29.9%
自営業,フリーランス	49	343	1	7	400	5.4%
答えたくない	1	36	0	1	38	0.5%
その他(自由記述)	3	67	0	2	72	1.0%
合計	748	6,563	6	110	7,427	100.0%

Q 8. Q 6で「仕事をしている」と答えた方にお聞きします。1週間の平均的な労働日数をおしえてください（どれか1つ）

※複数の仕事をしている場合はすべて合わせた日数

※現在、育児・介護休業を取得している場合は、就労時の状況をお答えください。

- ・ 1日
- ・ 2日
- ・ 3日
- ・ 4日
- ・ 5日
- ・ 6日
- ・ 7日
- ・ 答えたくない



	回答数	割合
1日	25	0.4%
2日	77	1.4%
3日	378	6.7%
4日	812	14.4%
5日	3,845	68.0%
6日	332	5.9%
7日	64	1.1%
答えたくない	121	2.1%
合計	5,654	100.0%

Q 9. 働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）をおしえてください。（どれか1つ）

※複数の仕事をしている場合はすべて合わせた時間

※現在、育児・介護休業を取得している場合は、就労時の状況をお答えください

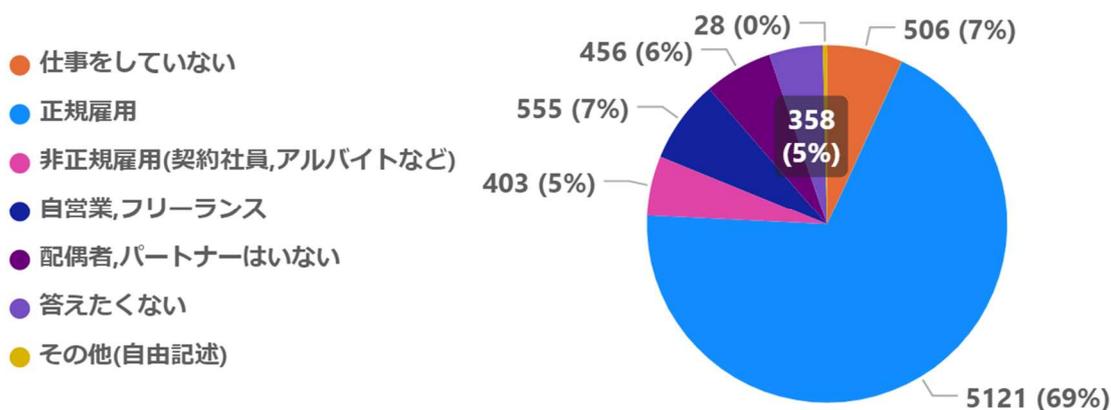
- ・ 2時間未満
- ・ 2～4時間未満
- ・ 4～6時間未満
- ・ 6～8時間未満
- ・ 8～10時間未満
- ・ 10～12時間未満
- ・ 12時間以上
- ・ 答えたくない



	回答数	割合
2時間未満	34	0.6%
2～4時間未満	282	5.0%
4～6時間未満	1,239	21.9%
6～8時間未満	2,234	39.5%
8～10時間未満	1,480	26.2%
10～12時間未満	208	3.7%
12時間以上	66	1.2%
答えたくない	111	2.0%
合計	5,654	100.0%

Q10. あなたの配偶者、パートナーの方は、下記のどちらにあてはまりますか。また、仕事をしている方は働き方についても教えてください。(どれか1つ)

・仕事をしていない	
・仕事をしている	・正規雇用
	・非正規雇用(契約社員、アルバイトなど)
	・自営業、フリーランス
	・答えたくない
	・その他()



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
仕事をしていない	134	360		12	506	6.8%
正規雇用	333	4,719	4	65	5,121	69.0%
非正規雇用(契約社員, アルバイトなど)	209	186		8	403	5.4%
自営業, フリーランス	24	525		6	555	7.5%
配偶者, パートナーはいない	41	408	1	6	456	6.1%
答えたくない	4	342	1	11	358	4.8%
その他(自由記述)	3	23		2	28	0.4%
合計	748	6,563	6	110	7,427	100.0%

※性別は、回答者本人の性別であり、配偶者・パートナーの性別ではありません。

Q11. Q10で「仕事をしている」と答えた方にお聞きします。配偶者、パートナーの方は現在、産休中、育児休業中、または育児短時間勤務にあたりますか。(どれか1つ)

- ・はい
- ・いいえ

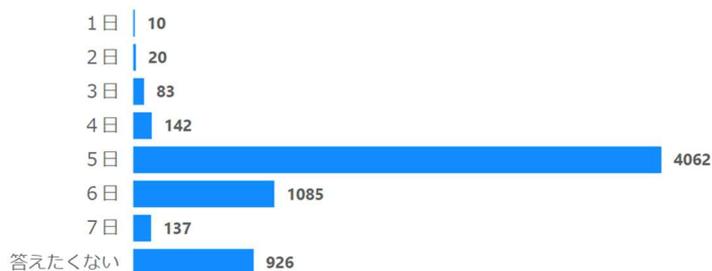
※「はい」は無し。全て「いいえ」という結果となっている。

Q12. Q10で「仕事をしている」と答えた方にお聞きします。1週間の平均的な労働日数をおしえてください(どれか1つ)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

※現在、育児・介護休業を取得している場合は、就労時の状況をお答えください。

- ・1日
- ・2日
- ・3日
- ・4日
- ・5日
- ・6日
- ・7日
- ・答えたくない



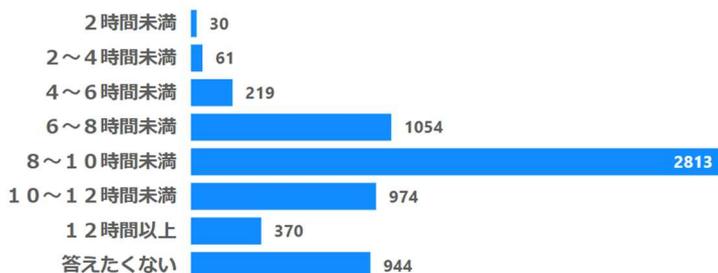
	回答数	割合
1日	10	0.2%
2日	20	0.3%
3日	83	1.3%
4日	142	2.2%
5日	4,062	62.8%
6日	1,085	16.8%
7日	137	2.1%
答えたくない	926	14.3%
	6,465	100.0%

Q13. 働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)をおしえてください。(どれか1つ)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

※現在、育児・介護休業を取得している場合は、就労時の状況をお答えください

- ・2時間未満
- ・2～4時間未満
- ・4～6時間未満
- ・6～8時間未満
- ・8～10時間未満
- ・10～12時間未満
- ・12時間以上
- ・答えたくない

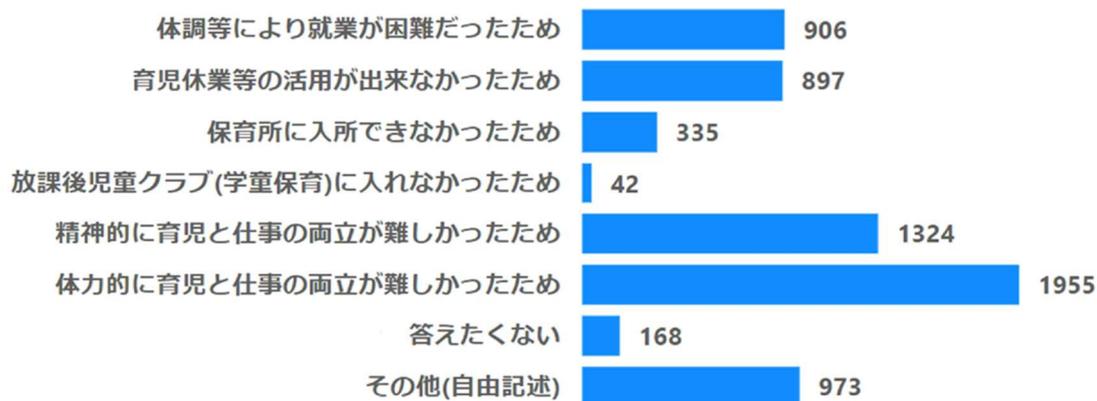


	回答数	割合
2時間未満	30	0.5%
2～4時間未満	61	0.9%
4～6時間未満	219	3.4%
6～8時間未満	1,054	16.3%
8～10時間未満	2,813	43.5%
10～12時間未満	974	15.1%
12時間以上	370	5.7%
答えたくない	944	14.6%
	6,465	100.0%

Q14. あなた（もしくは配偶者）は、妊娠や出産、育児を理由に仕事を辞めたり、働き方を変えたことがありますか。その理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

- ・体調等により就業が困難だったため
- ・育児休業等の活用が出来なかったため
- ・保育所に入所できなかったため
- ・放課後児童クラブ（学童保育）に入れなかったため
- ・精神的に育児と仕事の両立が難しかったため
- ・体力的に育児と仕事の両立が難しかったため
- ・働き方を変えていない
- ・答えたくない
- ・その他（自由記述）

	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
働き方を変えていない	440	2,443	2	40	2,925	39.4%
働き方を変えたことがある	308	4,120	4	70	4,502	60.6%
合計	748	6,563	6	110	7,427	100.0%



	男性	女性	どちらともいえない	答えたくない	合計	割合
体力的に育児と仕事の両立が難しかったため	148	1,778	1	28	1,955	29.6%
精神的に育児と仕事の両立が難しかったため	90	1,214	1	19	1,324	20.1%
その他(自由記述)	58	905	1	9	973	14.7%
体調等により就業が困難だったため	47	847	1	11	906	13.7%
育児休業等の活用が出来なかったため	57	827	0	13	897	13.6%
保育所に入所できなかったため	17	312	1	5	335	5.1%
放課後児童クラブ(学童保育)に入れなかったため	3	39	0	0	42	0.6%
答えたくない	18	133	2	15	168	2.5%
合計	438	6,055	7	100	6,600	100.0%

Q15. あなた（もしくは配偶者、パートナー）は妊娠した時、どう感じましたか。
 また困ったと感じた方は、活用できる制度を知っていましたか。（どれか1つ）

・嬉しい、産みたい	
・困った、産みたくない	・（出産一時金など）制度を知らなかった
	・（出産一時金など）制度を知っていたが困難に感じた
	・答えたくない
・その他（自由記述）	



	回答数	割合
嬉しい、産みたい	7,046	94.9%
困った、産みたくない	-	-
(出産一時金など)制度を知らなかった	14	0.2%
(出産一時金など)制度を知っていたが困難に感じた	89	1.2%
答えたくない	29	0.4%
その他(自由記述)	249	3.4%
	7,427	100.0%

○あなたの世帯の状況についておたずねします。

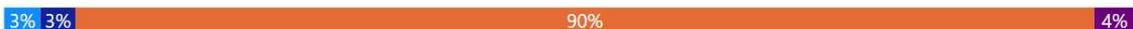
Q16. あなたは、次の手当や支援などを実際に利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（それぞれ1つ）

	利用中・ 利用した ことがある	知らな かったが、 今後利用 したい	利用の必 要がない	答えた くない
・児童扶養手当（離婚などで父又は母の一方からしか養育を受けられない児童等のために支給される手当）				
・障害や難病の手当（特別児童扶養手当、難病患者福祉手当など）				
・小中学校の就学援助（経済的な理由で就学が困難な児童生徒に対し、学用品などを援助する制度）				
・高等学校等就学支援金（所得要件を満たす世帯の高校等に通う生徒等に対し、授業料の支援をする制度）				
・修学資金の貸付（貸付金、貸付型の奨学金）				
・給付型の奨学金				
・公的機関の窓口（市町村役場、福祉事務所、児童相談所等）での相談				
・学校または学校関係者への相談				
・無料または低料金を利用できる家庭教師、地域での学習支援				
・住宅を探したり、住宅費が軽減される援助				
・生活保護				
・生活に必要な資金の貸付（母子・父子・寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金など）				
・離婚等により、別れて暮らす子どもの親からの養育費				

・児童扶養手当



・障害や難病の手当



・小中学校の就学援助



・高等学校等就学支援金



・修学資金の貸付



・給付型の奨学金



・公的機関の窓口での相談



・学校または学校関係者への相談



・無料または低料金で利用できる家庭教師、地域での学習支援



・住宅を探したり、住宅費が軽減される援助



・生活保護



・生活に必要な資金の貸付



1%

・離婚等により、別れて暮らす子どもの親からの養育費



3%

● 利用中・利用したことがある ● 知らなかったが、今後利用したい ● 利用の必要がない ● 答えたくない

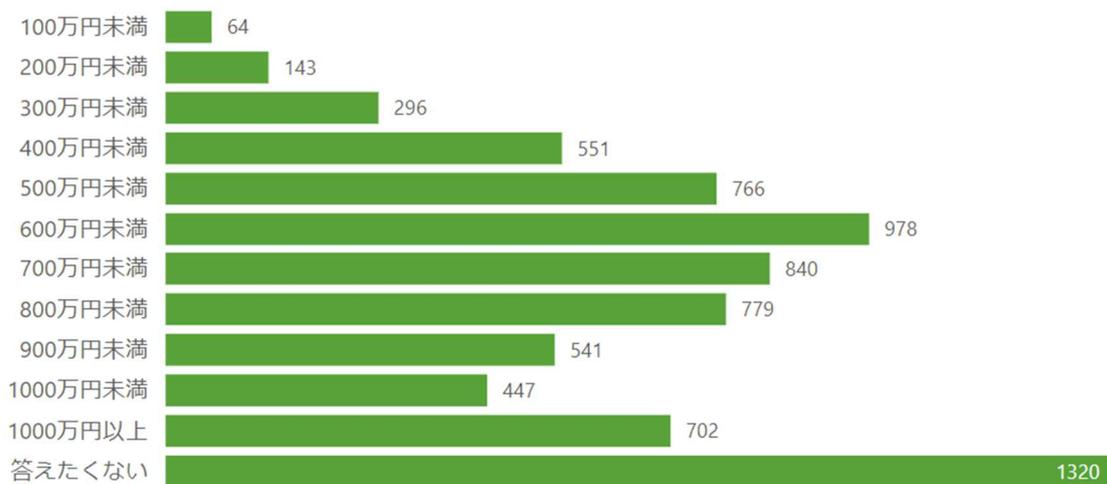
	利用中・利用 したことがある	知らなかったが、 今後利用したい	利用の必要 がない	答えたく ない	合計
児童扶養手当	1,337	190	5,640	260	7,427
(%)	18.0%	2.6%	75.9%	3.5%	100.0%
障害や難病の手当	239	229	6,693	266	7,427
(%)	3.2%	3.1%	90.1%	3.6%	100.0%
小中学校の就学援助	301	703	6,127	296	7,427
(%)	4.1%	9.5%	82.5%	4.0%	100.0%
高等学校等就学支援金	713	1,929	4,367	418	7,427
(%)	9.6%	26.0%	58.8%	5.6%	100.0%
就学資金の貸付	315	1,661	4,791	660	7,427
(%)	4.2%	22.4%	64.5%	8.9%	100.0%
給付型の奨学金	158	2,611	3,967	691	7,427
(%)	2.1%	35.2%	53.4%	9.3%	100.0%
公的機関の窓口	1,461	1,160	4,248	558	7,427
(%)	19.7%	15.6%	57.2%	7.5%	100.0%
学校または学校関係者への相談	1,411	1,215	4,175	626	7,427
(%)	19.0%	16.4%	56.2%	8.4%	100.0%
無料または低料金で利用できる家庭教師、	143	3,886	3,024	374	7,427
(%)	1.9%	52.3%	40.7%	5.0%	100.0%
住宅を探したり、住宅費が軽減される援	422	2,431	4,193	381	7,427
(%)	5.7%	32.7%	56.5%	5.1%	100.0%
生活保護	19	201	6,871	336	7,427
(%)	0.3%	2.7%	92.5%	4.5%	100.0%
生活に必要な資金の貸付	75	658	6,223	471	7,427
(%)	1.0%	8.9%	83.8%	6.3%	100.0%
離婚等により、別れて暮らす子どもの 親からの養育費	213	287	6,403	524	7,427
(%)	2.9%	3.9%	86.2%	7.1%	100.0%

Q17. あなたのご家族全員の収入（ボーナスなどを含む）を併せたおおよその世帯年収を年間の手取り額で教えてください。（どれか1つ）

※ここでいう収入とは、働いて得た収入（パート・アルバイトを含む）だけでなく、不動産所得や株式の配当、年金、児童手当や児童扶養手当など公的な援助手当等すべての収入を含みます。

※手取り額とは、税金、健康保険料や年金保険料、介護保険料を支払った後の金額になります。社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金などがある場合は、天引き前の金額になります。

- | | | |
|-----------------|---------------------------------|---------------|
| ・ 100万円未満 | ・ 100～200万円未満 | ・ 200～300万円未満 |
| ・ 300～400万円未満 | ・ 400～500万円未満 | ・ 500～600万円未満 |
| ・ 600～700万円未満 | ・ 700～800万円未満 | ・ 800～900万円未満 |
| ・ 900～1,000万円未満 | ・ 1,000万円以上 ^{まんえんいじょう} | ・ 答えたくない |



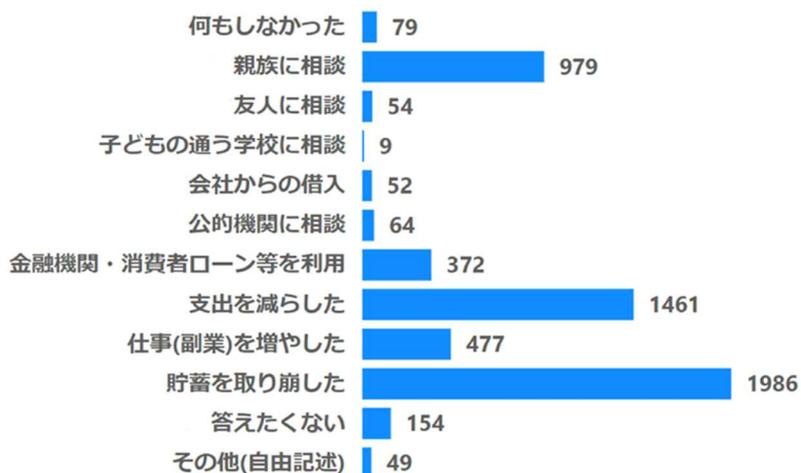
世帯全収入	回答数	割合
100万円未満	64	0.9%
200万円未満	143	1.9%
300万円未満	296	4.0%
400万円未満	551	7.4%
500万円未満	766	10.3%
600万円未満	978	13.2%
700万円未満	840	11.3%
800万円未満	779	10.5%
900万円未満	541	7.3%
1000万円未満	447	6.0%
1000万円以上	702	9.5%
答えたくない	1320	17.8%
総計	7427	100.0%

Q20. あなたのご家庭では、経済的に苦しい状況であったときに、どのように対応してきましたか。(あてはまるものすべて)

※「経済的に苦しい状況があった」「なかった」を回答の上、「あった」と回答した場合、下記より該当項目を選択。

・何もしなかった	・親族に相談
・友人に相談	・子どもの通う学校に相談
・会社からの借入	・公的機関に相談
・金融機関・消費者ローン等を利用	・支出を減らした
・仕事(副業)を増やした	・貯蓄を取り崩した
・答えたくない	・その他(自由記述)

	回答数	割合
経済的に苦しい状況があった	3,281	44.2%
経済的に苦しい状況はなかった	4,146	55.8%
合計	7,427	100.0%



	回答数	%
何もしなかった	79	1.4%
親族に相談	979	17.1%
友人に相談	54	0.9%
子どもの通う学校に相談	9	0.2%
会社からの借入	52	0.9%
公的機関に相談	64	1.1%
金融機関・消費者ローン等を利用	372	6.5%
支出を減らした	1,461	25.5%
仕事(副業)を増やした	477	8.3%
貯蓄を取り崩した	1,986	34.6%
答えたくない	154	2.7%
その他(自由記述)	49	0.9%
合計	5,736	100.0%

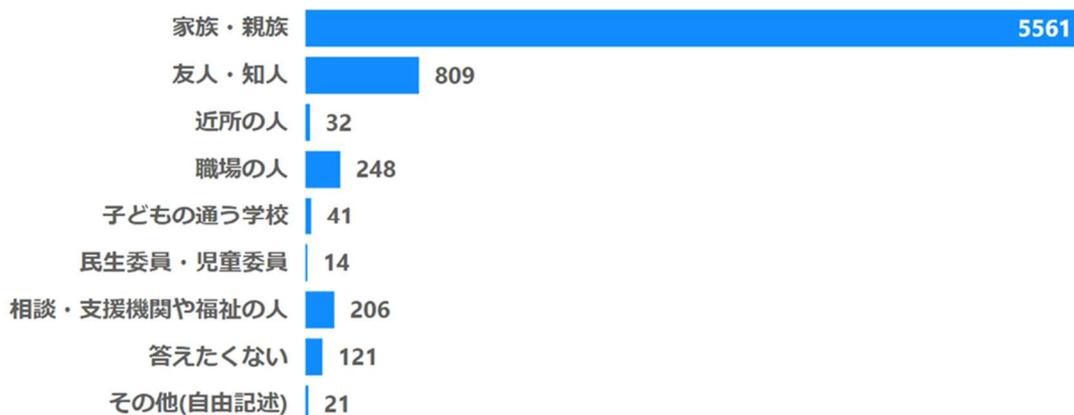
Q21. あなたは、経済的に苦しいときに、相談できる相手はいますか。

(あてはまるものすべて)

※「いる」「いない」を回答の上、「いる」と回答した場合、下記より該当項目を選択。

・家族・親族	・友人・知人
・近所の人	・職場の人
・子どもの通う学校	・民生委員・児童委員
・相談・支援機関や福祉の人	・相談できる相手はいない
・答えたくない	・その他(自由記述)

	回答数	割合
いる	5,776	77.8%
いない	1,651	22.2%
合計	7,427	100.0%

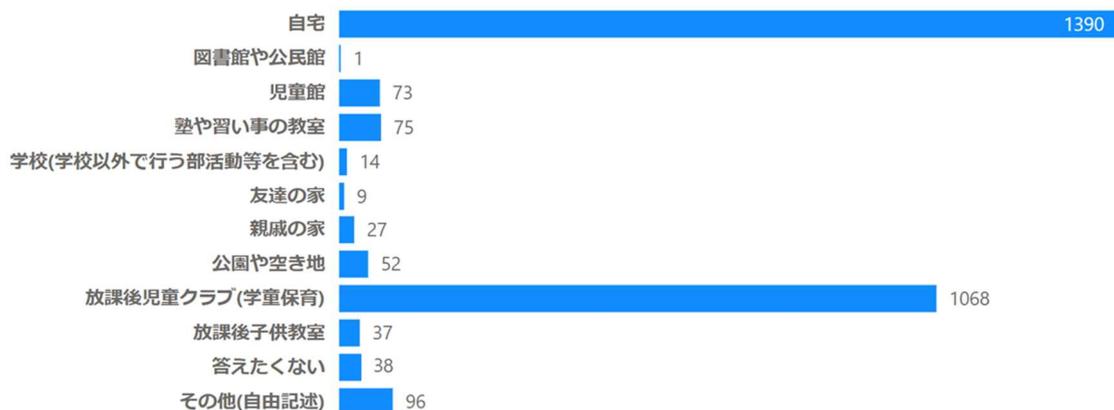


	回答数	割合
家族・親族	5,561	78.8%
友人・知人	809	11.5%
近所の人	32	0.5%
職場の人	248	3.5%
子どもの通う学校	41	0.6%
民生委員・児童委員	14	0.2%
相談・支援機関や福祉の人	206	2.9%
答えたくない	121	1.7%
その他(自由記述)	21	0.3%
合計	7,053	100.0%

○ お子さまのことについてお聞かせください。

Q22. 小学1～3年生までのお子さまがいる方におたずねします。(Q22のみ)
 お子さんは放課後、主に、どこで過ごしていますか。(どれか1つ)

- ・ 自宅
- ・ 児童館
- ・ 学校 (学校以外で行う部活動等を含む)
- ・ 親戚の家
- ・ ショッピングセンター
- ・ カラオケやゲームセンター
- ・ 放課後子供教室
- ・ 図書館や公民館
- ・ 塾や習い事の教室
- ・ 友達の家
- ・ 公園や空き地
- ・ コンビニエンスストア
- ・ 放課後児童クラブ
- ・ その他 ()



	回答数	%
自宅	1,390	48.3%
図書館や公民館	1	0.0%
児童館	73	2.5%
塾や習い事の教室	75	2.6%
学校(学校以外で行う部活動等を含む)	14	0.5%
友達の家	9	0.3%
親戚の家	27	0.9%
公園や空き地	52	1.8%
ショッピングセンター	0	0.0%
コンビニエンスストア	0	0.0%
カラオケやゲームセンター	0	0.0%
放課後児童クラブ(学童保育)	1,068	37.1%
放課後子供教室	37	1.3%
答えたくない	38	1.3%
その他(自由記述)	96	3.3%
合計	2,880	100.0%

Q23. お子さんには虫歯がありますか。(あてはまるものすべて)

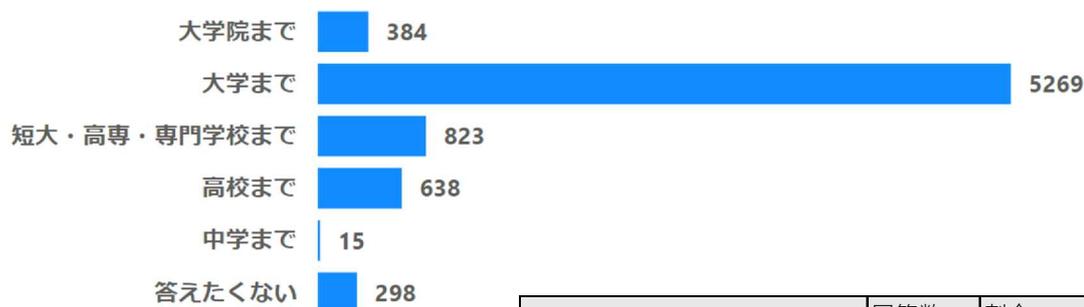
- ・虫歯はない
- ・虫歯はあるが治療した(治療中の場合も含む)
- ・虫歯はあるが, 病院には行けていない
- ・わからない
- ・答えたくない



	回答数	割合
虫歯はない	4,711	63.4%
虫歯はあるが治療した(治療中の場合も含む)	2,338	31.5%
虫歯はあるが, 病院には行けていない	183	2.5%
わからない	161	2.2%
答えたくない	34	0.5%
合計	7,427	100.0%

Q24. お子さんの将来のことについておたずねします。あなたは、お子さんの将来の進学・進路として、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをつけてください。(どれか1つ)

- ・大学院まで
- ・大学まで
- ・短大・高専・専門学校まで
- ・高校まで
- ・中学まで
- ・答えたくない



	回答数	割合
大学院まで	384	5.2%
大学まで	5,269	70.9%
短大・高専・専門学校まで	823	11.1%
高校まで	638	8.6%
中学まで	15	0.2%
答えたくない	298	4.0%
合計	7,427	100.0%

Q25. あなたがQ24のように答えた理由は、何ですか。次の中から最も近いものをつけてください。(どれか1つ)

- | | |
|------------------|---------------|
| ・お子さんがそう希望しているから | ・一般的な進路だと思うから |
| ・子どもの学力から考えて | ・保護者としての希望 |
| ・経済的事情から | ・答えたくない |
| ・その他 () | |



	回答数	割合
お子さんがそう希望しているから	1,205	16.2%
一般的な進路だと思うから	2,058	27.7%
子どもの学力から考えて	354	4.8%
保護者としての希望	2,762	37.2%
経済的事情から	293	3.9%
答えたくない	263	3.5%
その他(自由記述)	492	6.6%
合計	7,427	100.0%

Q26. Q25で「5 経済的事情から」と答えた方におたずねします。
経済的に費用を心配しなくて良い場合には、どの段階までの教育を受けさせたいと考えて
いますか。あなたのお考えに最も近いものをつけてください。(どれか1つ)

- | | | |
|--------|-------|---------------|
| ・大学院まで | ・大学まで | ・短大・高専・専門学校まで |
| ・高校まで | ・中学まで | ・答えたくない |

Q25で「経済的事情から」と答えた方についての、Q24とQ26の比較



将来の進学進路



将来の進学進路（経済的に費用を心配しなくてよい場合）

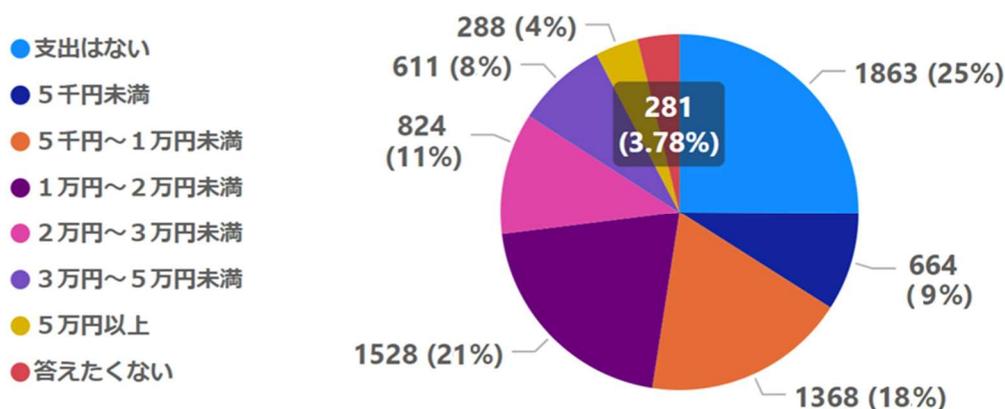


	(Q24) 将来の進学・進路		経済的に費用を心配しなくて良い場合	
大学院まで	0	(0.0%)	17	(5.8%)
大学まで	16	(5.5%)	201	(68.6%)
短大・高専・専門学校まで	86	(29.4%)	56	(19.1%)
高校まで	177	(60.4%)	14	(4.8%)
中学まで	7	(2.4%)	2	(0.7%)
答えたくない	7	(2.4%)	3	(1.0%)
合計	293	(100.0%)	293	(100.0%)

Q 27. お子さんの教育費についておたずねします。

学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。（どれか1つ）

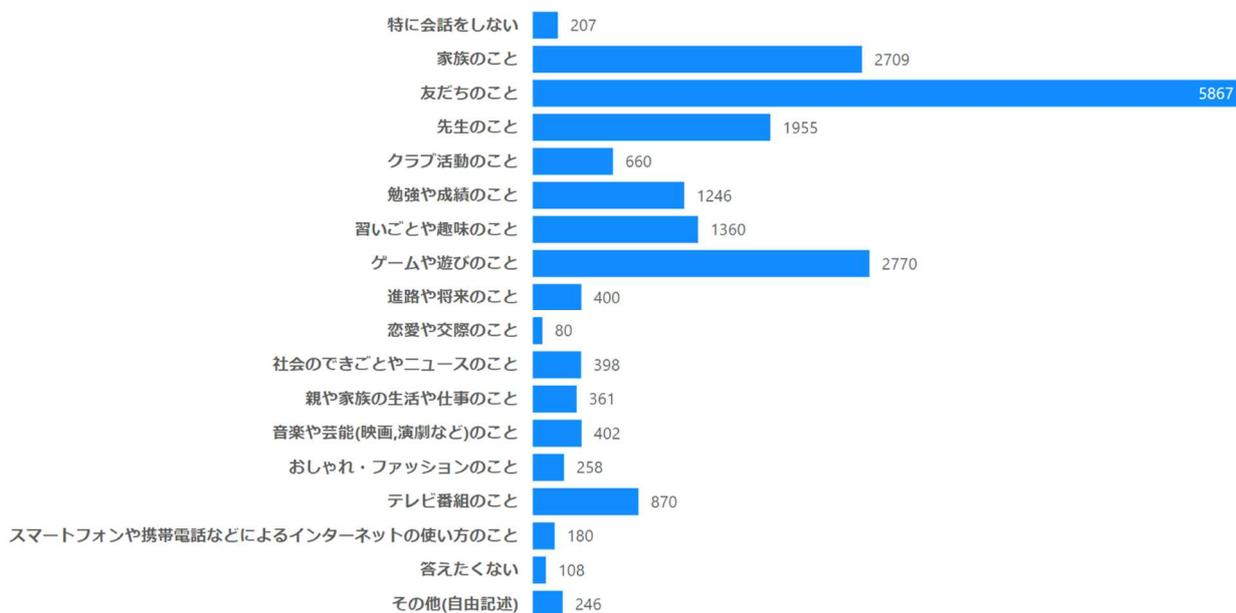
- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 支出はない | ・ 5千円未満 |
| ・ 5千円～1万円未満 | ・ 1万円～2万円未満 |
| ・ 2万円～3万円未満 | ・ 3万円～5万円未満 |
| ・ 5万円以上 | ・ 答えたくない |



	回答数	割合
支出はない	1,863	25.1%
5千円未満	664	8.9%
5千円～1万円未満	1,368	18.4%
1万円～2万円未満	1,528	20.6%
2万円～3万円未満	824	11.1%
3万円～5万円未満	611	8.2%
5万円以上	288	3.9%
答えたくない	281	3.8%
合計	7,427	100.0%

Q28. あなたは、お子さんとどのような会話をする人が多いですか。(3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| ・特に会話をしない | ・家族のこと |
| ・友だちのこと | ・先生のこと |
| ・クラブ活動のこと | ・勉強や成績のこと |
| ・習いごとや趣味のこと | ・ゲームや遊びのこと |
| ・進路や将来のこと | ・恋愛や交際のこと |
| ・社会のできごとやニュースのこと | ・親や家族の生活や仕事のこと |
| ・音楽や芸能(映画、演劇など)のこと | ・おしゃれ・ファッションのこと |
| ・テレビ番組のこと | |
| ・スマートフォンや携帯電話などによるインターネットの使い方のこと | |
| ・答えたくない | |
| ・その他(自由記述) |) |



	回答数
特に会話をしない	207
家族のこと	2,709
友だちのこと	5,867
先生のこと	1,955
クラブ活動のこと	660
勉強や成績のこと	1,246
習いごとや趣味のこと	1,360
ゲームや遊びのこと	2,770
進路や将来のこと	400
恋愛や交際のこと	80
社会のできごとやニュースのこと	398
親や家族の生活や仕事のこと	361
音楽や芸能(映画,演劇など)のこと	402
おしゃれ・ファッションのこと	258
テレビ番組のこと	870
スマートフォンや携帯電話などによるインターネットの使い方のこと	180
答えたくない	108
その他(自由記述)	246
合計	20,077

Q29. お子さんがインターネットを使うときのルールとして、家族でどんなことを決めて
ていますか。(あてはまるものすべて)

- ・フィルタリングサービス(有害なサイトへのアクセスを制限する仕組み)を利用すること
- ・使う時間の長さについて(1日2時間以内など)
- ・使ってはいけない時間帯のこと
- ・子ども部屋には持ち込まないこと
- ・利用料金のこと
- ・個人情報を伝えないこと
- ・インターネット上で知り合った人とは会わないこと
- ・困ったことが起きたら、大人に相談すること
- ・ルールはない
- ・答えたくない
- ・その他(自由記述)

	回答数	割合
ルールがある	5,275	71.0%
ルールはない	2,152	29.0%
合計	7,427	100.0%



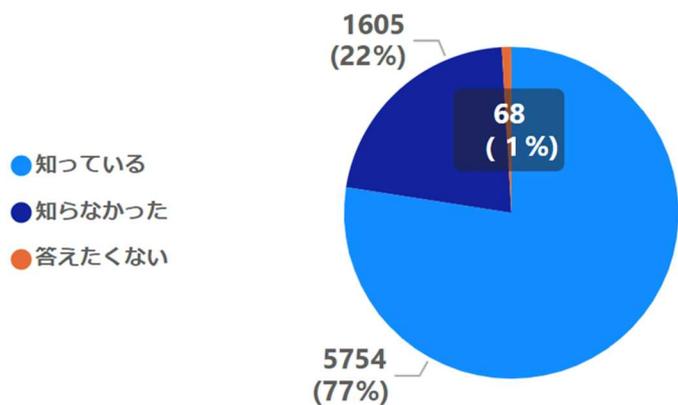
	回答数	%
フィルタリングサービスを利用すること	1,802	11.1%
使う時間の長さのこと(1日2時間以内など)	3,408	21.0%
使ってはいけない時間帯のこと	1,810	11.2%
子ども部屋には持ち込まないこと	1,012	6.2%
利用料金のこと	1,027	6.3%
個人情報を伝えないこと	2,291	14.1%
インターネット上で知り合った人とは会わないこと	2,014	12.4%
困ったことが起きたら、大人に相談すること	2,546	15.7%
答えたくない	105	0.6%
その他(自由記述)	196	1.2%
合計	16,211	100.0%

Q30. あなたは、茨城県青少年の健全育成等に関する条例により、保護者は深夜(午後11時から翌日の午前4時)に青少年を外出させないように努めることや、映画館やカラオケボックス等は深夜に青少年を入場させてはならないことを知っていますか。(どちらか一つ)

茨城県青少年の健全育成等に関する条例では、青少年の深夜外出について次のようなことが決められています。

- 保護者は青少年を深夜(午後11時から翌日の午前4時まで)に外出させないように努めなければなりません。
- コンビニエンスストアなど深夜に営業を行うものは、深夜に店内や敷地内にいる青少年に対し、帰宅をすすめるように努めなければなりません。
- 映画館やカラオケボックス、インターネットカフェ・漫画喫茶は、深夜に青少年を入場させてはいけません。

・知っている ・知らなかった ・答えたくない



	回答数	割合
知っている	5,754	77.5%
知らなかった	1,605	21.6%
答えたくない	68	0.9%
合計	7,427	100.0%

○子育てについておたずねします。

Q 3 1. あなたの地域の子育てサービスの利用経験はありますか。(それぞれ1つ)
 「利用したことがある」をつけた方は利用の満足度をお聞かせください。(それぞれ1つ)

【地域の子育てサービス】

1. いばらき kidsClub カード	2. ファミリーサポートセンター
3. 児童館	4. 放課後児童クラブ (学童保育)
5. 放課後子供教室	6. 子育て支援拠点
7. 産後ケア事業	8. 一時保育
9. 病児保育、病後児保育	10. 家事代行サービス

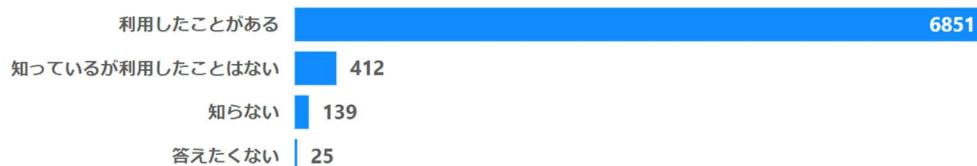
【利用経験】 (それぞれ1つ)

・利用したことがある	・知っているが利用したことがない
・知らない	・答えたくない

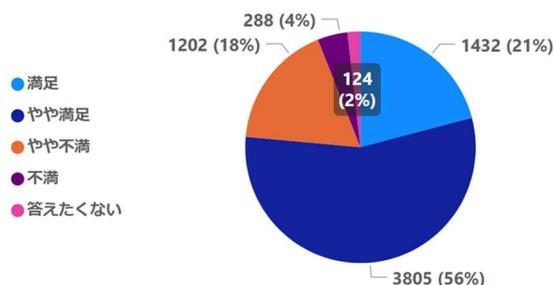
【利用満足度】 (それぞれ1つ)

・満足	・やや満足	・やや不満	・不満	・答えたくない
-----	-------	-------	-----	---------

・いばらき kidsClub カード

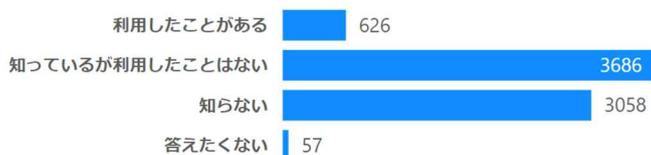


【利用経験】

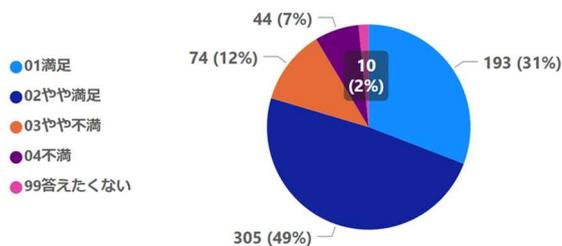


【利用満足度】

・ファミリーサポートセンター

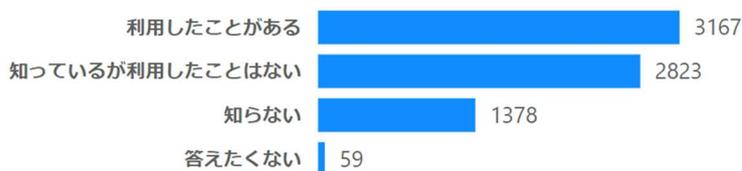


【利用経験】

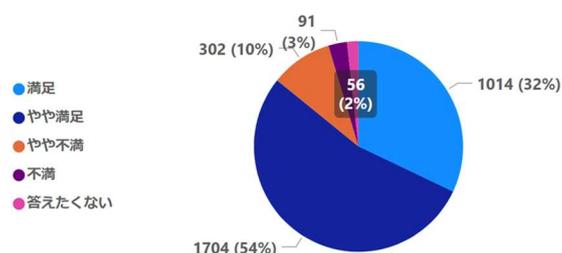


【利用満足度】

・児童館



【利用経験】

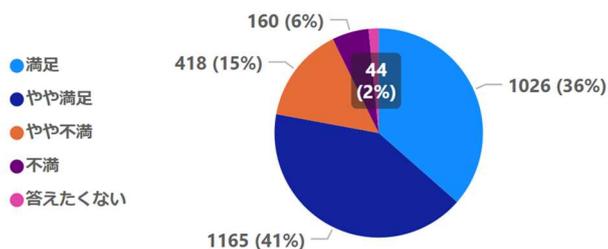


【利用満足度】

・放課後児童クラブ (学童保育)

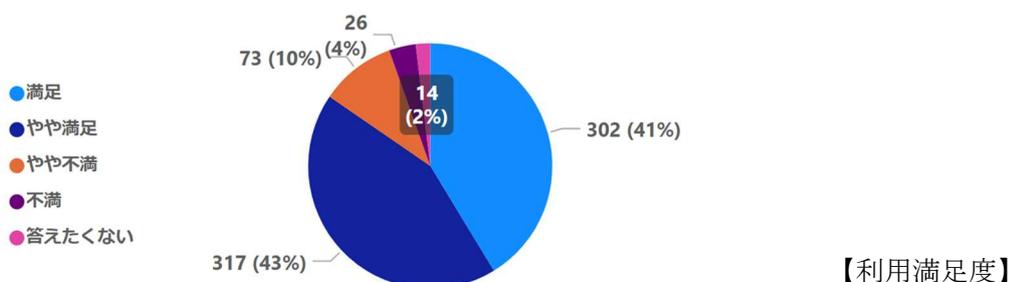
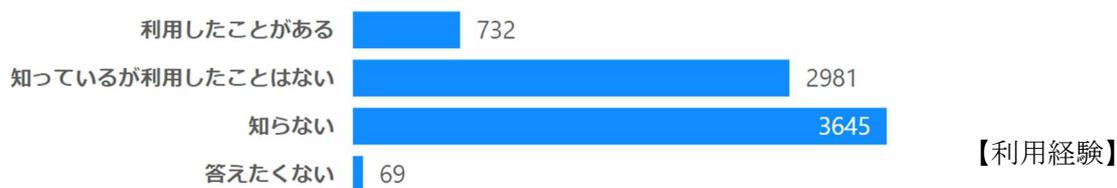


【利用経験】

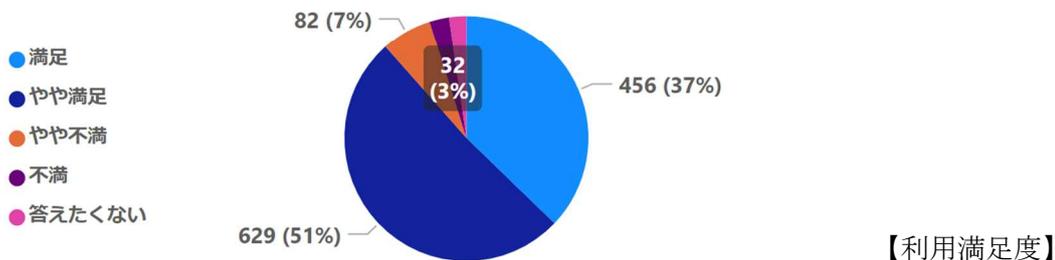
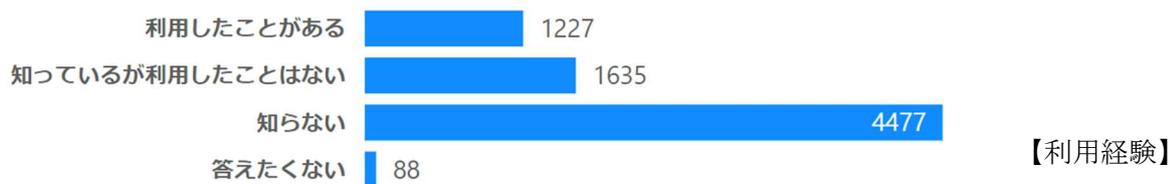


【利用満足度】

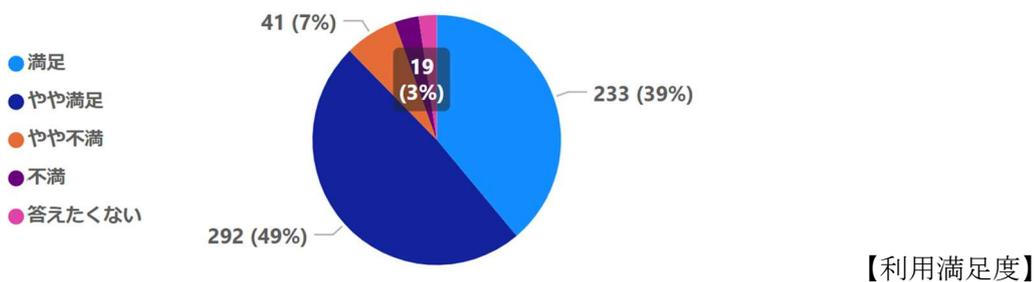
・ 放課後子供教室



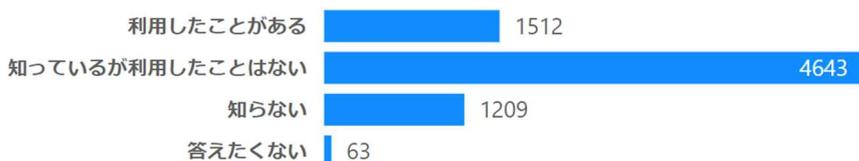
・ 子育て支援拠点



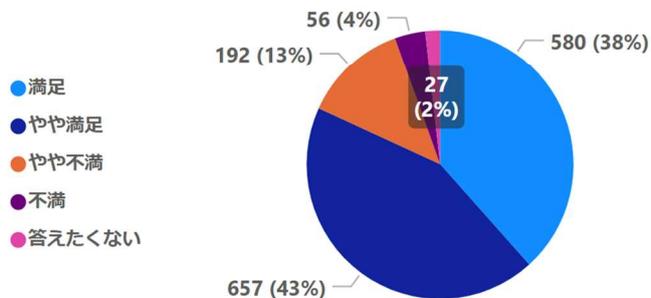
・ 産後ケア事業



・一時保育

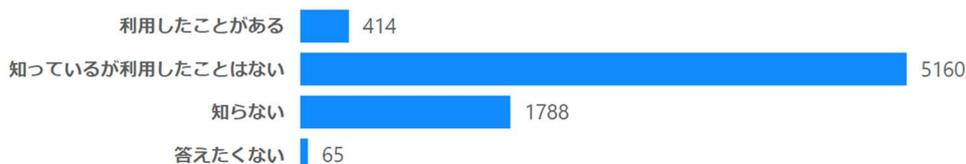


【利用経験】

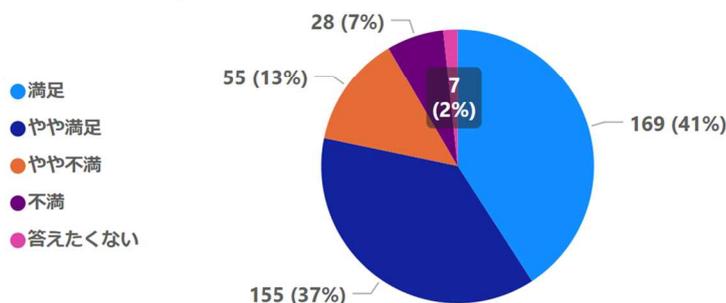


【利用満足度】

・病児保育、病後児保育



【利用経験】

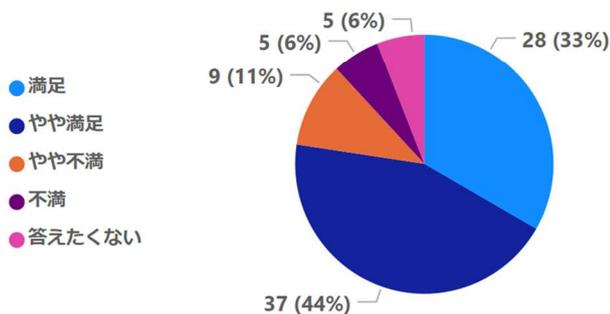


【利用満足度】

・家事代行サービス



【利用経験】



【利用満足度】

利用経験の有無					
	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	答えたくない	合計
いばらきkidsClub カード	6,851	412	139	25	7,427
(%)	92.2%	5.5%	1.9%	0.3%	100.0%
ファミリーサポートセンター	626	3,686	3,058	57	7,427
(%)	8.4%	49.6%	41.2%	0.8%	100.0%
児童館	3,167	2,823	1,378	59	7,427
(%)	42.6%	38.0%	18.6%	0.8%	100.0%
放課後児童クラブ (学童保育)	2,813	4,218	327	69	7,427
(%)	37.9%	56.8%	4.4%	0.9%	100.0%
放課後子供教室	732	2,981	3,645	69	7,427
(%)	9.9%	40.1%	49.1%	0.9%	100.0%
子育て支援拠点	1,227	1,635	4,477	88	7,427
(%)	16.5%	22.0%	60.3%	1.2%	100.0%
産後ケア事業	599	3,121	3,629	78	7,427
(%)	8.1%	42.0%	48.9%	1.1%	100.0%
一時保育	1,512	4,643	1,209	63	7,427
(%)	20.4%	62.5%	16.3%	0.8%	100.0%
病児保育、病後児保育	414	5,160	1,788	65	7,427
(%)	5.6%	69.5%	24.1%	0.9%	100.0%
家事代行サービス	84	4,724	2,562	57	7,427
(%)	1.1%	63.6%	34.5%	0.8%	100.0%

利用満足度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	答えたくない	合計
いばらきkidsClub カード	1,432	3,805	1,202	288	124	6,851
(%)	20.9%	55.5%	17.5%	4.2%	1.8%	100.0%
ファミリーサポートセンター	193	305	74	44	10	626
(%)	30.8%	48.7%	11.8%	7.0%	1.6%	100.0%
児童館	1,014	1,704	302	91	56	3,167
(%)	32.0%	53.8%	9.5%	2.9%	1.8%	100.0%
放課後児童クラブ (学童保育)	1,026	1,165	418	160	44	2,813
(%)	36.5%	41.4%	14.9%	5.7%	1.6%	100.0%
放課後子供教室	302	317	73	26	14	732
(%)	41.3%	43.3%	10.0%	3.6%	1.9%	100.0%
子育て支援拠点	456	629	82	32	28	1,227
(%)	37.2%	51.3%	6.7%	2.6%	2.3%	100.0%
産後ケア事業	233	292	41	19	14	599
(%)	38.9%	48.7%	6.8%	3.2%	2.3%	100.0%
一時保育	580	657	192	56	27	1,512
(%)	38.4%	43.5%	12.7%	3.7%	1.8%	100.0%
病児保育、病後児保育	169	155	55	28	7	414
(%)	40.8%	37.4%	13.3%	6.8%	1.7%	100.0%
家事代行サービス	28	37	9	5	5	84
(%)	33.3%	44.0%	10.7%	6.0%	6.0%	100.0%

Q32. Q31で「知っているが利用したことがない」と答えた方おたずねします。利用できない、利用したことがない理由は何ですか。(3つまで)

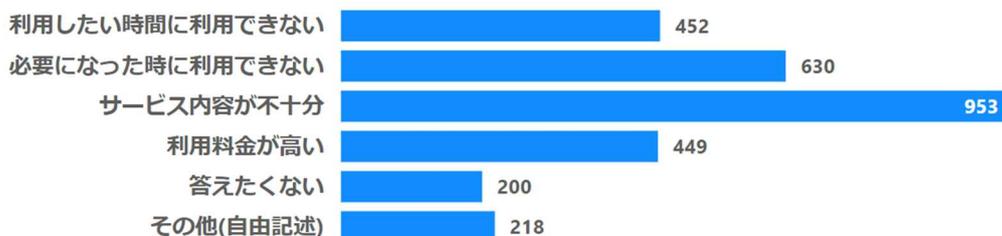
- ・利用する必要がない
- ・利用したいサービスが地域にない
- ・利便性(立地、利用時間、利用期間等)が悪く利用しづらい
- ・利用料金が低い
- ・サービス内容に不安がある
- ・利用方法が分からない
- ・自分に利用する時間がない
- ・申し込んだが利用できなかった
- ・答えたくない
- ・その他()



	回答数
利用する必要がない	4,218
利用したいサービスが地域にない	579
利便性(立地,利用時間,利用期間等)が悪く利用しづらい	791
利用料金が低い	1,073
サービス内容に不安がある	367
利用方法が分からない	890
自分に利用する時間がない	302
申し込んだが利用できなかった	135
答えたくない	344
その他(自由記述)	181
合計	8,880

Q33. Q31で「利用の満足度」で「やや不満」「不満」と答えた方におたずねします。
満足できない、満足されない理由は何ですか。(3つまで)

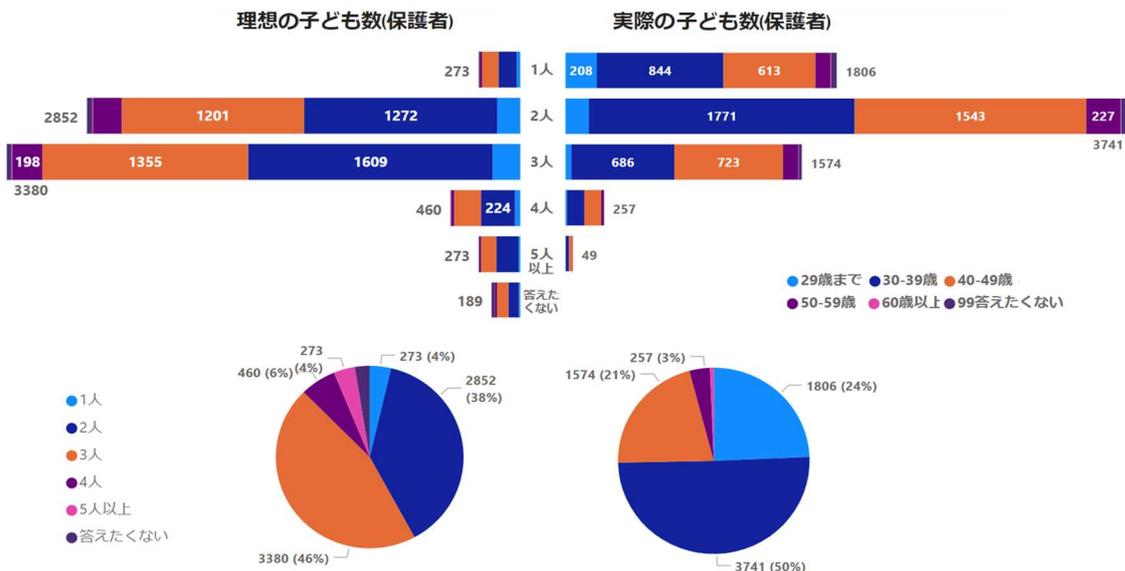
- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・利用したい時間に利用できない | ・必要になった時に利用できない |
| ・サービス内容が不十分 | ・利用料金が高い |
| ・答えたくない | ・その他 () |



	回答数
利用したい時間に利用できない	452
必要になった時に利用できない	630
サービス内容が不十分	953
利用料金が高い	449
答えたくない	200
その他(自由記述)	218
合計	2,902

Q34. (経済的、環境的な理由がない場合) あなたの理想の子どもの数は何人ですか (どれか1つ)

- ・ 1人 ・ 2人 ・ 3人 ・ 4人 ・ 5人以上 ・ 答えたくない



実際の子どもの数

	29歳まで	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	答えたくない	総計	割合
1人(実)	208	844	613	98	6	37	1806	24.3%
2人(実)	155	1771	1543	227	6	39	3741	50.4%
3人(実)	39	686	723	103	2	21	1574	21.2%
4人(実)	10	115	113	18		1	257	3.5%
5人以上(実)	1	22	24	2			49	0.7%
総計	413	3438	3016	448	14	98	7427	100.0%

理想の子どもの数

	29歳まで	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	答えたくない	総計	割合
1人(理想)	24	119	108	16		6	273	3.7%
2人(理想)	151	1272	1201	189	6	33	2852	38.4%
3人(理想)	182	1609	1355	198	5	31	3380	45.5%
4人(理想)	35	224	176	19	3	3	460	6.2%
5人以上(理想)	11	146	101	11		4	273	3.7%
答えたくない	10	68	75	15		21	189	2.5%
総計	413	3438	3016	448	14	98	7427	100.0%

Q35. 子育てで負担と感ずることは何ですか（金銭面、育児面でそれぞれ3つまで）

※「負担はある」「負担はない」「答えたくない」より選択。「負担はある」と答えた人は、下記の選択肢を選択。

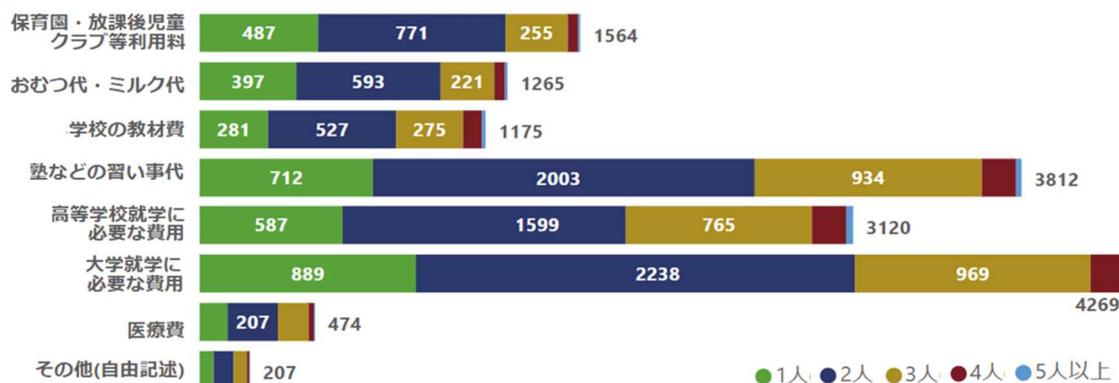
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭面 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・放課後児童クラブ等利用料 ・おむつ代・ミルク代 ・塾などの習い事代 ・大学就学に必要な費用 ・その他（ ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教材費 ・高等学校就学に必要な費用 ・医療費
<ul style="list-style-type: none"> ・育児面 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの世話 ・家事負担 ・家族（親など）の世話や介護と子育ての両立 ・仕事と子育ての両立 ・子育ての悩み等精神的負担 ・その他（ ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の時間がない

[金銭面]

◎負担と感ずることはあるか。

	1人(実)	2人(実)	3人(実)	4人(実)	5人以上(実)	総計	割合
負担はある	1395	3128	1378	232	42	6175	83.1%
負担はない	343	520	157	17	7	1044	14.1%
答えたくない	68	93	39	8	0	208	2.8%
総計	1806	3741	1574	257	49	7427	100.0%

◎「ある」と答えた人のうち、負担と感ずることは何か。



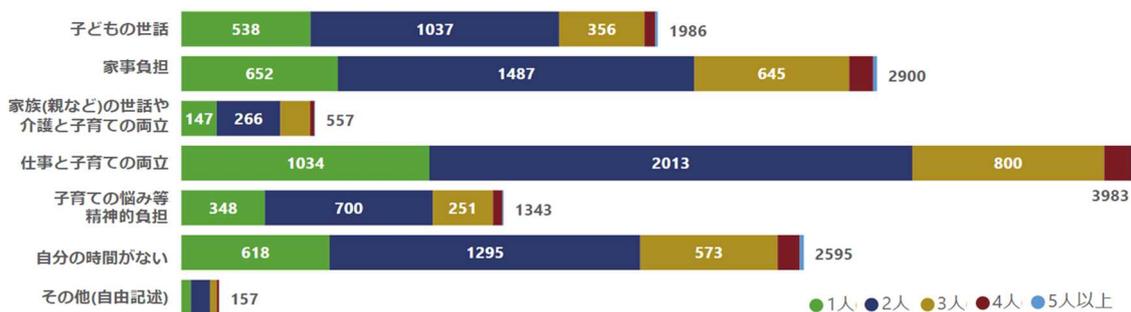
	1人(実)	2人(実)	3人(実)	4人(実)	5人以上(実)	総計
保育園・放課後児童クラブ等利用料	487	771	255	43	8	1564
おむつ代・ミルク代	397	593	221	44	10	1265
学校の教材費	281	527	275	77	15	1175
塾などの習い事代	712	2003	934	141	22	3812
高等学校就学に必要な費用	587	1599	765	140	29	3120
大学就学に必要な費用	889	2238	969	149	24	4269
医療費	115	207	126	22	4	474
その他(自由記述)	58	82	54	10	3	207
総計	3526	8020	3599	626	115	15886

[育児面]

◎負担と感ずることあるか。

	1人(実)	2人(実)	3人(実)	4人(実)	5人以上(実)	総計	割合
負担はある	1400	2861	1180	176	35	5652	76.1%
負担はない	343	789	344	69	13	1558	21.0%
答えたくない	63	91	50	12	1	217	2.9%
総計	1806	3741	1574	257	49	7427	100.0%

◎「ある」と答えた人のうち、負担と感ずることは何か。

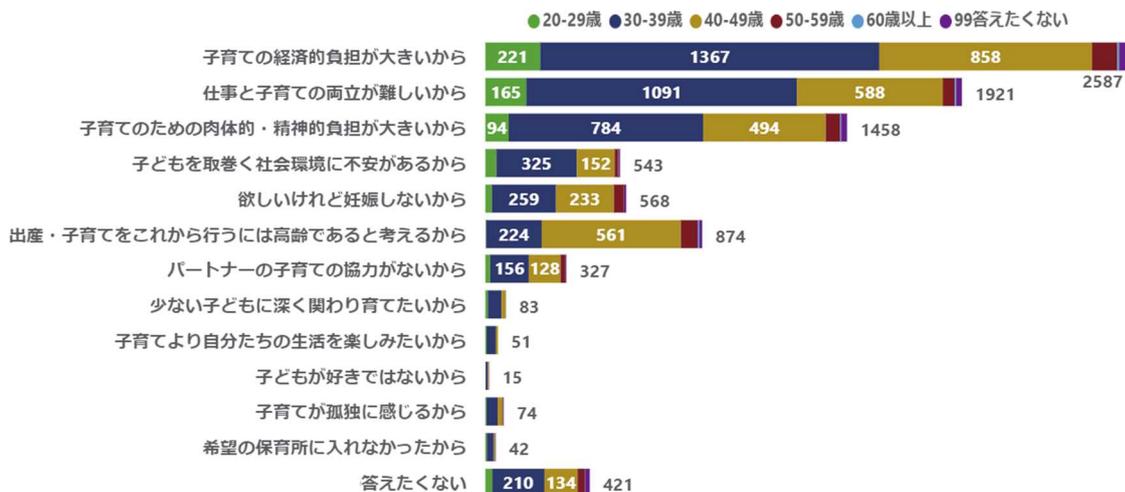


	1人(実)	2人(実)	3人(実)	4人(実)	5人以上(実)	総計
子どもの世話	538	1037	356	45	10	1986
家事負担	652	1487	645	100	16	2900
家族(親など)の世話や介護と子育ての両立	147	266	124	18	2	557
仕事と子育ての両立	1034	2013	800	114	22	3983
子育ての悩み等精神的負担	348	700	251	39	5	1343
自分の時間がない	618	1295	573	92	17	2595
その他(自由記述)	40	80	28	9	0	157
総計	3377	6878	2777	417	72	13521

Q36. 県では、理想の子どもの数と実際の子どもの数の差を減少することを目指しています。理想の子どもの数が実際の子どもの数（もしくは予定している子どもの数）より少ない方は、理由は何ですか。（3つまで）

- ・子育ての経済的負担が大きいから
 - ・仕事と子育ての両立が難しいから
 - ・子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから
 - ・子どもを取巻く社会環境に不安があるから
 - ・欲しいけれど妊娠しないから
 - ・出産・子育てをこれから行うには高齢であると考えから
 - ・パートナーの子育ての協力が無いから
 - ・少ない子どもに深く関わり育てたいから
 - ・子育てより自分たちの生活を楽しまたいから
 - ・子どもが好きではないから
 - ・子育てが孤独に感じるから
 - ・希望の保育所に入れなかったから
 - ・答えたくない
- ・その他（自由記述）

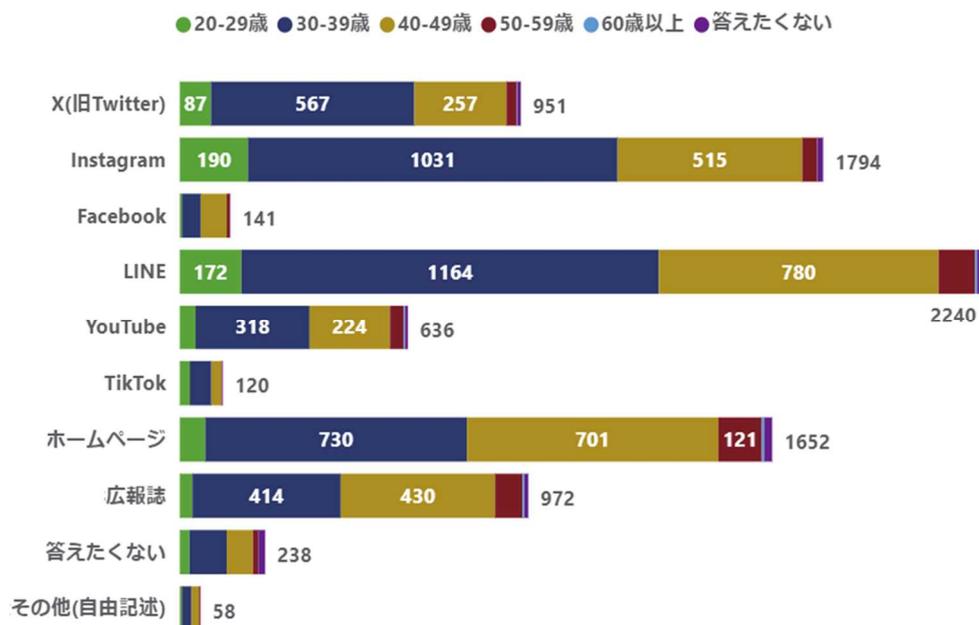
※「その他（自由記述）」はなし（0人）。



	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	99答えたくない	総計
子育ての経済的負担が大きいから	221	1367	858	102	7	32	2587
仕事と子育ての両立が難しいから	165	1091	588	48	6	23	1921
子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから	94	784	494	58	4	24	1458
子どもを取巻く社会環境に不安があるから	44	325	152	15	1	6	543
欲しいけれど妊娠しないから	26	259	233	41		9	568
出産・子育てをこれから行うには高齢であると考えから	3	224	561	68	6	12	874
パートナーの子育ての協力が無いから	19	156	128	20	1	3	327
少ない子どもに深く関わり育てたいから	10	55	17	1			83
子育てより自分たちの生活を楽しまたいから	5	37	9				51
子どもが好きではないから	1	9	3	2			15
子育てが孤独に感じるから	4	46	19	3		2	74
希望の保育所に入れなかったから	6	28	6			2	42
答えたくない	28	210	134	29	1	19	421
総計	626	4591	3202	387	26	132	8964

Q 3 7. 県施策等の広報に利用して欲しい媒体は何ですか。(3つまで)

- ・ X (旧 Twitter)
- ・ Instagram
- ・ Facebook
- ・ Line
- ・ YouTube
- ・ TikTok
- ・ ホームページ
- ・ 広報誌
- ・ 答えたくない
- ・ その他 (自由記述)



	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	答えたくない	総計
X(旧Twitter)	87	567	257	28	2	10	951
Instagram	190	1031	515	42	1	15	1794
Facebook	6	53	72	9		1	141
LINE	172	1164	780	102	6	16	2240
YouTube	44	318	224	38	4	8	636
TikTok	28	60	28	2		2	120
ホームページ	71	730	701	121	7	22	1652
広報誌	35	414	430	77	5	11	972
答えたくない	27	104	73	15		19	238
その他(自由記述)	6	27	21	3		1	58
総計	666	4468	3101	437	25	105	8802

Q38. 今後県が力を入れた方がいいと考える少子化対策・子育て支援はどれですか。
(3つまで)

- ・結婚支援のための出会いの場の創設
- ・進学のための奨学金給付
- ・保育所や放課後児童クラブ等の充実
- ・病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実
- ・屋内外の子どもが遊べる場所の整備
- ・残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進
- ・妊娠・出産による離職者の再就職等の促進
- ・若者の就労支援（就職活動方法の支援も含む）
- ・医療費の助成や小児医師の確保、不妊治療の支援
- ・妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化
- ・家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実
- ・児童虐待対策の推進
- ・男性の子育て参加の推進
- ・いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への支援
- ・未就園児の支援
- ・答えたくない
- ・その他（自由記述）



資料編 保護者向けアンケート結果 [調査票4]

	男性	女性	どちらとも いえない	答えたく ない	総計
結婚支援のための出会いの場の創設	78	216	1	5	300
進学のための奨学金給付	345	3315	3	45	3708
保育所や放課後児童クラブ等の充実	210	1761	5	24	2000
病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実	119	1426	2	23	1570
屋内外の子どもが遊べる場所の整備	247	2569		37	2853
残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進	175	1389	1	22	1587
妊娠・出産による離職者の再就職等の支援促進	50	656	1	11	718
若者の就労支援(就職活動方法の支援も含む)	69	351		2	422
医療費の助成や小児科医師の確保、不妊治療の支援	167	1543		38	1748
妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化	69	570		5	644
家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実	101	893	1	13	1008
児童虐待対策の推進	22	218	1	4	245
男性の子育て参加の推進	73	640		7	720
いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への支援	75	771		15	861
未就園児への支援	54	506	1	10	571
答えたくない	12	122		9	143
その他(自由記述)	78	410		10	498
総計	1944	17356	16	280	19596

【調査票4】保護者／別紙（自由記述）

Q4. お子さまから見て、生計をともにしている方はどなたですか。※単身赴任などで一時的に別居している方も含みます。（あてはまるものすべて）

・父	・母	・兄弟姉妹
・祖父	・祖母	・おじ・おばなど親戚
・答えたくない	・その他の他人（自由記述）	

男性／50-59 歳
学寮にて同級生と
女性／20 歳まで
住宅は別で、敷地内同居している祖父母
曾祖父 曾祖母
女性／30-39 歳
生計は別ですが、二世帯住宅のため同じ家に祖母と曾祖母がいます
曾祖父 曾祖母
母の妹
女性／40-49 歳
義父義母
生計を別にしてる祖母
曾祖母
父はDV等により別居中。
姪
養育里親
女性／50-59 歳
叔母
曾祖父 曾祖母
里子
里親

Q14. あなた（もしくは配偶者）は、妊娠や出産、育児を理由に仕事を辞めたり、働き方を変えたことがありますか。その理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

<ul style="list-style-type: none"> ・体調等により就業が困難だったため ・育児休業等の活用が出来なかったため ・保育所に入所できなかったため ・放課後児童クラブ（学童保育）に入れなかったため ・精神的に育児と仕事の両立が難しかったため ・体力的に育児と仕事の両立が難しかったため ・働き方を変えていない ・答えたくない ・その他（自由記述 ）
--

男性/20-29 歳
子供の体調不良などにより休みとらなくてはならず、それにより就職面接など断られたりした為
時間的に育児と仕事の両立が難しかったため
単身赴任になる為、辞めた
男性/30-39 歳
フルタイム厳しいため/泊まり勤務では育児ができないため/時間的に育児と仕事の両立が難しかったため/転勤のタイミングと重なったため
育休取得、終了後は時短勤務/働く時間を柔軟にした
学校への出発時間に合わせるため/子供の送迎のため
妻の出産休暇（特別休暇）5日間を取得。業務効率の最適化を常に意識、昼休憩時間を規定の半分以下で切り上げて残業時間を削減/子どもの面倒を見るため残業を減らすようにした/保育所送迎の日の仕事量減らしたため
子どもと一緒にいたかったから/子育てに専念するため/専業主婦になりたかったから
子どもの急な発熱等による休みに対する、職場での嫌がらせ
資格取得に必要な学校へ通うため/収入を上げるため
辞めさせられた/戻る場所がなかったから
前職は労働時間が月に450時間を超えていたため、配偶者のワンオペとなる可能性が高かったので転職した。
双子であるためか、通常の出産休暇を取得できる範囲の前に体調不良が顕著になり退職した
保育園の送迎をするため/保育所の稼働時間が勤務時間に適していないため
男性/40-49 歳
保育所や学童が19時に閉まってしまうため/学童の先生が理不尽で子供を任せられないから
フルタイムから短時間勤務に/フルタイムだと保育園迎えが遅くなるから/子育て等の時間の確保のため
育児に全力を注ぐため/子育てに専念するため
引越しのため/出産後に自宅と勤務地が遠方になったため/片道1時間を超える遠距離通勤だったため
家庭に関われるほど時間に余裕がなかった/勤めていた会社がブラック企業であった
兄妹児が集団登下校に馴染めず親が送迎しなければならない為
子どもの幼少期は体が弱く何度も体調を崩したり入院があったりした上、近くに頼れる人がおらず、仕事との時間的両立が難しかったため

資料編 保護者向けアンケート主な自由記述【調査票4】

子供の為に、土日祝日休みの仕事に変えた／正規雇用では子育てに支障が出ると考えたため（急な休みなど）
父親です。育児に対する適応障害で仕事が出来なくなりました。
午後3時に帰宅するため、パートを選択した／父親の扶養の範囲内、家事、塾への送迎のため。
男性／50-59歳
職場が遠い
地元にならざるルールがあるため
離婚した
女性／20-29歳
パートタイムで働いていたが、上司に妊娠を報告したタイミングで退職を勧められた／妊娠を理由に派遣を切られた
育児に専念したかった為／子供ができれば、専業主婦希望で家庭の仕事に専念したかったから
家族の時間を増やしたくて、仕事を変えた
給料面
結婚、出産を機に引っ越し、職場が遠くなったため。
子供がいると急に休むことがあるので、福利厚生が手厚いところに変えた
時間が合わず正社員から準社員、パートと落とした
時短制度を利用しなければ保育園の送迎が難しいので、時短勤務に切り替えた
職場が妊婦に優しくなかった、周りの理解がなかった
前職がシフト制の仕事で、原則土日祝日勤務で子育てとの両立が難しかった為／長時間の労働、夜勤がありフルタイムは無理だから
保育園に合わせた時間勤務で働くため／長時間はまだ小さい子どもがかわいそう
離婚して自分1人で対応しなければならないため
女性／30-39歳
「急な休みに対応出来るように人員を補充できないので」との理由で短時間勤務を促され、そうせざるを得なかった
お迎えの時間が遅くなると夕飯や寝る時間も遅くなり、こどもにも影響が出ると思うことと、お迎えが遅いのはこどもが可哀想だと思うため、時短勤務にした
フルタイムだと、保育園の迎えの時間に間に合わない為パートに変えた。
会社が都内のため、テレワークで働けるようにシフトチェンジ／育児のため時短へ変更した(同じ職場、仕事内容)
3歳までは育児に専念したかったため／3歳まで自分で子どもを見たかったため
いまの学童保育ではあまり入れたくないと思ったから
お給料が安いと思ったから／お金のため
お昼から深夜帯の勤務時間だったため、仕事を変えた／以前の仕事は残業も多く、子の看病でも休みがとれず転職した／残業が多く、家族に負担がかかっていたため
コロナが流行りだしたから／引っ越し／職場が遠かったため／ちょうど契約が切れる時期だったため
その時働いていたところはパートタイムの働き始めだったため産休育休が取れなかったため
パートナーの仕事が多忙で家事子育てに協力できなく、近くに頼れる親族もいないため
マタハラがあり妊娠中に過酷な労働を強いる言動が上司からあったので辞めた／育休取得後退職させられた
ワンオペで通勤時間が長い職場だと効率が悪かったため
育休をとるという選択を当時は考えていなかったから

育休後、職場の経営状況により復帰ができなかったため／会社が倒産
育休前は土日出勤の業務を行っていた。復帰後は保育園への預け入れができないこともあり平日出勤の部署に異動して勤務している。
家族の介護が必要になったため。
会社の就業規則により、妊娠15週で退職しなければならなかった／産休育休制度がなかった
子どもができたことをきっかけに、子育て広場スタッフを始めました。
子どもの心身の健やかな成長のため（都内の保育サービスは充実しすぎ、退職の必要はないが、子どもは生まれてから人生のほとんどを保育園で過ごしていた）／児童クラブに入れたことで子どもへの負担がかかってしまったため
子供に障害があるため／子供の体が弱くて仕事どころではなかった／子の不登校
子供の生活リズムの為に、残業をしなくなった
子供の体調、学童などを考えて、いざという時に自分（母）しか動けない為／父側の会社はあまり寛大ではない。
習い事送迎ができなくなるため働き方をかえた
職場に迷惑がかかる為／職場の理解がなかったため
朝、小1の子だけを残して出勤する訳に行かず、時短を取っています。下の子が小学校入学するタイミングで時短も取れなくなるので困っています。市役所勤務です
妊活が出来ないくらいの激務だったため転職した／不妊治療のため
配偶者が非協力的な為
夫の両親に仕事を辞めるよう妊娠前から出産後3年に渡って圧力をかけられたため
夫婦共に県外出身で保育園には預けたくないから。
里帰り出産ができなかったため、夫が育児休暇を利用しました
女性／40-49歳
児童クラブに入っていないため、子供帰宅後の留守番の心配
0歳から3歳までは子供と一緒に過ごしたかった為／しばらくの間育児に専念しようと思ったため
13年前のことなので、今とはまた違うとは思いますが、女の人は、出産で辞めるのが暗黙の流れのような感じでした。
1人目の子供が障害児であり、医療ケアが必要で、仕事をしたくても出来ない状況が続いている。融通のきく仕事があればやりたいと思っている。現状は難しい／医療ケア児だったため保育所入所できず
3歳になり、時短勤務から通常勤務に戻るとき、保育園のお迎えが間に合わなくなるため、転職を余儀なくなってしまった／フルタイムだと学童や保育園迎えが間に合わないため／勤務形態と放課後児童クラブの利用時間、利用日（土日祝）が合わなかったため
コロナで感染が怖かったのと、つわりで、在宅が可能な楽な仕事に変えてもらった
コロナ禍で、職場から子供がかぜをひくたびに病院受診とPCR検査を半強制させられたから。
シフト制で、遅番、早番と不規則な労働だったため
シングルマザーなので働かないと収入がないため
パートナーの協力・理解が得られなかった／配偶者の協力が得られずワンオペ育児だったため
パートナーの転勤／引越しが多く子育てをしながらの仕事は出来なかった
フルタイムから短時間勤務への変更でしたが、「純粋に時間的に育児と仕事との両立が難しかったため」です。
育休後、解雇された／育休明けに戻る部署がなくなった

資料編 保護者向けアンケート主な自由記述【調査票4】

育休復帰後、時短勤務を取得した／小学生に入るまでは時短勤務
会社から嫌みを言われたから
学童で預かってくれる学年に制限があったから
義父の介護の為
共に職業が特殊な専門職だった為、(夜勤、待機、呼び出しがあり)自分がパートにならざる得なかった。
勤務先が遠かったため／近場に再就職した
金銭的理由で非正規雇用から正規雇用へ変えた
経営者には子供がおらず、会社が子育て家庭に理解がないため。小さな子供がいる職員を雇いたくないという会社方針だったため。
雇止めをされたため。いわゆるマタニティハラスメントです。
産後は3週間だけお休みをもらって、すぐに復帰した
残業が多く、両立が困難だった
仕事が、終わるのが7時過ぎてしまうため、そこから子供のお迎えや、ご飯をつくるのは、難しいため／子どもの睡眠時間や食事の準備など、健康的な生活が確保できないと思ったため
仕事と育児、家庭のことがなんとかできて、余裕がまったくなかった。子どもともっと関わってあげたいと思った
仕事は変えず、会社の制度を利用し、短時間勤務や短日数勤務で働いた。
子どもの習い事の送迎などができなくなったため、短時間勤務に変更した
子供が3人いると子供が体調崩したりすると3人に移る場合があり職場を早退したり休まないといけないので迷惑がかかるため仕事ほできなかった。
子供が不登校になり、昼職から夜勤の仕事に変えた
子供に疾患があった／子供に障害があったから／子どもに障害があり、介護をするため
朝、子供の送り出し時間が保育園より小学校が遅いため。
時短勤務で復職したものの、時短では終わらない量の仕事を任せられ、毎日残業が続き嫌気がさしたため。
主人の希望
小学校入学後、学校行事などが全て平日開催で、仕事を休んで子供のサポートをする頻度があまりにも高いため。 (児童クラブ以外の共働き夫婦へのサポートがほぼない。)
専業主婦になりたかった為／望んで退職した
早番遅番シフトがあるが、遅番ができなくなった為、早番のみにしてもらった。
預け先がなく、日曜日出勤できなくなったのでほぼ日曜お休みをいただくようになった。
体調不良時、土日夜間の預け先がなかったため。配偶者の協力が得られなかったため。
転勤族で近くに育児サポートしてくれる親族がいないため、夫婦のみで子育てをしながら働く自信がなかった。
年少で入園するまで家庭で保育したかったので仕事を辞めたけど、金銭的に難しくなり内職を始め、それでも厳しいのでパートで働き始めた
配偶者の海外赴任に帯同した／配偶者の転勤による引越しのため／配偶者が会社を設立したため
不妊治療に専念するために仕事を辞めた。
夫の仕事は子供達の予定や体調不良に合わせることができないため。
夕方までの時短にしました。子どもとゆっくり向き合う時間が取れず、毎日時間に追われる日々だったので、メンタル維持が難しくなりました。

女性／50-59 歳
キャリアアップのため
育児に専念したかったから／我が子は、自分できちんと育て、一緒にいる時間を毎日もちたかったから
結婚後、義父母から子作りに専念してほしいと言われた為／配偶者だった人が仕事をやめるように言ったため
子どもの習い事の送迎のため
実家の親が病気になり、通院の付き添いなど、介助の必要になったため
出産退職し専業主婦となったため
職場が遠く、通勤時間がかかるため
配偶者の協力がないため
乏しい産休育休制度を利用してまでその会社に留まりたいとは思わなかった。それよりは育児に専念したかった。
女性／60 歳以上
長期休業の学童の預かり開始時間が8時からと遅く、就業時間にあわない。毎日遅刻はできない
どちらともいえない／30-39 歳
婚姻による転居で退職し、有給消化中に妊娠し、再就職できず、保育園にも入所できず、二人目も出来働けずにいます。
答えたくない／30-39 歳
配偶者が仕事から帰宅するのが遅いため／親戚が近くに住んでいないため
答えたくない／40-49 歳
子供との時間を大切にしたいから
職場の理解のなさ。長時間労働を強いられ家庭に悪影響が出た。その当時利用していた学童施設に不信感を覚え安心して子どもを預けることが出来なくなった。
転勤の為
不妊治療と仕事との両立が難しかったため。
答えたくない／答えたくない
子育てにお互い協力する為

Q15. あなた（もしくは配偶者、パートナー）は妊娠した時、どう感じましたか。
また困ったと感じた方は、活用できる制度を知っていましたか。（どれか1つ）

・嬉しい、産みたい	
・困った、産みたくない	・（出産一時金など）制度を知らなかった
	・（出産一時金など）制度を知っていたが困難に感じた
	・答えたくない
・その他（自由記述 ）	

男性／20-29 歳
産みたい、嬉しいが、仕事の面を含めて不安
男性／30-39 歳
お金大変
一人目は嬉しかったが二人目三人目は困ったし心配になった。
基本的にはうれしいと感じたが、同時に多大な責任感や不安感を覚え、複雑だった。
淡々と受け入れた
突然の妊娠でビックリ
男性／40-49 歳
嬉しいが、不安な気持ち／嬉しく思ったが収入面等で不安になった
上記のうれしい、困ったどちらもある
特に何も思わない
望んだ妊娠だったので嬉しいのが半分、先行きに対する不安が半分。
本人、パートナーともに DINKS でのキャリアパスを想定していたため。
予定外
男性／50-59 歳
親になる時期がきたのかな
女性／20-29 歳
嬉しいが、保育園料の負担が大きくて不安
嬉しいけど、育てられるか不安／嬉しいけどお金、精神面が心配
嬉しいと思った反面、自分は今の仕事を続けたいが残業などがあり、子育てと仕事を両立していけるか不安な気持ちも生じた。
困ったし金銭的な不安が強かった。でも産みたくないとは思わなかった
産みたいが、配偶者に当たる人がどう感じているかわからず悩んでいた
毎回妊娠がわかった時は驚きと嬉しさがあったが、(夫も同じ)実家の家族や他人からは妊娠出産に対してマイナスなことを言われ、産んではいけないのかという思いがあった。
予期せぬ妊娠だったから困ったり嬉しさもあった
女性／30-39 歳
1人は産もうと決めていたが、嬉しいというよりこれから始まる育児への不安感が1番大きかったし、やっとな親に色々言われなくなるなども感じた
2人目までは嬉しい、産みたいだが、3人目、4人目は戸惑い、悩んだりした

4人目で、経済的に困難だったが、産む一択だったが、実母からは、父が障害があり働けないためおろすように、産むまで言われ続けて辛かった
うれしいが、身近に頼れる人がいないので、仕事と両立できるか心配
この先どうしよう
ワークライフバランスを考えると退職も検討することを考えた
育てられるか(金銭的にも)不安だった
何不自由なく育てあげなくてはいけないという責任感でいっぱい。産みたくないとは全く思わないが、うれしいよりも不安の方が大きい。
嬉しい、産みたい！けど今後の不安が勝つ状態
嬉しいが、仕事のスキル、ポジションが下がる可能性があることに対する不安が強かった。
嬉しいけれど経済的、肉体的、精神的な負担が大きい。もっと支援があれば助かるのにな。
嬉しかったけど出産は怖かった
嬉しくは無いが妊娠したなら産む
戸惑ったが産みたいと思った
婚姻前だったため、戸惑いが大きかった。
出産後は夫に勤務時間を減らしてもらい、子育てを分担する予定でしたが、コロナ時期と出産が重なりました。自営業なので生活する為に仕事を優先。辛かったです。
双子だったのでどうしていいものか、あまり先のことは想像できなかった
望んで妊娠した場合は嬉しかったが、望んでいなかった時は仕事のことも考えて中絶したことがある。
未成年の妊娠でしたが、おろす選択はなかった
女性／40-49歳
1人目は嬉しかったが、2人目のときは、離婚がわかっていたため悩んだ。、
一人目は予定しない妊娠のため戸惑ったが、2人め以降は嬉しいと感じた
管理栄養士1人しかいない職場で、産休育休は取れない可能性が高いから、産みたいけれど困った。
嬉しいがお金等の事で、育てて行けるか不安だった
嬉しいのと、育児への不安
嬉しかったが、仕事のことを考えれば喜ばなかった。
驚いた
緊張と不安、楽しみといろんな感情
子供は嬉しいけど仕事どうしようと思った
職場で産休に入る人が他にいたので、嬉しい反面、焦りや戸惑いがあった。
欲しくて妊娠したので嬉しい気持ちだけです
女性／50-59歳
うれしいが単身のためワンオペで大変だ
一人目は困ったが二人目はなんとかかなと思った
産みたいが、出産育児で今後仕事をセーブしなくてはならないことが不本意だった。
自分で育てられるか不安もあった
授かったけれど、経済的に不安

女性／60歳以上
特に何もない
答えたくない／20-29歳
嬉しい20% 生活していけるか不安80%
答えたくない／30-39歳
双子の時は迷った
答えたくない／40-49歳
ちゃんと産めるだろうか。
良かったと思う反面、無事に産まなければ母子共に命を失うかもしれないという恐怖

Q19. あなたのご家庭では、過去1年間の間に経済的な理由で必要とする食料（嗜好品は含まず）や衣料品が買えなかったり、月々の料金の支払いが出来なかったことなどがありましたか。（あてはまるものすべて）

<ul style="list-style-type: none"> ・食料が買えなかった（嗜好品は含まない） ・電気・ガス・水道料金の未払い ・家賃やローンの滞納 ・給食費以外の学校への支払いの滞納 ・答えたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料・生活用品が買えなかった ・税金や保険料の滞納 ・給食費の滞納 ・医療機関の受診を控えた ・その他（自由記述）
---	--

男性／30-39歳
給料の返済
現在も余裕がなく自分の病院に行けてない
子供のオムツが買えない時があってカードローンで凌いだ
持病の有る大人の病院を控えた
女性／20-29歳
クレジットカード代
保育園に必要なもの／保育園の制服が買えない
母が大学生で学費が払えない状態である。
女性／30-39歳
カードを分割にするしかなく分割払いに変更しながら生活している
ケータイ料金
育休中に手当でのみしか収入がなかった為、少しの間子供の保険などがカツカツな時があり困りました
学校で追加で用意するもの、リコーダーなど
子供の制服、友人の結婚式の御祝儀
自分の保険料。夫は、負担額（夫婦同額）を払うのみ。急な支出に対応した妻が自分の支出を削るため。家庭内で、相対的支出額と家計管理の労力に偏りがある。
車の保険や車検などの費用がまかなえず苦しかった。
保険などのプラン変更の減額
女性／40-49歳

0歳クラスの下の子の保育料が高く、母(本人)の育休と上の子の就学が重なり、保育料支払いが困難な時期があり、市役所担当窓口にご相談したことがあった
カードローンや保険の貸し付け制度を利用して食料品を買った。
ガソリンが、入れられない。石油が買えない。携帯が払えない。
習い事やめた
髪の毛切りに行けない。出かけられない。ガソリンを控える。
女性／答えたくない
学用品など
答えたくない／40-49歳
今度中学校に通う子どもの制服を購入してあげることができなかった。

Q20. あなたのご家庭では、経済的に苦しい状況であったときに、どのように対応してきましたか。(あてはまるものすべて)

※「経済的に苦しい状況があった」「なかった」を回答の上、「あった」と回答した場合、下記より該当項目を選択。

<ul style="list-style-type: none"> ・何もしなかった ・友人に相談 ・会社からの借入 ・金融機関・消費者ローン等を利用 ・仕事(副業)を増やした ・答えたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・親族に相談 ・子どもの通う学校に相談 ・公的機関に相談 ・支出を減らした ・貯蓄を取り崩した ・その他(自由記述)
---	---

男性／30-39歳
弁護士
保険解約
男性／40-49歳
購入を諦めた
親族から借りた
頼るところがないため、何も出来なかった
男性／50-59歳
妻の転職
親からの援助
女性／20-29歳
フリマアプリで何か売る
何もしなかったというより何も出来なかった
日雇いのタイマーなどで
女性／30-39歳
FPに相談した
カードローン／クレジット借入れ

クレジットカードの分割払い等を利用
妻の婚姻前の財産を切り崩した。
子供のお金を借りる
市役所
車をやめ自転車生活
親元への一時引っ越し
地域の子ども食堂がやっていたフードパントリーで食材などをもらいに行った
物を売った
保険を解約した
女性／40-49 歳
カードリボ払い活用／クレジット支払いにする
家計の見直をした、書籍や youtube でお金の勉強をした
家財の売却
仕事を変えた
子ども手当を使った／子供用の貯金を使った
自分の買う物を我慢する／節約する
習い事の検討
出産前に退職したが、産後に仕事を探し、産後4ヶ月で再就職した。
税理士に相談
母(本人)の化粧品を購入しない、髪を切るのは数年に一度、服を買わないなどで、子供の教育や食費を捻出
両親に借金中
女性／50-59 歳
やりくりをした。
リボ払い
親がない時は祖母が援助している
生活保護受給前は色々相談したが相手にしてもらえなかった。
答えたくない／40-49 歳
廃棄物を安く買った。

Q21. あなたは、経済的に苦しいときに、相談できる相手はいますか。

(あてはまるものすべて)

<ul style="list-style-type: none"> ・家族・親族 ・近所の人 ・子どもの通う学校 ・相談・支援機関や福祉の人 ・答えたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人・知人 ・職場の人 ・民生委員・児童委員 ・相談できる相手はいない ・その他(自由記述)
--	---

男性／30-39 歳

FP
男性／40-49 歳
相談の意味がない
女性／30-39 歳
FP に相談／ライフプランナー
市役所
女性／40-49 歳
お金のことはなかなか言えない
ファイナンシャルプランナーさん
銀行
自分の実家
親など相談相手いるが、迷惑をかけたくないので絶対に相談しない。
税理士さん、FP さん
女性／50-59 歳
実母。主人は必要な生活費さえ出すのを渋る。
保険担当者

Q 2 2 . 小学 1 ～ 3 年生までのお子さまがいる方におたずねします。(Q 2 2 のみ)

お子さんは放課後、主に、どこで過ごしていますか。(どれか1つ)

・ 自宅	・ 図書館や公民館
・ 児童館	・ 塾や習い事の教室
・ 学校 (学校以外で行う部活動等を含む)	・ 友達の家
・ 親戚の家	・ 公園や空き地
・ ショッピングセンター	・ コンビニエンスストア
・ カラオケやゲームセンター	・ 放課後児童クラブ
・ 放課後子供教室	・ その他 ()

30-39 歳
1 週間のうち習い事 2 日、子ども教室 2 日
バスケ少年団
開放学級／放課後学級
自宅と学童 2 つを日によって行き来している
祖父母が経営している店／祖父母の家／実家
放課後デイサービス
40-49 歳
月:学童 火・水:塾 木:学童 金:スイミング／友達の家、公園、習い事が同割合くらい
公園で遊んで高校生の子供の迎えを母親としている
祖父母宅

手に職をつけられるところならどこでもいい。なんとなく行かれるのがいちばん困るので、目標を持って行ける専門学校が今のところベスト。
就きたい職業が出来た際にその道についての学びを得るには、研究室に入ること知識技術を深く学ぶことができると考えるから。
将来、就職して自活するために必要だと思うから。
発達障害と軽い知的障害があるため。
あくまでも子供次第だが、学ぶなら若いうちの方が良いと思うから
いずれ本人の希望が出ると思うが、親として世話ができるの最長期間が大学院と考えている
これから子供と考えていく。留学もある。
ハンディキャップがあるため、成長を見ながら考えたい
希望する進路に進ませてあげたい。父母が大卒だが、理系なら院まで進む可能性もあると考えている。
私が楽しく大学に通えたから。死ぬまで働くのだから、せめて遊べるうちはギリギリまで遊びを謳歌したらいいと思っています。ただし子供の意見優先ですが。
自身の受けた教育は最低限保証したい。もし子が望まなければ別
自分が高卒で苦労した／自分自身が大学に進学出来なかったから／自分が経験してないから
将来は子供の希望する教育を受けさせたい
障害による発達遅延があるため、こどもの適性をみてこれから考えていきたいから。
専門学校で社会に出た時のスキルを身につけて欲しい／手に職を付けられるから
通わせたい学校がない
本人の希望を尊重しますが、十分な蓄えがあるかはわからないので、相談したり、奨学金や給付金を検討したりすると思います。
目的があれば大学まで進学を支援するが、目的がなければ高校まで。
いけるならどこまでも行かせたいが、自閉症の為にどこまでいけるかがわからない
学歴社会だから
将来の選択肢を増やしてあげたいため／職業の選択が広がるから
夢が広がるため
40-49 歳
あくまでも子供が希望するなら応援したい／進路決定の際に子供が希望するのなら
子どもが多数いるので全員大学には行かせれないと思う
自分は中卒でハンデがあったから
将来の選択肢が増えると思うから／就業の選択肢を増やすため／就職の際に大卒までは必要だと思うから
先生との面談を経て考慮
その時によって考える
まだ学歴社会だと思うので。
安定した将来のため。まだ大学卒業との年収差がある。
学歴によってできる仕事の幅が広がるので子どもが希望するのであれば大学までは進学させたい。
子どもの自主性に任せるのであって親の意見は必要ないし、教育機関が学校とは限らない。フリースクールでも良いと思う。

資格が取れると思うから／専門的な資格はとらせたい
自分が大学に行けず就職や転職で苦労したから。
自分が大学まで進学したため、同じくらいで準備しておきたい
社会に出る前に、色々な勉強、経験を積んでほしいから。
就職するにしても高卒までないと働き口がなかなかない。勉強が好きではないので、無理に行く必要はないが就職前に高校で学ぶ事は必要性がある。
障害児だから
進学したくないし、就職のための工業高校
大学まで出た方が仕事の幅が広がるから／大学を出ていないと、一般的な生活を送るための賃金を得ることができないから／大学卒業程度の知識を備えることが大人になってからの社会生活に役立つと考えるから
豊かな人生を送るため
様々な地域出身の人々の価値観を知って欲しい。
留学、海外への推薦等を含めて子供の意思を尊重
親が出て楽しかったから
50-59 歳
現時点では決められない。経済的事情や本人の希望が、その時になってみないと分からないから。
ロボットに使われる立場ではなく、使う立場になるよう
現実を見ると理系の技術者であれば大学院修了が必要だが、本人の希望する職種次第で変えれば良いと考える。
大学で4年間遊んだ方が給料が高いから！
大学進学により不必要な学問にあてる時間ももったいない。
余裕を持って暮らしていくにはそのくらいの勉強が必要だと思うから。
まだまだ日本は学力重視だから。
子供と保護者の意見の一致
答えたくない
親が決める事ではなく本人が決める事だから
本人の興味に合わせてより深い学びができるから。
これからの時代、高い学問を学んでおかないと、働けないと思うから。

Q28. あなたは、お子さんとどのような会話をすることが多いですか。(3つまで)

・特に会話をしない	・家族のこと
・友だちのこと	・先生のこと
・クラブ活動のこと	・勉強や成績のこと
・習いごとや趣味のこと	・ゲームや遊びのこと
・進路や将来のこと	・恋愛や交際のこと
・社会のできごとやニュースのこと	・親や家族の生活や仕事のこと
・音楽や芸能(映画、演劇など)のこと	・おしゃれ・ファッションのこと
・テレビ番組のこと	
・スマートフォンや携帯電話などによるインターネットの使い方のこと	
・答えたくない	

・その他（自由記述）

男性／20-29 歳
まだおしゃべりできないので話しかけている
男性／30-39 歳
1 日の出来事
YouTuber のこと
ポケモンのこと
まだ小さいので子供の好きなように話をしている
保育園の事や、YouTube でやっている内容。後、出かける予定がある時は出先の話し
男性／40-49 歳
ほぼすべて
まだ2歳なので、最近好きになったアンパンマンや絵本、ままごとの話が多いです。
まだ小さいので会話というより、褒めたり説明したりという形です
科学的なこと、社会的なことなどのいわゆる「なぜなに」。
年齢が小さすぎて意味のある会話にはなっていない
女性／20-29 歳
0歳なので一方的に今日のできごとやご飯のことなど話しかけています
2歳児のため簡単な話しかコミュニケーションできません
きょうのできごと
年齢的に内容のある会話では無い。
発達遅延があるので簡単なやり取りのみ
女性／30-39 歳
1歳なので、親が一方的に話しかけている。
3歳なのでその日あったことや好きなキャラクターの話
おもちゃのこと
その時で内容が色々、変わるからこれっていうのはない！
その日にあった出来事／こども園でのこと／学校での出来事
興味のある電車や海の生き物の話
言葉遊び
好きなことやしたいこと
今の所どんな話題も楽しく話せています。友だち、恋愛、アイドルなど身近なことから、テレビで見るニュース、世界の事など何でも。
食べ物のこと
読んだ本の内容について
女性／40-49 歳
1日の出来事／学校での出来事
YouTube の内容について
スポーツサッカーのこと

まだ会話を出来る年齢ではない
宇宙の話や物事の成り立ちについて
興味のあること(料理や手芸、旅行など)
食べ物のこと
生活していて、教えるべきだと思うこと。
選択肢の会話内容が全て当てはまる。
体調のこと
本の内容
女性/50-59 歳
こちらに書かれている話の内容は全部話しています。
会話というよりだいたい連絡事項のようなこと。 成績のこと以外は、弁当の有無、休日の部活の有無、など。
子供が自分の興味のある動画や音楽を見せたり聴かせたりしてくれるときに話す
世界や日本でのニュースなど
必要なものがあるか・週末の予定・勉強でわからないところに意見を言う
料理、食べ物
どちらともいえない 30-39 歳
物事の考え方や思い遣りを持つ大切さについて。
答えたくない 20-29 歳
クラブ活動のこと、勉強や成績のこと、進路や将来のこと。社会のできごとやニュースのこと以外

Q29. お子さんがインターネットを使うときのルールとして、家族でどんなことを決めて
いますか。(あてはまるものすべて)

<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタリングサービス(有害なサイトへのアクセスを制限する仕組み)を利用すること ・使う時間の長さについて(1日2時間以内など) ・使ってはいけない時間帯のこと ・子ども部屋には持ち込まないこと ・利用料金のこと ・個人情報をつたえないこと ・インターネット上で知り合った人とは会わないこと ・困ったことが起きたら、大人に相談すること ・ルールはない ・答えたくない ・その他(自由記述)
--

男性/30-39 歳
まだ許可なく使用はさせていない/一緒に使う
約束した用途以外には使わないこと
男性/40-49 歳
ボイスチャットの禁止

まだ YouTube をみるくらい
メリットとリスク
子供だけでは使わせない。使う時は親と一緒に使う。
動画や写真をアップロードしないこと
男性／50-59 歳
ウイルス対策について、課金しないこと、
動画とゲームのみ。幼いので付き添って使用している。
女性／20-29 歳
インターネットは使わない
オンラインは子供だけではさせないようにしています。
使用時間等は親のスマートフォンと連携させて管理しています。子どもには理由を説明して納得の上でそうしています。
人とのやり取りはしない
動画を観る以外に利用させていない
女性／30-39 歳
【公式】を観ること。悪い言葉遣いは真似しない。
SNS はやらない
YouTube だけ／YouTube は短時間
インターネットは子供 1 人で使用しません。
オンラインはしないこと
お金がかかるものを勝手に使わない／ゲームの課金はしないこと
ご飯の時間などやるべき時には、自分であとどれ位か選択してもらった上で消すよう促している
スマホのキッズモードのみ利用可能
そもそも勝手に使えないようにしている。使う場合も、使えるアプリを限定している。
ドリルをしてから動画を見る
フィルタリングを利用したら、調べものが一切できなくなり、不便でしかなかったので、やめた
画面に近すぎない／近くで見過ぎない
基本的には使わせていません。たまに YouTube を見せることがあります。
親と一緒に使う／検索は親。ゲームはオンラインで他者と繋がらないもののみ利用可能。
宿題も終わってて学校の準備も終わってるなら、土日の弟がお昼寝の時間だけ YouTube を OK としている。
知らない人(友達や親戚以外)とはチャット等禁止／知らない人との接触は不可
年中なので歯磨きタイムだけ動画を見れるルールにしています
平日はやることが全て終了し、寝るだけになったら
明るい場所で遊ぶ
女性／40-49 歳
1 人でインターネットはやらせていない。調べたいことがあるときは、声をかけてもらい一緒に。
SNS は使わない

youtubeのみ。
オンラインゲームなどは、誰とやるか必ず言うこと
もう少し大きくなったら、その都度対応していきたい
リビング、ダイニングのみで使用する
家庭用PCは親の目の届く範囲で検索時のみ使用させ、スマートフォンは持たせていない
課金しない／課金の許可
学校の宿題以外、そもそも家でインターネットしている時間がない。
基本使わない。使う時は大人がいる場所で時間を決めて
ロコミやコメントやいいね等は書かない。
宿題や翌日の準備をした後で利用する
親がスマートフォンをチェックする／親と一緒に見る以外にはまだ使わせていません
知らない人と話さない。
調べ学習以外で使用しない
目を休めること。
利用するアプリは親に確認してからインストールすること
女性／50-59歳
課金をしない
高校生になってからは使用時間、場所等のルールを守らせるのは難しくなった
寝る時には寝室に持ち込まないこと
知らない人とは関わらない、繋がらない。携帯やゲームの内容など、親がいつでもチェック出来るようにする。
女性／答えたくない
親のいる場所で使うこと
答えたくない／30-39歳
オンラインゲームのみの利用なので、そこまでしかまだ教えていません。
答えたくない／40-49歳
Wi-Fiがないので、基本ネットは使用できない。 親のスマホを利用する際は、許可を得てから。
答えたくない／答えたくない
インターネットはまだ使わせていない
検索するワードやアクセスしているサイトが親にその都度確認し、許可されたサイトだけを開く約束。

Q32. Q31で「知っているが利用したことがない」と答えた方おたずねします。利用できない、利用したことの無い理由は何ですか。(3つまで)

・利用する必要がない	・利用したいサービスが地域にない
・利便性(立地、利用時間、利用期間等)が悪く利用しづらい	
・利用料金が低い	・サービス内容に不安がある
・利用方法が分からない	・自分に利用する時間がない

<ul style="list-style-type: none"> ・申し込んだが利用できなかった ・その他 () 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えたくない
---	---

男性／20-29 歳
具体的な情報がわからない
男性／30-39 歳
家に他人を入れるのに抵抗がある
信用が置けるかどうか判断ができない。金額。
男性／40-49 歳
まだ小学生ではない。
支援制度がよく分からない
女性／20-29 歳
まだ必要と感じていない
何があるのか分からない
情報不足（情報収集するほどの興味は持っていない）
不安が強い
利用の手続きが面倒
女性／30-39 歳
お願いしたい時に予約でいっぱいだった
お金が高そう。当たり前ですが知らない人なのでしんようできない。
こどもが病気の時はそばにいてあげたい
コロナ
サービスの選択肢を調べなければならないと思っている。
そのサービスの対象に該当しなかった
そもそもよく分かっていない
できるだけ一緒にいてあげたいから
ハードルが高く感じて、そこまでする必要はないかなと思ってしまう
一時保育について事前準備や当日用意するものが大変／一時保育のために用意するものが多かったため。
一時保育は基本利用できないと子育て相談で言われたから
茨城県の方の人柄に不安があったため 言葉遣いが怖い。人当たりが良くない。サービス業全般悪いイメージを持つことが多かったため、内容に期待できなかった。
家に入れるのは抵抗ある
家事代行サービスはどんなことがたのめるのかよくわからないし、家に入ってもらうのに抵抗がある
家事代行やファミサポさんは利用を検討したが、個人的な性格上（人見知り）難しく諦めた。
急な仕事や、急病時など利用したいが事前に予約が必要だったり、電話競走に勝たないと預けられないなど不便

資料編 保護者向けアンケート主な自由記述【調査票4】

結局自分でやった方が時間もお金もかからない。予約をして当日まで待って気を遣って他人にお願いしてお金もかかって、その全てが面倒。
現在はその役割を母や義母へ協力を得られるため。
最近、転入してきたばかり。子どもも大きくなったので、利用しなくても大丈夫である。 子どもが小さいときは、利用してみたかった気持ちはある。
産後ケアは利用してみたかったが、訪問にきた助産師に「必要ないだろう」と言われてしまい利用できなかった。
産後ケア事業を受けられる対象者の条件に入らなかったため
子供が嫌がるため
子供に発達障がいがあり、利用に不安がある
自宅に他人をいれたくない
自分でできる範囲の事は自分で世話をしようと思ったため。また、利用手続きのために市役所へ行くのに抵抗があるため。
受付先がそれぞれで、申込みをするまでに手間がかかる気がする。 場所、時間、交通手段、申込み、予約の有無等、調べることが多い。
小学生ではないから。
常に混んでいて使えない
情報が無い
申し込みに行く元気がない／申し込むための条件や手順が煩雑。／申込が複雑で手間がかかる
申し込んでも空きがなかった
他人に子どもを預けることに不安がある／知らない人にお願いすることに抵抗がある。信頼できない。
知らないところへ一人で行くのが不安
知らなかったから
同居している義祖母から、サービスを利用する事に対して嫌味を言われる為。
特に放課後子供教室等は利用したいが、利用出来る場所がない
内容がより詳しく把握できる案内や、おためし制度などがあると利用しやすいかもしれない
病児保育:調べてみたが利用したい時にすぐに、確実に利用できない。そこまでして預ける事への罪悪感。
病児保育の利用ハードルが高すぎる。抗原検査が必須で、子どもが発熱後すぐに利用できない。病児保育登録のための面接日時が少なく、登録できないこともあった。
病児保育は当日熱出た時は予約で埋まり預けられないし、前日も埋まっていて、利用したいと何年も思っていますが、実施しているところもほとんどなく、利用は不可能。
病児保育は枠がとて最少なく当日お願いしにくい
病児保育や一時保育を登録したが、スタッフさんの態度が冷たく子どもを預ける気持ちにならなかった。
保育園に通っている
放課後児童教室利用したいが学校がない
未就学児だから。／利用する歳ではない
利用したいと考えた事がないため
利用したかった当時にはサービスがなかった。

利用したことがないので躊躇いがある
利用しないで解決したい。／利用しなくてもなんとかなってるから／利用する必要がなかったから。／利用せずに乗り越えられたから。
利用するまでの手続きが大変そう／利用までに時間がかかる
利用する機会がなかったのと、自分の子どもは自分で見たかったから。仕事は休んででも子どもとの時間を大切にしたい。
利用対象月齢でないものが選択肢にある
女性／40-49歳
ストレスを感じそう
なんとなく。
まだ頑張れるという思い、利用することでの自己嫌悪、一度楽しいたらさらにしんどくなりそう
育休期間も充分あり、両親が近所に住んでいるため
一時保育や病児保育は子ども空きがないイメージなので、最初からあてにしないようにした。
一時保育や病児保育を利用したくても、予約制で尚且つ枠が少なすぎるため全然利用することが出来ない。
何かあれば近所の母や姉妹にお願いできた
家にいるので、あまり利用する機会がない。
家の中を見られたくない。
学童は自営業ということで申し込みさえできなかった
学童保育を利用して就業したいと思っていたがどこで情報を集めて良いかも分からず断念した。
今現在のところは利用せずにできています。
使いたいと思ったときに、事前登録が必要だったりしたため、利用できなかった。しかし、支援員さんの安全を考えると事前登録は仕方ないことだと思うので、難しいところだ
子どもに関してはまだ利用年齢でないため。
子供が行きたがらない
自分に利用する余裕がなかった
実際に利用するまでの手続きが不明、面倒／手続きが難しそう／手続きが面倒／手続きなどが大変なのではないかという考えが先に来てしまっていた為。／登録が面倒／利用する際の申し込みが煩雑
出産が2020年のコロナ禍でサービスのほとんどを利用できないまま保育園入所・復職になった。
出産当時、産後ケア事業などはなかった
人見知りなので
人数枠が少なくて諦めた。
同居の嫁は利用しづらい。古い考えの祖父母や曾祖父母がいる場合、なかなか難しい。 私が核家族だったら、間違いなく利用したかった時期があった。
発達障害児に対するサービスとして適切と感じていないため
必要な時に、すぐに利用できるわけではないため。
放課後教室を利用したいが、通う小学校では未開催。来年度も開催未定らしい。同市内の別学校では実施されているのに。

放課後子供教室は是非参加したいと思っておりますが、コロナ禍で中止され機会に恵まれていません。是非再開して欲しいと思います。
利用するにあたり事前に面接などがあり、困っていて預けたいのにハードルが高い。 風邪気味だと預けられないなど…。
利用枠が少ないので、仕事を休んで子供をみるしかなかった
手続きが面倒臭い。親と同居していたので利用できたが私一人では利用しない
女性／50-59 歳
子どもが利用を受け入れてくれるかわからない、 利用のための準備の手間がかかる
必要当時は親が存命でお願いできた また、当時はなかったサービスもある
女性／答えたくない
安全性の不安、防犯
答えたくない／答えたくない
申請方法が不親切

Q33. Q31で「利用の満足度」で「やや不満」「不満」と答えた方におたずねします。
満足できない、満足されない理由は何ですか。(3つまで)

・利用したい時間に利用できない	・必要になった時に利用できない
・サービス内容が不十分	・利用料金が高い
・答えたくない	・その他 ()

男性／30-39 歳
他県に比べ、茨城県内の児童館は、未就学児が室内で自由に遊べるスペースや遊具が乏しい。 病児保育をお願いしたいときが多々あるが枠が少ないし申し込みが事前だったり急な風邪には絶対に対応できない。利用ハードルが高すぎる。
男性／40-49 歳
手伝いとはいえ他人を家に入れたくない
女性／20-29 歳
申込が面倒
利用するまでの過程がめんどくさい
女性／30-39 歳
知らない人の家に子供を預けるのは抵抗がある。／サービス提供者への不信感／信用できない
こどもが療育を利用しているため、普通のファミリーサポートは断られた。障害児向けの高額なサポートしかなく、支援が受けられない。
コロナもインフルも増えてるから。
パートでシフトの融通が割と効くので、自分が休めば利用しなくても良いかと思う 料金も、安くはないし、登録も面倒そうなので利用したことがない

資料編 保護者向けアンケート主な自由記述【調査票4】

ファミサポに登録はしたが、お願いしたい習い事の送迎時間は予約がいっぱいで利用できなかった。それから一度も利用していない。
ファミサポは、自宅に入って世話するというのが嫌だった／知らない人が家に来ることに抵抗がある
ファミサポはコロナ禍に利用するには勇気がある。子どもを素人に預けることに抵抗がある。病児保育は利用できる場所が少なすぎる。
まだ、その年齢ではない。その必要になっていない
よく理解してない
一時保育や病児保育は、空気がない。
学童などが仕事をしている人のみならず、身体が弱く子育てが困難な人でも利用出来るようにしてほしい。
急だと利用が出来なかったり、熱があると利用出来なかったり登録したままのものがある。 利用したと言うか利用したくても出来ない。もっと活用しやすくしてほしい
共働きでないと利用できなかったり、申請が複雑で必要な時だけ利用するなどの使い方ができない。
金銭的余裕がない
産後ケアは3人目出産後に絶対に利用すると決めていましたが、上の子達を見る人がいないこと、上の子達が寂しがること、料金面で主人に反対されました。
産後のため、申込み手続きを面倒に感じている。
産後辛くて一時保育をお願いしようとしたら、冠婚葬祭等の理由以外の保護者の休息のためは受け付けられないと断られたから。
子の特性により利用が困難／子供の情緒の面で不安があった。
子育てでいっぱいいっぱい利用するための手続きする体力がない／手続きする時間の余裕もない
児童館が地域になく、子育てセンターは未就学児しか利用できないため、小学生の子供と行ける施設は図書館だけです。近隣の市の児童館は利用できるのは市内在住者のみ。
小学校入学前の為、利用出来ない
上記の理由概ね全て。そして枠が小さく利用までのハードルが高い。
申し込みの手続きが多い。病児保育。
申請申し込みまで動けなかった。
親から離れるので、子どもを不安にさせてしまう心配がある。
他人が家に入ったりすることが嫌だから。子供が生まれてから自由に過ごしてきたこともあり、支援センターへ通うこともなく今まできているため
他人と関わるのが苦手な頼めない。
他人に子どもを預けるのが不安。他人を信用できない
知っているが、内容を深く調べていない為
恥ずかしい
当時車の免許がなく、バスでは行くのは大変な場所が多かった
病児保育を利用したいが、朝9時からでは仕事に間に合わず利用できない。7時30分頃から利用できるとありがたい。
放課後子ども教室が開催されない
忙しい保育園に慣れない子どもを預かってもらっても、怪我や病気、事故のもとになるから。

未就学なので放課後サポートは必要が無い 児童館は近くに無い 昨年栃木から引っ越してきたが栃木はあちこちに児童館があったのに茨城は少なすぎる
利用したいときに選択肢として浮かんでこない
利用するのに不安があるため/利用する勇気が出なかった。
利用するまでの登録が面倒で、登録したからといって必ず利用できるものではないため、労力をかけても無駄だと思う/利用するまでの準備に時間と労力が割かれるので躊躇う/利用するには手軽さがない
利用する必要がないものがある。 ファミリーサポートは評判が悪く、利用するのに不安がある。
利用年齢に満たない(学童等)、登録はしてあるが利用までの手順が多く困った時に頼る先としての優先順位が低い(ファミサポ)
痙攣を起こしやすいので、病児保育は使わずに親が責任もって見た方が良くと判断しているため
女性/40-49歳
急なお迎えに利用したくても、子供があまり知らない人のお迎えだと園の方が嫌がる。 コロナの影響で、病気の際に預けにくい。
お金が無くて働いてるのに結局お金はかかるから/結局タダ(低料金)ではやってくれないから低所得者は利用できない
サービスを行う窓口と自治体の担当課の連携ができてないからとタライ回される。利用できる前向きなサービスに変えて欲しい。サービスはあるけど使う側に制限を設けすぎ。
どこで実施しているのか、対応してくれるのかなど情報がない
ファミリーサポートに申し込みをしましたが、いつまで経っても担当者からご連絡をもらえず確認しても結局何年も放置され使いませんでした。
学童はまだ対象年齢ではない
学童を利用したかったが、人数が多くできなかった。
緊急事態に対応するサービスがない為
産後ケアなど、利用が必要な時はまだ知らなかった。
子供を預けるのに抵抗がある。
私が働いてないので、学童保育に入れたくてもその権利がない
事前登録が必要など、手続きが負担/申し込み自体が面倒/登録が面倒で後回しにしているため
情報不足
状況にあてはまるサービスがなかったから
知らない人が家に入るのは嫌
働いていないと利用できないから。利用申請が面倒。/利用できる期間は働いていなかった
病後児保育の実態を知りたいです。以前朝に予約したが、書類提出の準備をしたりコロナ検査(コロナ症状では無い)の結果待ちで昼過ぎになり、結局利用するのをやめた。
予約が必要で、行きたいときに気軽にいけない。
利用しようと思ってもすぐに活用できない。 助けてほしいときにすぐに活用できなくて、面倒に感じることが多い。
利用するまでの手続きがわからない、自分が利用出来る対象かわからない

利用する年齢ではない
利用までの手続きが煩雑すぎる。比較できない。
里帰り出産だったので帰省先で産後ケアは、受けられない。 一時保育を利用しようと考えたが、問い合わせ先がわからないし、今現在一時保育している施設がわからない。
女性／50-59 歳
お金がかかるから
情報が届かない
どちらともいえない／30-39 歳
利用したら旦那に「贅沢だ」と言われると思うから。

Q35. 子育てで負担と感じることは何ですか（金銭面、育児面でそれぞれ3つまで）

※「負担はある」「負担はない」「答へたくない」より選択。「負担はある」と答えた人は、下記の選択肢を選択。

・金銭面	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・放課後児童クラブ等利用料 ・おむつ代・ミルク代 ・塾などの習い事代 ・大学就学に必要な費用 ・その他（ ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教材費 ・高等学校就学に必要な費用 ・医療費
------	---	--

29 歳まで
すべて
衣類、おもちゃなど
国からの手厚い補償がないとこれ以上子供つくれません
今はオムツもミルクもなくなったが使用しているときは本当に負担だった。財布が別で夫も出してくれるわけでもなく頼んでも渋られていたので貯金を切り崩して対応していた。
今は何とかなっているが今後(高校や大学等)に必要な費用等聞ける親などがいないので何も分からずに不安がある。
食費や衣服、ゲーム等
生活費にかかる全てが物価が上がっている為これ以上産もうとはならない
保育園の給食費
保育料の負担が大きすぎる
30-39 歳
学校の教材費が高くて負担が大きい。
3 歳までの保育料が高すぎる。保育料 2 人目半額は収入に関わらず適用すべき。
0-15 歳の扶養者に年少扶養控除が無いこと
3 人もいるのに所得で色々なサービスが受けられないことが非常に不満。税金を馬鹿みたいに払っているのに。
クリスマス、誕生日、七五三などのイベントにかかるお金

ゲームなどを持ってないと仲間に入れないこともあるので、その辺りでの費用。
そもそも生活費だけでお金がかかる。
チャイルドシートやベビーカー、洋服等、成長に合わせて買い換えなければならないものが多い。
まだ就学前のため現在は多くの支出はないが、将来どのくらいの費用が必要になってくるか、不安。
衣料品（保育園からの指定が多い）
医療費の自己負担が地味に家計を圧迫している。他県から転勤してくると、つくば市がシステム等の点で遅れていることがわかる。また、子育てに優しい地域ではないと感じた。
外出時の費用（交通費、ガソリン、入場料、宿泊費等）／外食費
学校の体操服や指定シューズの料金が高い！高い割に質も悪い。
学校や習い事などの送迎
給食費
月2回受診で1回600円の医療費負担は見直してほしい。 子どもは医療費完全無料にしてくださいか、他市のように窓口負担をもう少し減らしてほしい。
子ども1人につき、3000万かかる。 また、ワンオペ育児、寝れない育児で金銭的にも、精神的にも限界がある。
子どもの為のお菓子、おもちゃ等
子に発達障害があり、療育に通っているのも、働き方を調整しているのもあり、金銭的余裕がない。また療育費用もかかる
子供に日々必要な衣食住の生活費
子供の学資保険
歯科矯正代。幼いうちから下顎の成長を促してあげないと顎が成長せず大人の歯が並ばず噛み合わせが悪くなり顎関節症に。歯の健康寿命を短くさせ元気を奪う。
社会協議会の言語訓練が急に無くなったせいで、自費で病院に通っている。交通費や病院までの距離が遠いこともあり、負担になっている。
趣味の習い事
出産までの通院費、出産費用
所得制限。税金を半分とられて自由に使えるお金があまりないのに所得制限で金銭的補助が受けられない。
小、中、高、大と教育での資金
障害児がいるが、収入額で必要な手当が停止になるのはどうなんですか？それは平等ではないと思う。収入額で決めないで欲しい。その子の将来の事を考えて欲しい。
上記のような個別の項目ではなく、子供を育てる事自体に金銭的負担が大きい
食べ物、着る物、玩具など日常的な物にお金がかかる
食費、色々な体験をさせてあげるためのお金
神奈川から引っ越ししてきて、子供の医療費がかかることに驚いた。
親の収入が増えると保育料が高くなるなど納得いかない。税金を沢山払っているのにどうして利用するときまで料金に傾斜をかけるのか。
生活費（食費、日用品費、被服費、旅行等のレジャー費など）1人増えるだけでもかなりの負担
中学校の制服代、自転車代、ジャージ代

認可保育園に入ることができず、認可外に入ることになったが、3歳未満であったので、無償化の対象にはならず、平均月5万程度の保育料は高いと思った。
民間学童の金額、私立中学の授業料、通学費用（つくばエクスプレス）
遊興費が捻出できない／旅行、娯楽に使うお金
幼稚園や学校の料金
洋服、おもちゃ、趣味、レジャーや娯楽費、子供の人数が多いほどかかる。
洋服代やお菓子代、ゲームなどにお金がかかります。 こどもも学校から帰ってくると暇と言っていて、時間を潰すのにお金がかかります。
40-49歳
お金の使い方が下手。
スポーツ少年団にかかる費用
チャイルドシート、自転車、ヘルメット、旅行代金（宿泊費、移動費）
つくば市内の高等学校の選択肢が少なく、数年後を見越すと熾烈な受験準備が求められるため、のびのびと小学生の時間を過ごせない
もっと働かなくてはいけないが、子どもの預け先が、民間学童だと金額が高くとても払えない。しかし学校学童だと、時間・週末が利用出来ず、困っている。
家族での思い出作り（旅行や外食）
学校の給食費
学校の積み立て金
産んでから小、中、高、大学卒業までに、それぞれ費用がかかりすぎる。
算数セットは、各学校の備品としてもらえると助かるのではないかと入学の度思う。 使うのはほんの少しの時期、学校でしか使わない。名前つけの負担軽減。
仕事をしながらの子育ては大変 習い事の送迎も
子供が具合悪い時に出勤するため病児を利用しなければならないがお金がかかる（戻ってこない）
子供の医療費を無料にして欲しい
自動車の維持費や購入費。家族が多いので大きい車が必要なため。
習い事や学校関係での交際費はけっこうかかる
塾や高校、大学は任意なので、費用を負担するのは当然。義務教育段階においては、教材費等は負担を感じることもある。
所得制限が色々ある。子供が3人お金がかかるのに所得制限があり、手当や丸福など受けられない。不公平。
小・中学校に係る費用。学校からの指定により無駄な出費が多い。指定しないでいただきたい。本質的には市町村から支出し経済的負担をゼロにするべきであると考えます。
障害が軽度の障害児の将来の経済的支援
食べ盛りの子供の食費、日用、光熱、塾など全ての値段が上がり、全体が負担。
制服、ランドセル、学用品、食事、物価高
生活費全般
大学生の一人暮らし費用。大学の費用。

中学入学や高校入学の際の制服代が高過ぎる。ジャージなど他に諸々かかるのに制服だけで10万円超えはきつい。
田舎だと生活、通学が不便
日曜・祝日働く為に、保育ママ制度を利用すると1時間800円かかること。
母子家庭でも、習い事や、学童お金がたくさんかかります。母子家庭で、子供が体調崩したりなかなか働かせません。もう少し母子家庭に優しい地域にして欲しい。
放課後デイサービスの療育に通う費用
50-59歳
家族が増えると当然かかる生活費から全て
高等学校就学支援制度に除外された。裕福な生活はしていない。双子であるとか単身赴任だとか親の金銭的負担など考慮されない
女の子なので、洋服代、友達のお付き合い（誕生日プレゼント、お出かけ）にお金がかかる。その他、携帯代など。
生活費
送迎などにかかる時間と費用／通学にかかる交通費
病院が遠いのでそれにかかる費用（交通費、食事代）
養育費

・育児面	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの世話 ・家事負担 ・家族（親など）の世話や介護と子育ての両立 ・仕事と子育ての両立 ・子育ての悩み等精神的負担 ・自分の時間がない ・その他（ ）
------	--

29歳まで
まず、保育園に入れません仕事したくても出来ません
子育てと学業の両立
睡眠不足／夜中起きること
30-39歳
1人が流行りのコロナやインフルエンザに感染すると、子供達が順番に感染し、2週間仕事に出勤できないことが何度かあって少し大変でした。
2人目が生まれた時の1人目の送り迎え
3人欲しかったが1人目から子供ができづらく不妊治療の必要があり授かるまでいつも悩んでいた
PTAの参加。任意のはずなのに小学校在学中に必ず役員を引き受けなければいけないと記載があり負担に感じている。
PTAの役員、活動の強制が負担。講義や交流会が子供の為になっているとも思えない上、下校や降園時間と重なるなど、配慮が足りないので必要ないと思う。

資料編 保護者向けアンケート主な自由記述【調査票4】

キャリアアップしたくても体調不良でおむかえ、お休みになると、限界がある。そうすると収入が増えないので子供にお金をかけられなくなる。4人の給食費が辛い
こども2人に発達障害があるため、かなりの親のサポートが必要。体力精神ともに疲弊している。
これについても全てです。子どもがかわいいのでやってきてますが、全て大変です。
すぐ風邪をひくので病院への通院
つわり等の体調不良で必ず入院になるから
どれも結婚や子供を授かった時点で覚悟しているものだから負担とまでは行かない
やらせたい（子供もやりたがっている）習い事があっても、仕事があり送迎もできないためやらせてあげられない
ワンオペ育児、家事負担
育児自体は楽しいがつきっきりで相手をしたりと気が休まる時間がない又は休んでも疲れが取れない。
夏場に歴代の子供たちが楽しみにしていた大きなプール遊びをなにかと理由をつけて泥遊びへ変換し、保護者の洗濯の負担を増やした。子供より職員優先になってきている
家が狭い
家の近くに公園が無かったり、坂道やでこぼこ道が多くベビーカーで散歩しづらい。
家事代行などもっと充実させてほしい。
金銭的理由から共働きが必須だが、親類が近隣におらずサポートを受けられない状況下では、共働きと子供全般の対応の両立は非常に負荷が高い。
仕事の有無に関わらず保育園に入れるようにして欲しい。そうすればゆっくり仕事を探すことが出来る。
子どもが体調を崩した時に、毎回頭を下げて仕事を休まなければならないことや、仕事を休めずに全快しきれない子どもを保育園へ預けなければいけないこと。
子どもが熱を出しても休むのは母親。休みづらいし、働きづらい。
子育ての場が少ない・すぐ使えない 陣痛タクシーすらない
子供に対する社会全体の育てにくさ。うるさくすればすぐ禁止。公園、遊具が全然無い。高齢者優先の社会。親の責任が大きい。こどもを社会で守ろうという空気感がない
子供一人ひとりに時間をかけてあげられない
治安が悪い
自分の体力がもたない
自閉症スペクトラムの長男（グレーゾーンのため、障害者手帳の交付等一切の補助事業の対象に当てはまらない）に関するすべて
車以外の交通手段が少ない
障害児をワンオペで家事育児しているため、かなり精神的に負担。実家も遠く頼れない。
祖父母の支援が必須
多忙な配偶者がいるため仕事をやめて親戚と離れた土地で乳幼児と暮らしていると、自分の振る舞いが子どもの教科書の全てになってしまう不安感と負担感がある。
旦那が無協力
旦那さん(茨城県中学教員)に土日休みがほぼなく、夫婦で協力して子育てできないこと
働きたくても働き口がない

同じ母親1年目父親1年目でスタートは同じはずなのに母親のキャリアアップが凄まじく、父親はいつまでも1年生から進級しない。これが1番の原因。
病気の際の看病
夫に自分の辛さが伝わらないこと
夫のうつ病(今は寛解中)時の子ども達への対応
夫の仕事が忙しく、第二子が産まれた頃は育児に孤独を感じるがあった。
複数の子がいる場合、純粹に手が足りなくて公園も安全に連れて行けないのがつらい。
平日の主人の仕事が終わり時間が遅かったり、出張がある。
夜泣きで睡眠時間が削られる
有給休暇が子どもの体調不良での休みでなくなる。子育て家庭が働きやすくなったとして、それをずるいと思う人がいることに精神的負担を感じる。
頼れる人が近くにいない
40-49 歳
選択肢の全てが負担に感じています。
PTA、子供会など地域活動/PTA など保護者同士の付き合いが負担
いまの20代は夫婦家事育児分担してる様子。40代の20年前は夫になかなか手伝ってと言えない雰囲気や夫の親の存在が大きく自由に育てるがなかなか出来なかった。
しつけ、勉強
スイミングスクールや体操クラブ、理科実験など子どもにさせたい習い事が地域内になく、守谷やつくばなど遠方まで送迎しているため時間的ロスがある。
パパが協力的じゃない
学校の行事や役員への参加
学校の宿題の丸つけが正直面倒。算数は答えが決まっているからまだ良いが、漢字練習の場合はどこまで直せばいいのかわからない。
学校や幼稚園の行事、習い事やスポーツ少年団の送迎と仕事との両立
義理の親がかかわってくること
行政の金銭的な補助が何も無い
参観日など急に言われても対応できない。年間予定がないと仕事との両立がきつい。 図工の道具など、休みが少ないので用意できないことがある。あらかじめ知らせてほしい
仕事ない日も保育園に預かって欲しいときがある(受診、家のことなど)が、基本は自宅保育と言われる。まだまだ母親中心の育児で保育園くらい、母親の味方でいて欲しい。
子が風邪の時病院がいっぱい診てもらえない。遊ぶ所がない、全て遠すぎる ショッピングモールがないので子どもの買い物が色々回らないといけないので大変
子どもが嫌い。子どもはいらなかった。
子どもが病気になって病院に連れて行きたくても、休みが取れない。小学校の保護者が参加する行事等が多く、有給休暇が足りなくなる。
子ども達が大きくなり、たすけてもらっているの、子ども達に負担をかけてしまっていると感じる。

自分一人の時間が減ること。子供の相手をすること。致命的に子供の相手が苦手で適応障害になりました。
塾などに送っていけない
障害児の療育や相談等が主に平日であり、通常の子育てより時間的・精神的負担が重い。職場の休暇や配置の配慮等の規程が明確にないこと。
親の希望と子供の意志の相違。反抗期に対する接し方
親同士の関係、息抜きがない
睡眠時間
体力
男性の家事、育児への主体的な参加がないと、女性の負担ばかりが増えるし、時短勤務やこどものための欠勤に対する男性の理解不足がなくなる。
発達の違いのある子への支援が大変
夫の家庭にかかわる時間が少なすぎる
勉強の仕方
友達関係、友達の親との関係
50-59 歳
学校の PTA 活動や各種委員会。日本一を目指すなら前例踏襲せずムダな活動は廃止するよう教育委員会に本気で取り組んで頂きたいです。
公共の交通機関がない（バスの本数が少ない）ので役に立たず、毎日駅まで送迎しなくてはならない。主人は時間的に無理で頼れないのでかなり負担に感じます。
子どもの世話・家事分担・自分の時間がない
自分の体力的なところ
周辺の人間関係
単身ワンオペ
病気で学校を休む時に仕事を休まなくてはならないこと
様々なルール、暗黙のルール
答えたくない
子供が嫌いな人が多いことが、育てにくさにつながっていると考えています
遊ばせる場所が少な過ぎて困る(特に雨の日)

Q 3 7. 県施策等の広報に利用して欲しい媒体は何ですか。(3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・ X (旧 Twitter) ・ Instagram ・ Facebook ・ Line ・ YouTube ・ TikTok ・ ホームページ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌 ・ 答えたくない ・ その他（自由記述 ）
--

男性／30-39 歳
テレビ
男性／40-49 歳
SNS の利用自体は悪く無いと思うが、利便性の高いホームページがあることが前提。
ポッドキャスト
紙媒体等での市役所からのお知らせ
全て利用すればいいと思う
男性／50-59 歳
TikTok だけは絶対に使わないでいただきたい
すべての人が SNS を活用している訳ではない。その方々のフォローが必要
女性／20-29 歳
CM
プリント配布
女性／30-39 歳
bluesky
SNS をやっけていなくても受動的に情報が入るのが望ましい
tiktok でダンス等で馬鹿さや下品さを出さないで欲しい。
アメプロ
スーパーの掲示板
どれでもいいですが、日本語が上手ではないので英語での広報でしたら助かります。
学校からのお便り
保育園からの紙面
母子モ
女性／40-49 歳
LINE はやめてほしい。LINE をやっけていない。
どの様な媒体でも、見る側がわかりやすく興味を持つ内容にして欲しい
学校、園からの周知
県独自のアプリ
広報誌が自宅に届かない。役所まで行かないと手に入らないが、行っている時間がない。HP も見ているが見落としがちになるので世帯数全部に配布される環境が望ましい。
市のホームページが見にくい、使いづらい。ありえない。
私がインスタや TikTok、ユーチューブなどに興味がないように、色々な人がいるため、色々な手段で広報をしてほしい。
児童館などへの掲示

登録しないと見られないようなものは不便だと思う。
どちらともいえない／30-39 歳
紙媒体は必要以上いらぬ
どちらともいえない／答えたくない
bluesky
答えたくない／30-39 歳

Q38. 今後県が力を入れた方がいいと考える少子化対策・子育て支援はどれですか。
(3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・結婚支援のための出会いの場の創設 ・進学のための奨学金給付 ・保育所や放課後児童クラブ等の充実 ・病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実 ・屋内外の子どもが遊べる場所の整備 ・残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進 ・妊娠・出産による離職者の再就職等の促進 ・若者の就労支援（就職活動方法の支援も含む） ・医療費の助成や小児医師の確保、不妊治療の支援 ・妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化 ・家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実 ・児童虐待対策の推進 ・男性の子育て参加の推進 ・いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への支援 ・未就園児の支援 ・答えたくない ・その他（自由記述 ）

男性／20-29 歳
子育て世帯への金銭的支援
男性向けの育児相談が容易にできるシステム
保育園の利用料の負担を少なくする。住宅手当の補助金
男性／30-39 歳
スモールシティ。新築に依存しない住宅環境の整備。住宅投資が大きすぎて、教育に資金が回せていない家庭が多い
安心して子育てと仕事ができる居住環境の整備。繁華街の治安維持。特に水戸駅南口。
企業誘致
義務教育時の金銭的支援（給食費や教科書代、その他学校で必要なものの）
教職員数の充実と、子どもが幅広く学べるための支援
最低賃金をあげること。物価高騰の補助金は母子や低所得者、高齢者だけでなく全体にしてほしい

子供いる世帯の人数に応じた永久所得税率軽減、いない世帯は所得税増税。日本社会として子供が作れるなら作って当たり前の社会にする。
児童手当や保育料の改善。年収が1000万台の自分たちの負担がおおきい。フェアにしてほしい
小学校の登校時の旗当番は、子供を放置して旗当番に向かわなければならない、危険な風習です。 また、当番の度、(数ヶ月に一回)仕事を休まなければならない、負担の大きいものです このような悪い風習を吸い上げ、無くしていくことが、何よりの支援になります
男性/40-49歳
公立学校教員の質の向上
子供の医療費18歳まで全額免除、義務教育課程では保護者負担金無し、学童保育の全額免除及び長期休みの給食の提供とそれに伴う金額の免除、ランドセルの無償提供、自転車のヘルメット代の補助金、オムツ及びミルク代を年間3万円。定期券代半額補助。子育てキッズカード特典の拡充。奨学金を貸付ではなく給付金にする事。
所得制限の無い経済的支援(高校の授業料無償化や保育料の定額化、児童手当の増額など)をしてほしい。 守谷市では児童数に対して小学校と中学校が少ない。人口が増える見込みの自治体では義務教育学校を充実させるように県からも是正勧告や支援をしてほしい。
障がい者がいる家庭については、所得制限を撤廃した手当支給を含む行政サービスの提供。
正規雇用促進
中堅クラスの高校不足対策(高倍率と低倍率の差が大きく需要にあっていない)、高校無償化(東京都と比べると対策に差がついている)、大学無償化(東京都と比べると差がついている)
保育園や小学校などの保育士さん教員のさらなる加配と待遇改善
男性/50-59歳
高校修学支援金の年収要件の撤廃、緩和
若者たちが、家庭を持ちたいと感じさせるようなイベントや広報を増やす
多子世帯(3人以上)に対する優遇制度、いかに子どもをたくさん作りたいと思わせるか。
女性/20-29歳
0~3歳の保育料も無償化。子育て世帯へ支援金を定期的に。
茨城県の人は出産・子育ては実家のサポートありきで考えている人が多いので、実家を頼れない核家族でも子どもを産める環境・考え方にしなければいけないと思う。
休みの日や夜間の小児科外来等24時間観てくれるクリニック等あるとすごく心強い
自分も周りの友達を見てもこれから子供を作ろうとしている人で出産一時金やマル福制度等手当や支援に詳しい人は見かけません。ただただ出産育児はお金がかかるからと妊娠を躊躇っている方もいると思うので、こういう支援があるよもっと大々的に知らせていくことも必要なのではないかと思います(マル福制度など子育て中でありたいことはたくさんあるので)。
女性/30-39歳
PTAの廃止
キッズカードをもっと活用して欲しい。「持ってる方にはこんなサービスがあります」というような、今もありがたいのですが、もっと何かさらなるパワーアップを期待します。とにかく子供を産むだけでお金がかかる、という概念を払拭しない限りは産む気にはなれないかもしれません。3人目産んだ方への助成は色々ありがたいです。
パートナーが教員(私立)で、担任もしているため、産休育休など言語道断という雰囲気、ワンオペの子育てをしました。年齢がまだ若いのもう1人くらい産みたいと思った事がなんどもありましたが、主人の協力が得られない子育ては重労働過ぎ

て、もう産みたくありません。職場や職種に関わらず、男性の育休や産休が誰もが取れる世の中になってくれていたらもう1人産んでいたかもしれないと思うと、残念です。
育休中でも保育園に通えるようにしてほしいです。
家族で利用できる産後ケア施設（できれば県民は補助ありで3.4泊ほど利用できる場所）が欲しいです。上の子供とゆっくりと過ごしながら産後の身体を休められるといいなと思います。
子供の行事があっても休めない。辛いです。
市町村に関係なく、小中学生の給食費の無償化
時短勤務が幼稚園までしか取得出来ないのを、小学校6年生までに延長して欲しい。県が率先して導入して貰えないと、市役所は横へ並べで改革はされない。小学校一年生の子供だけ朝置いて出勤できない。
手当だけでは賅えず、何十万と手出しが必要になるため、出産費用の助成があると助かります。
障がい児のケア、サポート
不育症治療の支援をより詳細に充実させてほしい。不妊治療にかかる費用の援助。
女性／40-49歳
0～2歳児までの保育料無償化、ベビーシッター利用促進・助成金
子どもが3人以上いる家庭への金銭的支援を手厚くして欲しい。所得制限ギリギリのところ引っかかって児童手当も減額され、高校の支援金も得られず、非常に苦しい。所得制限に引っかかるほど収入があるのだからいいじゃないかと思われるかもしれないが、子どもが3人いればそれだけお金もかかるわけで、決して楽な訳ではないことを知って欲しい。
児童相談所の人員の充実や個人宅に関われる度合いをもう少し深くできないものか。法律自体を見直すべきだと思うが、一自治体には何ができるのかも考えて欲しい。保護者が手を離さない限り、明らかに離れた方が良い親子でも離せないのは、虐待を止められない。保護者に教育の責任を押し付けるだけでなく、地域全体で子育てする仕組みを確立して欲しい。
若いうちに子供を作る方が得になるような経済的支援。若い人(男女とも)が結婚を先延ばししないようにする動機付けが必要。
障がい児へのサポート、障がい児福祉の所得制限の撤廃。きょうだい児へのサポートなど。
障がい児福祉に所得制限があるのは絶望的。社会復帰したくてもできない障がい児の母がたくさんいます。
大学進学で、他県に行き、そのまま他県に就職してしまうので、また茨城に戻ってきたくなるような支援。
働く父母の育児相談や講座（平日開催でいつも行けない）
不登校特例校の設置や公的なフリースクールの設置
保育士をしながら子育てをしています。正直、保育園の支援の手厚さにより、保護者が子育てを人任せにしている傾向があります。金銭面など何かと負担が大きいのは成長していくにつれて…であれば、そのぐらいの時期に色々サポートがあれば助かります。また、病児保育も、サポートが手厚ければ、助かる方々も多いと思います。
放課後デイサービスの利用時間の延長
女性／50-59歳
○子供が病気の時に安心して休める体制。問題は金銭面ではなく人手不足の同僚上司への罪悪感。1日2日で職場に戻る親は多い。4.5日は家でゆっくりさせたい。それには負担をかけた周りの方々に対する援助（例えば、同僚に補助金が出る）などのご褒美があれば良いと思う。○3人子供がいる世帯への大学無償化の撤廃。母親達の分裂を呼んでいる。協力し合いながら育児する為全員が喜べるような制度にしてほしいと願います。
仕事で、塾や習い事に送り迎えができない親のための、送迎サポート（学童や習い事自体の）
発達障害の啓蒙、支援